# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記の基本原理の理解する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 簿記の目的（基礎編）<br>2 簿記一巡（基礎編）<br>3 商品売買Ⅰ（基礎編）<br>4 商品売買Ⅱ（基礎編）<br>5 決算整理（基礎編）<br>6 精算表（基礎編）<br>7 現金および預金（基礎編）<br>8 手形（基礎編）<br>9 有形固定資産の決算整理（基礎編）<br>10 その他の債権および債務（基礎編）<br>11 その他の勘定および訂正仕訳（基礎編）<br>12 有形固定資産の決算整理（基礎編）<br>13 費用および収益の決算整理（基礎編）<br>14 株式会社の純資産（基礎編）<br>15 英米式決算法（基礎編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | ビジネス教養Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 電卓技能の向上を目的とする |
| 教科書 | 検定対策テキストおよび問題集 |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 電卓の使い方、端数の取り扱い<br>2 電卓演習①<br>3 電卓演習②<br>4 電卓演習③<br>5 電卓演習④<br>6 電卓演習⑤<br>7 電卓演習⑥<br>8 電卓演習⑦<br>9 電卓演習⑧<br>10 電卓演習⑨<br>11 電卓演習⑩<br>12 電卓演習⑪<br>13 電卓演習⑫<br>14 電卓演習⑬<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 一般教養Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 一般教養として社会で求められる漢字能力を身に付けることを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 訓読み･送り仮名①<br>2 訓読み･送り仮名②<br>3 熟語①<br>4 熟語②<br>5 熟語③<br>6 異字同訓･同音異義<br>7 誤字訂正①<br>8 誤字訂正②･類義語<br>9 反対語<br>10 漢字の意味･使い方①<br>11 漢字の意味･使い方②<br>12 項目別模擬試験①<br>13 項目別模擬試験②<br>14 直前模擬試験①<br>15 直前模擬試験② |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況 |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 3級商業簿記基礎 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 株式会社における複式簿記の基本原理、簿記の基本原理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 株式会社を前提とした一般的な企業取引に対する会計処理、企業取引に対する会計処理、報告書類の理解を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 簿記の目的<br>2 簿記一巡<br>3 株式会社の資本①（意義、資本、発行）<br>4 株式会社の資本②（剰余金の配当）<br>5 商品売買①（商品売買、3分法、売掛金・買掛金）<br>6 商品売買②（返品、分記法）<br>7 商品売買③（仕入諸掛・販売諸掛、前受金・前払金、受取商品券）<br>8 決算①（決算）<br>9 決算②（決算整理）<br>10 決算③（繰越商品および仕入の決算整理）<br>11 決算④（決算整理後残高試算表）<br>12 決算⑤（精算表）<br>13 現金および預金①（現金、普通預金、当座預金）<br>14 現金および預金②（複数口座の管理、当座借越）<br>15 手形および電子記録債権・債務<br>16 受取手形および売掛金の決算整理<br>17 有形固定資産<br>18 現金過不足および現金、貯蔵品の決算整理<br>19 その他の債権および債務①（債権・債務、未収入金・未払金）<br>20 その他の債権および債務②（クレジット売掛金、手形貸付金・借入金）<br>21 その他の債権および債務③（仮払金・仮受金、差入保証金）<br>22 その他の勘定および訂正仕訳<br>23 その他の収益および費用<br>24 費用および収益の決算整理<br>25 税金<br>26 消費税および法人税等の決算整理<br>27 訂正仕訳<br>28 財務諸表の作成①（損益計算書①）<br>29 財務諸表の作成②（損益計算書②）<br>30 財務諸表の作成③（貸借対照表①）<br>31 財務諸表の作成④（貸借対照表②）<br>32 主要簿と補助簿<br>33 現金出納帳および当座預金出納帳<br>34 小口現金出納帳<br>35 仕入帳と売上帳<br>36 売掛金元帳と買掛金元帳<br>37 商品有高帳<br>38 手形記入帳<br>39 固定資産台帳<br>40 試算表の作成<br>41 伝票会計①<br>42 伝票会計②<br>43 確認テスト（第1回）<br>44 確認テスト（第2回）<br>45 確認テスト（第3回） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 3級簿記総合 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記3級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記総まとめ①（基礎編）<br>2 商業簿記総まとめ②（基礎編）<br>3 商業簿記総まとめ③（基礎編）<br>4 商業簿記総まとめ④（基礎編）<br>5 商業簿記総まとめ⑤（基礎編）<br>6 商業簿記総まとめ⑥（基礎編）<br>7 商業簿記総まとめ⑦（基礎編）<br>8 商業簿記総まとめ⑧（基礎編）<br>9 商業簿記総まとめ⑨（基礎編）<br>10 商業簿記総まとめ⑩（基礎編）<br>11 商業簿記総まとめ⑪（基礎編）<br>12 商業簿記総まとめ⑫（基礎編）<br>13 商業簿記総まとめ⑬（基礎編）<br>14 商業簿記総まとめ⑭（基礎編）<br>15 商業簿記総まとめ⑮（基礎編）<br>16 商業簿記総まとめ①（応用編）<br>17 商業簿記総まとめ②（応用編）<br>18 商業簿記総まとめ③（応用編）<br>19 商業簿記総まとめ④（応用編）<br>20 商業簿記総まとめ⑤（応用編）<br>21 商業簿記総まとめ⑥（応用編）<br>22 商業簿記総まとめ⑦（応用編）<br>23 商業簿記総まとめ⑧（応用編）<br>24 商業簿記総まとめ⑨（応用編）<br>25 商業簿記総まとめ⑩（応用編）<br>26 商業簿記総まとめ⑪（応用編）<br>27 商業簿記総まとめ⑫（応用編）<br>28 商業簿記総まとめ⑬（応用編）<br>29 商業簿記総まとめ⑭（応用編）<br>30 商業簿記総まとめ⑮（応用編）<br>31 総合問題対策①<br>32 総合問題対策②<br>33 総合問題対策③<br>34 総合問題対策④<br>35 総合問題対策⑤<br>36 総合問題対策⑥<br>37 総合問題対策⑦<br>38 総合問題対策⑧<br>39 総合問題対策⑨<br>40 総合問題対策⑩<br>41 総合問題対策⑪<br>42 総合問題対策⑫<br>43 総合問題対策⑬<br>44 総合問題対策⑭<br>45 総合問題対策⑮<br>46 総合問題演習①<br>47 総合問題演習②<br>48 総合問題演習③<br>49 総合問題演習④<br>50 総合問題演習⑤<br>51 総合問題演習⑥<br>52 総合問題演習⑦<br>53 総合問題演習⑧<br>54 総合問題演習⑨<br>55 総合問題演習⑩<br>56 総合問題演習⑪<br>57 総合問題演習⑫<br>58 総合問題演習⑬<br>59 総合問題演習⑭<br>60 総合問題演習⑮ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 2級商業簿記基礎Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 決算整理を中心とした会計処理、勘定形式の報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 簿記一巡の手続きと財務諸表（基礎編）<br>2 現金預金（基礎編）<br>3 債権・債務（基礎編）<br>4 棚卸資産（基礎編）<br>5 有価証券①（基礎編）<br>6 有価証券②（基礎編）<br>7 固定資産①（基礎編）<br>8 固定資産②（基礎編）<br>9 固定資産③（基礎編）<br>10 固定資産④（基礎編）<br>11 債務保証（基礎編）<br>12 引当金（基礎編）<br>13 収益と費用（基礎編）<br>14 為替換算会計（基礎編）<br>15 株式会社の純資産（基礎編）<br>16 企業結合（基礎編）<br>17 確認テスト（第1回）<br>18 税金①（基礎編）<br>19 税金②（基礎編）<br>20 伝票と帳簿（基礎編）<br>21 決算①（基礎編）<br>22 決算②（基礎編）<br>23 本支店会計①（基礎編）<br>24 本支店会計②（基礎編）<br>25 連結会計①（基礎編）<br>26 連結会計②（基礎編）<br>27 連結会計③（基礎編）<br>28 連結会計④（基礎編）<br>29 連結会計⑤（基礎編）<br>30 確認テスト（第2回） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 2級工業簿記基礎Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 伝統的な個別原価計算および総合原価計算を学び、一部、原価計算の基礎についても習熟することを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 工業簿記の基礎（基礎編）<br>2 個別原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）<br>3 材料費会計（基礎編）<br>4 労務費会計（基礎編）<br>5 経費会計（基礎編）<br>6 製造間接費会計（基礎編）<br>7 製造間接費差異の原因別分析（基礎編）<br>8 単純個別原価計算（基礎編）<br>9 工企業の財務諸表（基礎編）<br>10 確認テスト（第1回）<br>11 部門別計算①（基礎編）<br>12 部門別計算②（基礎編）<br>13 総合原価計算における工業簿記の記帳体系（基礎編）<br>14 単純総合原価計算（基礎編）<br>15 工程別総合原価計算（基礎編）<br>16 組別総合原価計算（基礎編）<br>17 等級別総合原価計算（基礎編）<br>18 減損および仕損（基礎編）<br>19 標準原価計算①（基礎編）<br>20 標準原価計算②（基礎編）<br>21 標準原価計算③（基礎編）<br>22 CVP分析①（基礎編）<br>23 CVP分析②（基礎編）<br>24 直接原価計算（基礎編）<br>25 工業簿記総まとめ①（基礎編）<br>26 工業簿記総まとめ②（基礎編）<br>27 工業簿記総まとめ③（基礎編）<br>28 工業簿記総まとめ④（基礎編）<br>29 工業簿記総まとめ⑤（基礎編）<br>30 確認テスト（第2回） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 2級簿記総合Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記２級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記総まとめ①(基礎編)<br>2 商業簿記総まとめ②(基礎編)<br>3 商業簿記総まとめ③(基礎編)<br>4 商業簿記総まとめ④(基礎編)<br>5 商業簿記総まとめ⑤(基礎編)<br>6 商業簿記総まとめ⑥(基礎編)<br>7 商業簿記総まとめ⑦(基礎編)<br>8 商業簿記総まとめ⑧(基礎編)<br>9 商業簿記総まとめ⑨(基礎編)<br>10 商業簿記総まとめ⑩(基礎編)<br>11 商業簿記総まとめ⑪(基礎編)<br>12 商業簿記総まとめ⑫(基礎編)<br>13 工業簿記・原価計算総まとめ①(基礎編)<br>14 工業簿記・原価計算総まとめ②(基礎編)<br>15 工業簿記・原価計算総まとめ③(基礎編)<br>16 工業簿記・原価計算総まとめ④(基礎編)<br>17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤(基礎編)<br>18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥(基礎編)<br>19 総合問題対策①(商業簿記と工業簿記_基礎編)<br>20 総合問題対策②(商業簿記と工業簿記_基礎編)<br>21 総合問題対策③(商業簿記と工業簿記_基礎編)<br>22 総合問題対策④(商業簿記と工業簿記_基礎編)<br>23 総合問題対策⑤(商業簿記と工業簿記_基礎編)<br>24 総合問題対策⑥(商業簿記と工業簿記_基礎編)<br>25 総合問題対策⑦(商業簿記と工業簿記_基礎編)<br>26 総合問題対策⑧(商業簿記と工業簿記_基礎編)<br>27 総合問題対策⑨(商業簿記と工業簿記_基礎編)<br>28 総合問題演習①(テスト形式_基礎編)<br>29 総合問題演習①(テスト形式_基礎編)<br>30 総合問題演習①(テスト形式_基礎編)<br>31 総合問題演習②(テスト形式_基礎編)<br>32 総合問題演習②(テスト形式_基礎編)<br>33 総合問題演習②(テスト形式_基礎編)<br>34 総合問題演習③(テスト形式_基礎編)<br>35 総合問題演習③(テスト形式_基礎編)<br>36 総合問題演習③(テスト形式_基礎編)<br>37 総合問題演習④(テスト形式_基礎編)<br>38 総合問題演習④(テスト形式_基礎編)<br>39 総合問題演習④(テスト形式_基礎編)<br>40 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編)<br>41 総合問題演習⑤(テスト形式_基礎編)<br>42 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編)<br>43 総合問題演習⑥(テスト形式_基礎編)<br>44 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編)<br>45 総合問題演習⑦(テスト形式_基礎編) |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級会計学速習基礎 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会計基準および適用指針など実務に直結する会計の基礎について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 会計知識の習得および計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 財務諸表、有価証券（速習編）<br>2 デリバティブ取引・ヘッジ会計等、有形固定資産（速習編）<br>3 割引現在価値（速習編）<br>4 リース取引（速習編）<br>5 研究開発費とソフトウェア、固定資産の減損（速習編）<br>6 繰延資産、社債（速習編）<br>7 引当金（速習編）<br>8 退職給付（速習編）<br>9 資産除去債務（速習編）<br>10 純資産（速習編）<br>11 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション（速習編）<br>12 税効果会計①（課税所得、税効果会計の適用）（速習編）<br>13 税効果会計②（期間差異、評価差額、財務諸表上の表示）（速習編）<br>14 外貨建取引①（総論、外貨建取引の会計処理）（速習編）<br>15 外貨建取引②（外貨建有価証券、為替予約等の会計処理）（速習編）<br>16 商品売買等①（総論、原価率等、売価還元法、試用販売）（速習編）<br>17 商品売買等②（委託販売、割賦販売、未着品販売など）（速習編）<br>18 工事契約（速習編）<br>19 本支店会計（速習編）<br>20 連結財務諸表総論、資本連結①（財務諸表作成）（速習編）<br>21 資本連結②（段階取得、子会社株式の取得・売却）、成果連結（速習編）<br>22 持分法、連結税効果会計（速習編）<br>23 包括利益、在外子会社（速習編）<br>24 企業結合（速習編）<br>25 事業分離（速習編）<br>26 キャッシュフロー計算書①（営業活動によるキャッシュフロー）（速習編）<br>27 キャッシュフロー計算書②（投資・財務活動によるキャッシュフロー）（速習編）<br>28 連結キャッシュフロー（速習編）<br>29 会計上の変更および誤謬の訂正（速習編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級原価計算速習基礎 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容について短期間で学習し、問題演習は各自で行うことを原則とする |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 総論、費目別計算（速習編）<br>2 個別原価計算（速習編）<br>3 部門別計算（速習編）<br>4 総合原価計算①（単純総合原価計算）（速習編）<br>5 総合原価計算②（追加原材料）（速習編）<br>6 総合原価計算③（工程別総合原価計算、組別総合原価計算）（速習編）<br>7 総合原価計算④（等級別総合原価計算、連産品、副産物）（速習編）<br>8 標準原価計算①（総論）（速習編）<br>9 標準原価計算②（仕損・減損の処理）（速習編）<br>10 標準原価計算③（工程別標準原価計算）（速習編）<br>11 短期利益計画（速習編）<br>12 直接原価計算（速習編）<br>13 意思決定会計①（総論、業務的意思決定①）（速習編）<br>14 意思決定会計②（業務的意思決定②）（速習編）<br>15 意思決定会計③（構造的意思決定①）（速習編）<br>16 意思決定会計④（構造的意思決定②）（速習編）<br>17 戦略的原価計算①（LCC・QC）（速習編）<br>18 戦略的原価計算②（原価企画・ABC）（速習編）<br>19 個別原価計算・部門別計算のまとめ①（速習編）<br>20 個別原価計算・部門別計算のまとめ②（速習編）<br>21 総合原価計算のまとめ①（速習編）<br>22 総合原価計算のまとめ②（速習編）<br>23 標準原価計算のまとめ①（速習編）<br>24 標準原価計算のまとめ②（速習編）<br>25 直接原価計算・短期利益計画のまとめ（速習編）<br>26 短期利益計画・予算管理のまとめ、意思決定会計のまとめ①（速習編）<br>27 意思決定会計のまとめ②（速習編）<br>28 戦略的原価計算のまとめ（速習編）<br>29 事業部制（速習編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級簿記速習総合 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 大企業を前提とした会計制度を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | より深い会計制度の知識習得および問題演習を通じて計算技術を習得することを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記・会計学総まとめ①（速習編）<br>2 商業簿記・会計学総まとめ②（速習編）<br>3 商業簿記・会計学総まとめ③（速習編）<br>4 工業簿記・原価計算総まとめ①（速習編）<br>5 工業簿記・原価計算総まとめ②（速習編）<br>6 工業簿記・原価計算総まとめ③（速習編）<br>7 商業簿記・会計学総まとめ④（速習編）<br>8 商業簿記・会計学総まとめ⑤（速習編）<br>9 商業簿記・会計学総まとめ⑥（速習編）<br>10 工業簿記・原価計算総まとめ④（速習編）<br>11 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（速習編）<br>12 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（速習編）<br>13 商業簿記・会計学総まとめ⑦（速習編）<br>14 商業簿記・会計学総まとめ⑧（速習編）<br>15 商業簿記・会計学総まとめ⑨（速習編）<br>16 工業簿記・原価計算総まとめ⑦（速習編）<br>17 工業簿記・原価計算総まとめ⑧（速習編）<br>18 工業簿記・原価計算総まとめ⑨（速習編）<br>19 商業簿記・会計学総まとめ⑩（速習編）<br>20 商業簿記・会計学総まとめ⑪（速習編）<br>21 商業簿記・会計学総まとめ⑫（速習編）<br>22 工業簿記・原価計算総まとめ⑩（速習編）<br>23 工業簿記・原価計算総まとめ⑪（速習編）<br>24 工業簿記・原価計算総まとめ⑫（速習編）<br>25 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_速習編）<br>26 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_速習編）<br>27 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_速習編）<br>28 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）<br>29 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）<br>30 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）<br>31 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）<br>32 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）<br>33 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）<br>34 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）<br>35 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）<br>36 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）<br>37 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）<br>38 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）<br>39 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）<br>40 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）<br>41 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）<br>42 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）<br>43 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）<br>44 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）<br>45 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論速習基礎Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 簿記の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | テキスト及び参考書 |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 簿記の概要Ⅰ①(入門編)<br>2 簿記の概要Ⅰ②(入門編)<br>3 簿記の概要Ⅰ③(入門編)<br>4 簿記の概要Ⅰ④(入門編)<br>5 現金預金Ⅰ①(入門編)<br>6 現金預金Ⅰ②(入門編)<br>7 現金預金Ⅰ③(入門編)<br>8 債権債務Ⅰ①(入門編)<br>9 債権債務Ⅰ②(入門編)<br>10 商品売買Ⅰ①(入門編)<br>11 商品売買Ⅰ②(入門編)<br>12 商品売買Ⅰ③(入門編)<br>13 給料等Ⅰ①(入門編)<br>14 給料等Ⅰ②(入門編)<br>15 固定資産Ⅰ①(入門編)<br>16 固定資産Ⅰ②(入門編)<br>17 固定資産Ⅰ③(入門編)<br>18 固定資産Ⅰ④(入門編)<br>19 固定資産Ⅰ⑤(入門編)<br>20 ソフトウェアⅠ①(入門編)<br>21 ソフトウェアⅠ②(入門編)<br>22 債権債務Ⅰ①(入門編)<br>23 債権債務Ⅰ②(入門編)<br>24 債権債務Ⅰ③(入門編)<br>25 貸倒れⅠ①(入門編)<br>26 貸倒れⅠ②(入門編)<br>27 貸倒れⅠ③(入門編)<br>28 退職給付会計Ⅰ①(入門編)<br>29 退職給付会計Ⅰ②(入門編)<br>30 退職給付会計Ⅰ③(入門編)<br>31 退職給付会計Ⅰ④(入門編)<br>32 税金Ⅰ①(入門編)<br>33 税金Ⅰ②(入門編)<br>34 社債Ⅰ①(入門編)<br>35 社債Ⅰ②(入門編)<br>36 社債Ⅰ③(入門編)<br>37 純資産会計Ⅰ①(入門編)<br>38 純資産会計Ⅰ②(入門編)<br>39 純資産会計Ⅰ③(入門編)<br>40 純資産会計Ⅰ④(入門編)<br>41 有価証券Ⅰ①(入門編)<br>42 有価証券Ⅰ②(入門編)<br>43 有価証券Ⅰ③(入門編)<br>44 有価証券Ⅰ④(入門編)<br>45 確認テスト |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論速習応用Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 税効果会計Ⅰ①（入門編）<br>2 税効果会計Ⅰ②（入門編）<br>3 税効果会計Ⅰ③（入門編）<br>4 税効果会計Ⅰ④（入門編）<br>5 税効果会計Ⅰ⑤（入門編）<br>6 税効果会計Ⅰ⑥（入門編）<br>7 税効果会計Ⅰ⑦（入門編）<br>8 税効果会計Ⅰ⑧（入門編）<br>9 現在価値計算Ⅰ①（入門編）<br>10 現在価値計算Ⅰ②（入門編）<br>11 現在価値計算Ⅰ③（入門編）<br>12 保険金Ⅰ①（入門編）<br>13 保険金Ⅰ②（入門編）<br>14 保険金Ⅰ③（入門編）<br>15 新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）<br>16 新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）<br>17 新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）<br>18 新株予約権付社債Ⅰ④（入門編）<br>19 新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編）<br>20 新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編）<br>21 減損会計Ⅰ①（入門編）<br>22 減損会計Ⅰ②（入門編）<br>23 減損会計Ⅰ③（入門編）<br>24 減損会計Ⅰ④（入門編）<br>25 資産除去債務Ⅰ①（入門編）<br>26 資産除去債務Ⅰ②（入門編）<br>27 外貨建会計Ⅰ①（入門編）<br>28 外貨建会計Ⅰ②（入門編）<br>29 外貨建会計Ⅰ③（入門編）<br>30 外貨建会計Ⅰ④（入門編）<br>31 外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）<br>32 外貨建会計Ⅰ⑥（入門編）<br>33 リース会計Ⅰ①（入門編）<br>34 リース会計Ⅰ②（入門編）<br>35 リース会計Ⅰ③（入門編）<br>36 リース会計Ⅰ④（入門編）<br>37 リース会計Ⅰ⑤（入門編）<br>38 リース会計Ⅰ⑥（入門編）<br>39 試用販売Ⅰ①（入門編）<br>40 試用販売Ⅰ②（入門編）<br>41 試用販売Ⅰ③（入門編）<br>42 試用販売Ⅰ④（入門編）<br>43 試用販売Ⅰ⑤（入門編）<br>44 試用販売Ⅰ⑥（入門編）<br>45 割賦販売Ⅰ①（入門編）<br>46 割賦販売Ⅰ②（入門編）<br>47 割賦販売Ⅰ③（入門編）<br>48 割賦販売Ⅰ④（入門編）<br>49 割賦販売Ⅰ⑤（入門編）<br>50 割賦販売Ⅰ⑥（入門編）<br>51 未着品販売Ⅰ①（入門編）<br>52 未着品販売Ⅰ②（入門編）<br>53 未着品販売Ⅰ③（入門編）<br>54 未着品販売Ⅰ④（入門編）<br>55 委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）<br>56 委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）<br>57 委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）<br>58 委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編）<br>59 委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編）<br>60 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 2級商業簿記基礎Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 試算表、精算表、財務報告書など他の会計書類の関連性について体系的に学び、財務報告書類の作成方法・株式会社会計を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 商企業を前提とした、伝票会計、帳簿組織などの記帳技術を習得しつつ、報告書類の理解、企業取引に対する会計処理の理解を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 総論<br>2 簿記一巡の手続、財務諸表<br>3 現金預金、銀行勘定調整表<br>4 債権・債務<br>5 棚卸資産<br>6 有価証券①（有価証券の分類）<br>7 有価証券②（売買目的有価証券、満期保有目的債券）<br>8 有価証券③（子会社株式、関連会社株式）<br>9 有価証券④（その他有価証券、端数利息）<br>10 固定資産①（有形固定資産の取得、減価償却の方法、建設仮勘定）<br>11 固定資産②（有形固定資産の割賦購入、修繕費および改良費）<br>12 固定資産③（法人税法上の減価償却、圧縮記帳）<br>13 固定資産④（有形固定資産の売却、買換え、除却、滅失）<br>14 固定資産⑤（リース会計、無形固定資産）<br>15 固定資産⑥（ソフトウェア、投資その他資産）<br>16 債務保証<br>17 引当金①（貸倒引当金）<br>18 引当金②（貸倒引当金発生時の会計処理）<br>19 引当金③（その他の引当金）<br>20 収益と費用<br>21 為替換算会計①（外貨建取引）<br>22 為替換算会計②（為替予約）<br>23 株式会社の純資産①（意義、純資産）<br>24 株式会社の純資産②（株式の発行、剰余金の配当等）<br>25 株式会社の純資産③（株主資本の係数の変動）<br>26 企業結合<br>27 税金①（消費税）<br>28 税金②（法人税等）<br>29 税金③（税効果会計）<br>30 帳簿組織<br>31 伝票会計<br>32 決算①（決算整理、帳簿決算手続き）<br>33 決算②（財務諸表、精算表）<br>34 製造業を営む会社の決算処理<br>35 本支店会計①（意義、目的、本支店間取引、支店相互間取引）<br>36 本支店会計②（決算）<br>37 連結会計①（財務諸表）<br>38 連結会計②（支配獲得日の連結手続き）<br>39 連結会計③（支配獲得後の連結手続き）<br>40 連結会計④（連結会社相互間取引の相殺消去）<br>41 連結会計⑤（未実現利益の控除）<br>42 連結会計⑥（連結株主資本等変動計算書）<br>43 連結会計⑦（連結第1年度、連結第2年度）<br>44 確認テスト（第1回）<br>45 確認テスト（第2回） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 2級工業簿記基礎Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 工業簿記の基礎<br>2 工業簿記の記帳体系①（個別原価計算）<br>3 工業簿記の記帳体系②（決算）<br>4 材料費会計①（材料の購入、返品、消費、棚卸減耗）<br>5 材料費会計②（予定消費価格による材料費の計算と記帳）<br>6 労務費会計①（支払額の計算と記帳）<br>7 労務費会計②（消費額の計算と記帳）<br>8 労務費会計③（予定消費賃率による消費額の計算と記帳）<br>9 経費会計<br>10 製造間接費会計①（実際配賦と予定配賦）<br>11 製造間接費会計②（差異の原因別分析）<br>12 単純個別原価計算①（単純個別原価計算）<br>13 単純個別原価計算②（仕損の処理）<br>14 部門別計算①（部門別計算の手続きと記帳体系）<br>15 部門別計算②（部門個別費と部門共通費）<br>16 部門別計算③（補助部門費の配賦①）<br>17 部門別計算④（補助部門費の配賦②）<br>18 部門別計算⑤（仕掛品の計算）<br>19 部門別計算⑥（差異の原因別分析）<br>20 工企業の財務諸表①（製造原価報告書）<br>21 工企業の財務諸表②（損益計算書、貸借対照表）<br>22 工業簿記の記帳体系（総合原価計算）<br>23 総合原価計算①（単純総合原価計算）<br>24 総合原価計算②（月末仕掛品原価の評価）<br>25 総合原価計算③（材料の投入形態）<br>26 総合原価計算④（損益計算書の作成）<br>27 総合原価計算⑤（減損の処理）<br>28 総合原価計算⑥（仕損の処理）<br>29 工程別総合原価計算①（月末仕掛品原価の計算）<br>30 工程別総合原価計算②（半製品の処理）<br>31 組別総合原価計算<br>32 等級別総合原価計算①（完成品総合原価に等価係数を用いる方法）<br>33 等級別総合原価計算②（当月製造費用に等価係数を用いる方法）<br>34 標準原価計算①（月末仕掛品および完成品原価の計算）<br>35 標準原価計算②（原価差異の計算）<br>36 標準原価計算③（仕掛品勘定の記帳方法）<br>37 標準原価計算④（直接材料費差異および直接労務費差異の原因別分析）<br>38 標準原価計算⑤（製造間接費差異の原因別分析①）<br>39 標準原価計算⑥（製造間接費差異の原因別分析②）<br>40 原価・営業量・利益関係の分析<br>41 直接原価計算①（直接原価計算）<br>42 直接原価計算②（固定費調整）<br>43 工場会計の独立<br>44 確認テスト（第１回）<br>45 確認テスト（第2回） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級会計学入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 資産負債中心観を主体とした理論体系を学び現行基準との整合性、課題を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 現行基準の理論体系の理解を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 財務諸表（入門編）<br>2 有価証券（入門編）<br>3 デリバティブ取引・ヘッジ会計（入門編）<br>4 有形固定資産（入門編）<br>5 割引現在価値（入門編）<br>6 リース取引①（入門編）<br>7 リース取引②（入門編）<br>8 固定資産の減損（入門編）<br>9 研究開発費とソフトウェア（入門編）<br>10 繰延資産（入門編）<br>11 社債（入門編）<br>12 引当金①（入門編）<br>13 引当金②（入門編）<br>14 退職給付①（入門編）<br>15 退職給付②（入門編）<br>16 資産除去債務（入門編）<br>17 純資産（入門編）<br>18 新株予約権と新株予約権付社債（入門編）<br>19 ストック・オプション（入門編）<br>20 税効果会計①（入門編）<br>21 税効果会計②（入門編）<br>22 外貨建取引①（入門編）<br>23 外貨建取引②（入門編）<br>24 商品売買等①（入門編）<br>25 商品売買等②（入門編）<br>26 商品売買等③（入門編）<br>27 工事契約（入門編）<br>28 本支店会計①（入門編）<br>29 本支店会計②（入門編）<br>30 連結財務諸表総論（入門編）<br>31 資本連結（入門編）<br>32 成果連結（入門編）<br>33 持分法（入門編）<br>34 連結税効果会計（入門編）<br>35 包括利益（入門編）<br>36 在外子会社（入門編）<br>37 企業結合（入門編）<br>38 事業分離①（入門編）<br>39 事業分離②（入門編）<br>40 キャッシュフロー計算書①（入門編）<br>41 キャッシュフロー計算書②（入門編）<br>42 キャッシュフロー計算書③（入門編）<br>43 連結キャッシュフロー計算書①（入門編）<br>44 連結キャッシュフロー計算書②（入門編）<br>45 連結キャッシュフロー計算書③（入門編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級原価計算入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 伝統的な工業簿記および原価計算の基本的な内容を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 工企業を前提とする会計処理の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 工業簿記と原価計算（入門編）<br>2 費目別計算①（入門編）<br>3 費目別計算②（入門編）<br>4 部門別計算①（入門編）<br>5 部門別計算②（入門編）<br>6 部門別計算③（入門編）<br>7 個別原価計算①（入門編）<br>8 個別原価計算②（入門編）<br>9 個別原価計算③（入門編）<br>10 総合原価計算①（入門編）<br>11 総合原価計算②（入門編）<br>12 総合原価計算③（入門編）<br>13 総合原価計算④（入門編）<br>14 標準原価計算①（入門編）<br>15 標準原価計算②（入門編）<br>16 標準原価計算③（入門編）<br>17 標準原価計算④（入門編）<br>18 標準原価計算⑤（入門編）<br>19 標準原価計算⑥（入門編）<br>20 直接原価計算（入門編）<br>21 短期利益計画①（入門編）<br>22 短期利益計画②（入門編）<br>23 予算管理①（入門編）<br>24 予算管理②（入門編）<br>25 予算管理③（入門編）<br>26 意思決定会計①（入門編）<br>27 意思決定会計②（入門編）<br>28 意思決定会計③（入門編）<br>29 意思決定会計④（入門編）<br>30 意思決定会計⑤（入門編）<br>31 意思決定会計⑥（入門編）<br>32 意思決定会計⑦（入門編）<br>33 意思決定会計⑧（入門編）<br>34 工業簿記と原価計算まとめ①（入門編）<br>35 工業簿記と原価計算まとめ②（入門編）<br>36 工業簿記と原価計算まとめ③（入門編）<br>37 工業簿記と原価計算まとめ④（入門編）<br>38 工業簿記と原価計算まとめ⑤（入門編）<br>39 工業簿記と原価計算まとめ⑥（入門編）<br>40 工業簿記と原価計算まとめ⑦（入門編）<br>41 工業簿記と原価計算まとめ⑧（入門編）<br>42 工業簿記と原価計算まとめ⑨（入門編）<br>43 工業簿記と原価計算まとめ⑩（入門編）<br>44 工業簿記と原価計算まとめ⑪（入門編）<br>45 工業簿記と原価計算まとめ⑫（入門編） |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級簿記速習演習 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 個別会計、結合会計などを通じて近年の企業再編等についても学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記１級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記総まとめ①（基礎編）<br>2 商業簿記総まとめ②（基礎編）<br>3 商業簿記総まとめ③（基礎編）<br>4 商業簿記総まとめ④（基礎編）<br>5 商業簿記総まとめ⑤（基礎編）<br>6 商業簿記総まとめ⑥（基礎編）<br>7 工業簿記・原価計算総まとめ①（基礎編）<br>8 工業簿記・原価計算総まとめ②（基礎編）<br>9 工業簿記・原価計算総まとめ③（基礎編）<br>10 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_基礎編）<br>11 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_基礎編）<br>12 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_基礎編）<br>13 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）<br>14 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）<br>15 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）<br>16 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）<br>17 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）<br>18 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）<br>19 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）<br>20 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）<br>21 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）<br>22 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）<br>23 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）<br>24 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）<br>25 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）<br>26 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）<br>27 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）<br>28 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）<br>29 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）<br>30 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 全経簿記上級総合Ⅰ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | １年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択 | |
| 授業方法 | 講義及び演習 | |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） | |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 大企業を前提とした会計制度、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の理解を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 商業簿記・会計学総まとめ①（全経速習編） |
| | 2 | 商業簿記・会計学総まとめ②（全経速習編） |
| | 3 | 商業簿記・会計学総まとめ③（全経速習編） |
| | 4 | 工業簿記・原価計算総まとめ①（全経速習編） |
| | 5 | 工業簿記・原価計算総まとめ②（全経速習編） |
| | 6 | 工業簿記・原価計算総まとめ③（全経速習編） |
| | 7 | 商業簿記・会計学総まとめ④（全経速習編） |
| | 8 | 商業簿記・会計学総まとめ⑤（全経速習編） |
| | 9 | 商業簿記・会計学総まとめ⑥（全経速習編） |
| | 10 | 工業簿記・原価計算総まとめ④（全経速習編） |
| | 11 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経速習編） |
| | 12 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（全経速習編） |
| | 13 | 商業簿記・会計学総まとめ⑦（全経速習編） |
| | 14 | 商業簿記・会計学総まとめ⑧（全経速習編） |
| | 15 | 商業簿記・会計学総まとめ⑨（全経速習編） |
| | 16 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑦（全経速習編） |
| | 17 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑧（全経速習編） |
| | 18 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑨（全経速習編） |
| | 19 | 商業簿記・会計学総まとめ⑩（全経速習編） |
| | 20 | 商業簿記・会計学総まとめ⑪（全経速習編） |
| | 21 | 商業簿記・会計学総まとめ⑫（全経速習編） |
| | 22 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑩（全経速習編） |
| | 23 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑪（全経速習編） |
| | 24 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑫（全経速習編） |
| | 25 | 商業簿記・会計学総まとめ⑬（全経速習編） |
| | 26 | 商業簿記・会計学総まとめ⑭（全経速習編） |
| | 27 | 商業簿記・会計学総まとめ⑮（全経速習編） |
| | 28 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑬（全経速習編） |
| | 29 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑭（全経速習編） |
| | 30 | 工業簿記・原価計算総まとめ⑮（全経速習編） |
| | 31 | 総合問題対策①（全経速習編） |
| | 32 | 総合問題対策②（全経速習編） |
| | 33 | 総合問題対策③（全経速習編） |
| | 34 | 総合問題対策④（全経速習編） |
| | 35 | 総合問題対策⑤（全経速習編） |
| | 36 | 総合問題対策⑥（全経速習編） |
| | 37 | 総合問題対策⑦（全経速習編） |
| | 38 | 総合問題対策⑧（全経速習編） |
| | 39 | 総合問題対策⑨（全経速習編） |
| | 40 | 総合問題対策⑩（全経速習編） |
| | 41 | 総合問題対策⑪（全経速習編） |
| | 42 | 総合問題対策⑫（全経速習編） |
| | 43 | 総合問題対策⑬（全経速習編） |
| | 44 | 総合問題対策⑭（全経速習編） |
| | 45 | 総合問題対策⑮（全経速習編） |
| | 46 | 総合問題演習①（テスト形式） |
| | 47 | 総合問題演習①（テスト形式） |
| | 48 | 総合問題演習①（テスト形式） |
| | 49 | 総合問題演習②（テスト形式） |
| | 50 | 総合問題演習②（テスト形式） |
| | 51 | 総合問題演習②（テスト形式） |
| | 52 | 総合問題演習③（テスト形式） |
| | 53 | 総合問題演習③（テスト形式） |
| | 54 | 総合問題演習③（テスト形式） |
| | 55 | 総合問題演習④（テスト形式） |
| | 56 | 総合問題演習④（テスト形式） |
| | 57 | 総合問題演習④（テスト形式） |
| | 58 | 総合問題演習⑤（テスト形式） |
| | 59 | 総合問題演習⑤（テスト形式） |
| | 60 | 総合問題演習⑤（テスト形式） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論速習総合Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 本支店会計Ⅰ①（入門編）<br>2 本支店会計Ⅰ②（入門編）<br>3 本支店会計Ⅰ③（入門編）<br>4 本支店会計Ⅰ④（入門編）<br>5 本支店会計Ⅰ⑤（入門編）<br>6 本支店会計Ⅰ⑥（入門編）<br>7 組織再編会計Ⅰ①（入門編）<br>8 組織再編会計Ⅰ②（入門編）<br>9 組織再編会計Ⅰ③（入門編）<br>10 組織再編会計Ⅰ④（入門編）<br>11 建設業会計Ⅰ①（入門編）<br>12 建設業会計Ⅰ②（入門編）<br>13 連結会計Ⅰ①（入門編）<br>14 連結会計Ⅰ②（入門編）<br>15 連結会計Ⅰ③（入門編）<br>16 連結会計Ⅰ④（入門編）<br>17 製造業会計Ⅰ①（入門編）<br>18 製造業会計Ⅰ②（入門編）<br>19 製造業会計Ⅰ③（入門編）<br>20 製造業会計Ⅰ④（入門編）<br>21 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編）<br>22 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編）<br>23 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編）<br>24 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編）<br>25 繰延資産Ⅰ①（入門編）<br>26 繰延資産Ⅰ②（入門編）<br>27 圧縮記帳Ⅰ①（入門編）<br>28 圧縮記帳Ⅰ②（入門編）<br>29 ストック・オプションⅠ（入門編）<br>30 商品売買Ⅱ①（入門編）<br>31 商品売買Ⅱ②（入門編）<br>32 固定資産Ⅱ①（入門編）<br>33 固定資産Ⅱ②（入門編）<br>34 退職給付会計Ⅱ①（入門編）<br>35 退職給付会計Ⅱ②（入門編）<br>36 試用販売Ⅱ①（入門編）<br>37 試用販売Ⅱ②（入門編）<br>38 割賦販売Ⅱ①（入門編）<br>39 割賦販売Ⅱ②（入門編）<br>40 本支店会計Ⅱ①（入門編）<br>41 本支店会計Ⅱ②（入門編）<br>42 組織再編会計Ⅱ①（入門編）<br>43 組織再編会計Ⅱ②（入門編）<br>44 連結会計Ⅱ①（入門編）<br>45 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論速習総合Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 合格に必要な得点ができるようにする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 項目別答練①（入門編）<br>2 項目別答練②（入門編）<br>3 項目別答練③（入門編）<br>4 項目別答練④（入門編）<br>5 項目別答練⑤（入門編）<br>6 基礎答練①（入門編）<br>7 基礎答練②（入門編）<br>8 基礎答練③（入門編）<br>9 基礎答練④（入門編）<br>10 基礎答練⑤（入門編）<br>11 基礎答練⑥（入門編）<br>12 基礎答練⑦（入門編）<br>13 基礎答練⑧（入門編）<br>14 基礎答練⑨（入門編）<br>15 基礎答練⑩（入門編）<br>16 応用答練①（入門編）<br>17 応用答練②（入門編）<br>18 応用答練③（入門編）<br>19 応用答練④（入門編）<br>20 応用答練⑤（入門編）<br>21 応用答練⑥（入門編）<br>22 応用答練⑦（入門編）<br>23 応用答練⑧（入門編）<br>24 応用答練⑨（入門編）<br>25 応用答練⑩（入門編）<br>26 過去問演習①（入門編）<br>27 過去問演習②（入門編）<br>28 過去問演習③（入門編）<br>29 過去問演習④（入門編）<br>30 過去問演習⑤（入門編）<br>31 過去問演習⑥（入門編）<br>32 過去問演習⑦（入門編）<br>33 過去問演習⑧（入門編）<br>34 過去問演習⑨（入門編）<br>35 過去問演習⑩（入門編）<br>36 問題演習実践①（入門編）<br>37 問題演習実践②（入門編）<br>38 問題演習実践③（入門編）<br>39 問題演習実践④（入門編）<br>40 問題演習実践⑤（入門編）<br>41 問題演習実践⑥（入門編）<br>42 問題演習実践⑦（入門編）<br>43 問題演習実践⑧（入門編）<br>44 問題演習実践⑨（入門編）<br>45 模擬試験 |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 2級商業簿記応用Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 商企業の会計処理に関する全体の関連性について体系的に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 日々の取引、決算整理に関する一連の流れおよび財務諸表の作成について、上場企業レベルの資料を作成することができることを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 現金預金<br>2 債権・債務、棚卸資産<br>3 有価証券<br>4 固定資産①（応用編①）<br>5 固定資産②（応用編②）<br>6 固定資産③（応用編③）<br>7 債務保証、引当金<br>8 収益と費用、為替換算会計<br>9 株式会社の純資産<br>10 企業結合、税金<br>11 決算<br>12 本支店会計<br>13 連結会計①（応用編①）<br>14 連結会計②（応用編②）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 2級工業簿記応用Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 工業簿記および原価計算の関係および会計処理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 工企業の原価計算手法である個別原価計算および総合原価計算を学び、かつ、原価計算に関する知識習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 工業簿記の記帳体系<br>2 材料費会計<br>3 労務費会計<br>4 経費会計、製造間接費会計<br>5 単純個別原価計算<br>6 部門別計算①（応用編①）<br>7 部門別計算②（応用編②）<br>8 工企業の財務諸表、総合原価計算<br>9 工程別総合原価計算<br>10 組別総合原価計算、等級別総合原価計算<br>11 標準原価計算①（応用編①）<br>12 標準原価計算②（応用編②）<br>13 原価・営業量・利益関係の分析<br>14 直接原価計算<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 2級簿記総合Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学習し、総合問題の基礎も学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記２級の基礎的な会計知識と計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記総まとめ①（中級編）<br>2 商業簿記総まとめ②（中級編）<br>3 商業簿記総まとめ③（中級編）<br>4 商業簿記総まとめ④（中級編）<br>5 商業簿記総まとめ⑤（中級編）<br>6 商業簿記総まとめ⑥（中級編）<br>7 商業簿記総まとめ⑦（中級編）<br>8 商業簿記総まとめ⑧（中級編）<br>9 商業簿記総まとめ⑨（中級編）<br>10 商業簿記総まとめ⑩（中級編）<br>11 商業簿記総まとめ⑪（中級編）<br>12 商業簿記総まとめ⑫（中級編）<br>13 工業簿記・原価計算総まとめ①（中級編）<br>14 工業簿記・原価計算総まとめ②（中級編）<br>15 工業簿記・原価計算総まとめ③（中級編）<br>16 工業簿記・原価計算総まとめ④（中級編）<br>17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（中級編）<br>18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（中級編）<br>19 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_中級編）<br>20 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_中級編）<br>21 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_中級編）<br>22 総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_中級編）<br>23 総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_中級編）<br>24 総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_中級編）<br>25 総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_中級編）<br>26 総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_中級編）<br>27 総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_中級編）<br>28 総合問題演習①（テスト形式_中級編）<br>29 総合問題演習①（テスト形式_中級編）<br>30 総合問題演習①（テスト形式_中級編）<br>31 総合問題演習②（テスト形式_中級編）<br>32 総合問題演習②（テスト形式_中級編）<br>33 総合問題演習②（テスト形式_中級編）<br>34 総合問題演習③（テスト形式_中級編）<br>35 総合問題演習③（テスト形式_中級編）<br>36 総合問題演習③（テスト形式_中級編）<br>37 総合問題演習④（テスト形式_中級編）<br>38 総合問題演習④（テスト形式_中級編）<br>39 総合問題演習④（テスト形式_中級編）<br>40 総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）<br>41 総合問題演習⑤（テスト形式_中級編）<br>42 総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）<br>43 総合問題演習⑥（テスト形式_中級編）<br>44 総合問題演習⑦（テスト形式_中級編）<br>45 総合問題演習⑦（テスト形式_中級編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 2級簿記総合Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 株式会社の会計処理を問題演習、総合問題の演習を通じて学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記２級の応用的な会計知識と計算技術の習得を目的とし、かつ、有価証券報告書を読み取ることができることを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記総まとめ①（応用編）<br>2 商業簿記総まとめ②（応用編）<br>3 商業簿記総まとめ③（応用編）<br>4 商業簿記総まとめ④（応用編）<br>5 商業簿記総まとめ⑤（応用編）<br>6 商業簿記総まとめ⑥（応用編）<br>7 商業簿記総まとめ⑦（応用編）<br>8 商業簿記総まとめ⑧（応用編）<br>9 商業簿記総まとめ⑨（応用編）<br>10 商業簿記総まとめ⑩（応用編）<br>11 商業簿記総まとめ⑪（応用編）<br>12 商業簿記総まとめ⑫（応用編）<br>13 工業簿記・原価計算総まとめ①（応用編）<br>14 工業簿記・原価計算総まとめ②（応用編）<br>15 工業簿記・原価計算総まとめ③（応用編）<br>16 工業簿記・原価計算総まとめ④（応用編）<br>17 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（応用編）<br>18 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（応用編）<br>19 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>20 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>21 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>22 総合問題対策④（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>23 総合問題対策⑤（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>24 総合問題対策⑥（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>25 総合問題対策⑦（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>26 総合問題対策⑧（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>27 総合問題対策⑨（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>28 総合問題演習①（テスト形式_応用編）<br>29 総合問題演習①（テスト形式_応用編）<br>30 総合問題演習①（テスト形式_応用編）<br>31 総合問題演習②（テスト形式_応用編）<br>32 総合問題演習②（テスト形式_応用編）<br>33 総合問題演習②（テスト形式_応用編）<br>34 総合問題演習③（テスト形式_応用編）<br>35 総合問題演習③（テスト形式_応用編）<br>36 総合問題演習③（テスト形式_応用編）<br>37 総合問題演習④（テスト形式_応用編）<br>38 総合問題演習④（テスト形式_応用編）<br>39 総合問題演習④（テスト形式_応用編）<br>40 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）<br>41 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）<br>42 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）<br>43 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）<br>44 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編）<br>45 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級会計学基礎Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計の基礎について学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 会計知識の習得および計算技術を身に付けることを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 有価証券（基礎編）<br>2 有形固定資産（基礎編）<br>3 リース取引（基礎編）<br>4 固定資産の減損（基礎編）<br>5 退職給付（基礎編）<br>6 純資産（基礎編）<br>7 新株予約権と新株予約権付社債（基礎編）<br>8 ストック・オプション（基礎編）<br>9 税効果会計（基礎編）<br>10 外貨建取引（基礎編）<br>11 商品売買等（基礎編）<br>12 資本連結（基礎編）<br>13 連結税効果会計（基礎編）<br>14 在外子会社、事業分離（基礎編）<br>15 キャッシュフロー計算書、連結キャッシュフロー計算書（基礎編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級原価計算基礎Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 最新の原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 個別原価計算（基礎編）<br>2 部門別計算（基礎編）<br>3 総合原価計算（基礎編）<br>4 標準原価計算（基礎編）<br>5 直接原価計算（基礎編）<br>6 短期利益計画（基礎編）<br>7 予算管理（基礎編）<br>8 事業部制（基礎編）<br>9 業務的意思決定①（基礎編）<br>10 業務的意思決定②（基礎編）<br>11 構造的意思決定①（基礎編）<br>12 構造的意思決定②（基礎編）<br>13 構造的意思決定③（基礎編）<br>14 戦略的原価計算①（基礎編）<br>15 戦略的原価計算②（基礎編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級会計学総合Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会計基準のみならず適用指針など実務に直結する会計について、より詳細に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記１級検定合格程度の会計知識および計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 現金預金、債権の譲渡、デリバティブ取引、有価証券、リース取引<br>2 貸倒引当金、ヘッジ会計、減損会計、社債、退職給付会計<br>3 資産除去債務、セール・アンド・リースバック取引、ストック・オプション<br>4 自己株式、為替予約、外貨建有価証券、圧縮記帳<br>5 売価還元原価法、転換社債<br>6 電子記録債権、特別目的会社、剰余金の配当、固定資産<br>7 連結会計<br>8 キャッシュフロー計算書、企業結合<br>9 返品調整引当金、外貨建有価証券（減損）、ヘッジ会計<br>10 本支店会計総合問題（在外支店）<br>11 本支店会計総合問題（決算整理後合併残高試算表）<br>12 決算整理後残高試算表作成（会計上の変更）<br>13 決算整理後残高試算表作成（委託販売）<br>14 損益計算書作成（各種財務諸表金額算定）<br>15 損益計算書作成（財務諸表の注記に関する金額算定）<br>16 連結損益計算書<br>17 連結貸借対照表<br>18 会計上の変更<br>19 包括利益<br>20 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題①<br>21 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題②<br>22 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題③<br>23 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題④<br>24 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑤<br>25 理論対策：語群選択問題、正誤判定および穴埋め問題、記述問題⑥<br>26 総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>27 総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>28 総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>29 総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>30 総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>31 総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>32 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）<br>33 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）<br>34 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）<br>35 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）<br>36 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）<br>37 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）<br>38 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）<br>39 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）<br>40 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）<br>41 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）<br>42 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）<br>43 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）<br>44 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）<br>45 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級原価計算総合Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 原価計算基準の理論体系、多様化する製造過程に対する会計処理、経営戦略について、より詳細に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記１級検定合格程度の原価計算知識および計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 実際単純個別原価計算<br>2 部門別計算<br>3 部門別個別原価計算<br>4 実際工程別総合原価計算①<br>5 実際工程別総合原価計算②<br>6 連産品原価の計算および追加加工の意思決定<br>7 標準総合原価計算（仕損費の処理）<br>8 標準総合原価計算（配合差異・歩留差異）<br>9 標準総合原価計算（原価差異の追加配賦）<br>10 標準個別原価計算<br>11 実際直接工程別総合原価計算<br>12 実際直接部門別個別原価計算<br>13 CVP分析<br>14 直接標準総合原価計算（総合予算編成 四半期現金収支）<br>15 直接標準総合原価計算（総合予算編成 資金調達）<br>16 予算統制（予算財務諸表作成）<br>17 直接標準原価計算（営業利益の差異分析）<br>18 事業部の業績測定<br>19 業務的意思決定（原価分解、最適セールスミックス、新規注文の引受可否）<br>20 業務的意思決定（部品の自製か購入か、優劣分岐点分析、経済的発注量）<br>21 構造的意思決定（各種評価方法、取換投資、拡張投資）<br>22 構造的意思決定（差額キャッシュフローの計算）<br>23 戦略的原価計算（損益・優劣分岐点、無限反復投資）<br>24 戦略的原価計算（原価企画・原価維持・原価改善、品質原価計算）<br>25 戦略的原価計算（ライフサイクルコスティング、活動基準原価計算）<br>26 総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>27 総合問題対策①（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>28 総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>29 総合問題対策②（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>30 総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>31 総合問題対策③（テスト形式の問題解説_基礎編）<br>32 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）<br>33 総合問題演習①（テスト形式_基礎編）<br>34 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）<br>35 総合問題演習②（テスト形式_基礎編）<br>36 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）<br>37 総合問題演習③（テスト形式_基礎編）<br>38 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）<br>39 総合問題演習④（テスト形式_基礎編）<br>40 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）<br>41 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎編）<br>42 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）<br>43 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎編）<br>44 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編）<br>45 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 簿記の概要Ⅰ①（入門編）<br>2 簿記の概要Ⅰ②（入門編）<br>3 簿記の概要Ⅰ③（入門編）<br>4 簿記の概要Ⅰ④（入門編）<br>5 現金預金Ⅰ①（入門編）<br>6 現金預金Ⅰ②（入門編）<br>7 現金預金Ⅰ③（入門編）<br>8 債権債務Ⅰ①（入門編）<br>9 債権債務Ⅰ②（入門編）<br>10 商品売買Ⅰ①（入門編）<br>11 商品売買Ⅰ②（入門編）<br>12 商品売買Ⅰ③（入門編）<br>13 給料等Ⅰ①（入門編）<br>14 給料等Ⅰ②（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論入門Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 固定資産Ⅰ①（入門編）<br>2 固定資産Ⅰ②（入門編）<br>3 固定資産Ⅰ③（入門編）<br>4 固定資産Ⅰ④（入門編）<br>5 固定資産Ⅰ⑤（入門編）<br>6 固定資産Ⅰ⑥（入門編）<br>7 固定資産Ⅰ⑦（入門編）<br>8 固定資産Ⅰ⑧（入門編）<br>9 固定資産Ⅰ⑨（入門編）<br>10 固定資産Ⅰ⑩（入門編）<br>11 ソフトウェアⅠ①（入門編）<br>12 ソフトウェアⅠ②（入門編）<br>13 債権債務Ⅰ①（入門編）<br>14 債権債務Ⅰ②（入門編）<br>15 債権債務Ⅰ③（入門編）<br>16 貸倒れⅠ①（入門編）<br>17 貸倒れⅠ②（入門編）<br>18 貸倒れⅠ③（入門編）<br>19 退職給付会計Ⅰ①（入門編）<br>20 退職給付会計Ⅰ②（入門編）<br>21 退職給付会計Ⅰ③（入門編）<br>22 退職給付会計Ⅰ④（入門編）<br>23 退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）<br>24 退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）<br>25 退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）<br>26 退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）<br>27 税金Ⅰ①（入門編）<br>28 税金Ⅰ②（入門編）<br>29 税金Ⅰ③（入門編）<br>30 税金Ⅰ④（入門編）<br>31 社債Ⅰ①（入門編）<br>32 社債Ⅰ②（入門編）<br>33 社債Ⅰ③（入門編）<br>34 社債Ⅰ④（入門編）<br>35 社債Ⅰ⑤（入門編）<br>36 社債Ⅰ⑥（入門編）<br>37 純資産会計Ⅰ①（入門編）<br>38 純資産会計Ⅰ②（入門編）<br>39 純資産会計Ⅰ③（入門編）<br>40 純資産会計Ⅰ④（入門編）<br>41 有価証券Ⅰ①（入門編）<br>42 有価証券Ⅰ②（入門編）<br>43 有価証券Ⅰ③（入門編）<br>44 有価証券Ⅰ④（入門編）<br>45 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会計学の概要入門を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ガイダンス・財務諸表の基礎（入門編）<br>2 個別注記表（入門編）<br>3 現金及び預金（入門編）<br>4 債権債務（入門編）<br>5 関係会社概念（入門編）<br>6 売上原価の算定（入門編）<br>7 貸倒れ（入門編）<br>8 給料等（入門編）<br>9 その他の引当金（入門編）<br>10 退職給付会計（入門編）<br>11 有形固定資産（入門編）<br>12 無形固定資産（入門編）<br>13 株主資本（入門編）<br>14 財務諸表論の基礎概念（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論入門Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会計基準の入門概要を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 売買目的有価証券（入門編）<br>2 満期保有目的の債券（入門編）<br>3 子会社株式・関連会社株式（入門編）<br>4 その他有価証券（入門編）<br>5 ソフトウェア（入門編）<br>6 法人税等・追徴還付（入門編）<br>7 現在価値計算（入門編）<br>8 社債（入門編）<br>9 利益剰余金（入門編）<br>10 自己株式（入門編）<br>11 配当（入門編）<br>12 外形基準、租税公課（入門編）<br>13 源泉所得税、社会保険料（入門編）<br>14 税効果会計（入門編）<br>15 税効果注記（入門編）<br>16 源泉所得税、社会保険料（入門編）<br>17 株主資本等変動計算書（入門編）<br>18 減損会計（入門編）<br>19 配当を受けた株主の処理（入門編）<br>20 圧縮記帳（入門編）<br>21 外貨建取引（入門編）<br>22 退職給付会計簡便法（入門編）<br>23 繰延資産（入門編）<br>24 為替予約（入門編）<br>25 仕入・売上げの計上基準（入門編）<br>26 消費税等（入門編）<br>27 他勘定振替（入門編）<br>28 外貨建有価証券（入門編）<br>29 リース会計（入門編）<br>30 証券投資信託（入門編）<br>31 ゴルフ会員権（入門編）<br>32 売価還元法（入門編）<br>33 製造業会計（入門編）<br>34 研究開発費（入門編）<br>35 新株予約権（入門編）<br>36 キャッシュ・フロー計算書（入門編）<br>37 損益計算書総論（入門編）<br>38 貸借対照表総論（入門編）<br>39 資産総論（入門編）<br>40 棚卸資産に関する会計基準（入門編）<br>41 連続意見書（入門編）<br>42 引当金（入門編）<br>43 会計観（入門編）<br>44 金融商品（入門編）<br>45 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 消費税法速習入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 売上・仕入取引についての消費税の可否区分の考え方を学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ガイダンス<br>2 課税の対象①（入門編）<br>3 課税の対象②（入門編）<br>4 非課税①（入門編）<br>5 非課税②（入門編）<br>6 輸出免税等①（入門編）<br>7 輸出免税等②（入門編）<br>8 資産の譲渡等の時期（入門編）<br>9 控除対象仕入税額①（入門編）<br>10 控除対象仕入税額②（入門編）<br>11 売上げに係る対価の返還等（入門編）<br>12 貸倒れが生じた場合（入門編）<br>13 課税仕入れの範囲①（入門編）<br>14 課税仕入れの範囲②（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 消費税法速習基礎Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした考え方を学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 課税仕入れ等の時期①（入門編）<br>2 課税仕入れ等の時期②（入門編）<br>3 課税売上割合①（入門編）<br>4 課税売上割合②（入門編）<br>5 課税期間における課税売上高①（入門編）<br>6 課税期間における課税売上高②（入門編）<br>7 課税売上割合に準ずる割合①（入門編）<br>8 課税売上割合に準ずる割合②（入門編）<br>9 仕入れに係る対価の返還等（入門編）<br>10 納税義務の免除（入門編）<br>11 国境を越えた役務の提供①（入門編）<br>12 国境を越えた役務の提供②（入門編）<br>13 国境を越えた役務の提供③（入門編）<br>14 中間申告に係る納付税額の計算（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 消費税法入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 売上取引を中心とした消費税の可否区分の考え方を学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ガイダンス<br>2 課税の対象①（入門編）<br>3 課税の対象②（入門編）<br>4 課税の対象③（入門編）<br>5 課税の対象④（入門編）<br>6 非課税①（入門編）<br>7 非課税②（入門編）<br>8 非課税③（入門編）<br>9 非課税④（入門編）<br>10 輸出免税等①（入門編）<br>11 輸出免税等②（入門編）<br>12 輸出免税等③（入門編）<br>13 輸出免税等④（入門編）<br>14 資産の譲渡等の時期（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 消費税法入門Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 控除税額を中心とした考え方を学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 控除対象仕入税額①（入門編）<br>2 控除対象仕入税額②（入門編）<br>3 控除対象仕入税額③（入門編）<br>4 控除対象仕入税額④（入門編）<br>5 控除対象仕入税額⑤（入門編）<br>6 控除対象仕入税額⑥（入門編）<br>7 売上げに係る対価の返還等①（入門編）<br>8 売上げに係る対価の返還等②（入門編）<br>9 売上げに係る対価の返還等③（入門編）<br>10 貸倒れが生じた場合①（入門編）<br>11 貸倒れが生じた場合②（入門編）<br>12 貸倒れが生じた場合③（入門編）<br>13 課税仕入れの範囲①（入門編）<br>14 課税仕入れの範囲②（入門編）<br>15 課税仕入れの範囲③（入門編）<br>16 課税仕入れの範囲④（入門編）<br>17 課税仕入れの範囲⑤（入門編）<br>18 課税仕入れの範囲⑥（入門編）<br>19 課税仕入れ等の時期①（入門編）<br>20 課税仕入れ等の時期②（入門編）<br>21 課税仕入れ等の時期③（入門編）<br>22 課税仕入れ等の時期④（入門編）<br>23 課税仕入れ等の時期⑤（入門編）<br>24 課税売上割合①（入門編）<br>25 課税売上割合②（入門編）<br>26 課税売上割合③（入門編）<br>27 課税売上割合④（入門編）<br>28 課税売上割合⑤（入門編）<br>29 課税売上割合⑥（入門編）<br>30 課税売上割合⑦（入門編）<br>31 課税期間における課税売上高①（入門編）<br>32 課税期間における課税売上高②（入門編）<br>33 課税期間における課税売上高③（入門編）<br>34 課税売上割合に準ずる割合①（入門編）<br>35 課税売上割合に準ずる割合②（入門編）<br>36 課税売上割合に準ずる割合③（入門編）<br>37 仕入れに係る対価の返還等①（入門編）<br>38 仕入れに係る対価の返還等②（入門編）<br>39 仕入れに係る対価の返還等③（入門編）<br>40 納税義務の免除①（入門編）<br>41 納税義務の免除②（入門編）<br>42 納税義務の免除③（入門編）<br>43 納税義務の免除④（入門編）<br>44 納税義務の免除⑤（入門編）<br>45 確認テスト |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 法人税法入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 法人税法の計算体系の理解を目的とする |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 基本的な部分の学習を行い、初級問題の解法を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ガイダンス（初級編）<br>2 納税義務者Ⅰ（初級編）<br>3 課税所得の範囲Ⅰ（初級編）<br>4 交際費等の損金不算入Ⅰ（初級編）<br>5 減価償却Ⅰ（初級編）<br>6 減価償却Ⅱ（初級編）<br>7 減価償却Ⅲ（初級編）<br>8 受取配当等の益金不算入Ⅰ（初級編）<br>9 寄附金の損金不算入Ⅰ（初級編）<br>10 租税公課等Ⅰ（初級編）<br>11 納税充当金Ⅰ（初級編）<br>12 納税充当金Ⅱ（初級編）<br>13 別表四の作成Ⅰ（初級編）<br>14 事業年度Ⅰ（初級編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 法人税法入門Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 貸倒引当金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 貸倒損失Ⅰ（初級編）<br>2 貸倒損失Ⅱ（初級編）<br>3 貸倒損失Ⅲ（初級編）<br>4 貸倒損失Ⅳ（初級編）<br>5 貸倒引当金Ⅰ（初級編）<br>6 貸倒引当金Ⅱ（初級編）<br>7 貸倒引当金Ⅲ（初級編）<br>8 貸倒引当金Ⅳ（初級編）<br>9 欠損金Ⅰ（初級編）<br>10 欠損金Ⅱ（初級編）<br>11 欠損金Ⅲ（初級編）<br>12 欠損金Ⅳ（初級編）<br>13 外貨建取引Ⅰ（初級編）<br>14 外貨建取引Ⅱ（初級編）<br>15 外貨建取引Ⅲ（初級編）<br>16 外貨建取引Ⅳ（初級編）<br>17 有価証券Ⅰ（初級編）<br>18 有価証券Ⅱ（初級編）<br>19 有価証券Ⅲ（初級編）<br>20 有価証券Ⅳ（初級編）<br>21 収用等Ⅰ（初級編）<br>22 収用等Ⅱ（初級編）<br>23 収用等Ⅲ（初級編）<br>24 収用等Ⅳ（初級編）<br>25 所得税額控除Ⅰ（初級編）<br>26 所得税額控除Ⅱ（初級編）<br>27 所得税額控除Ⅲ（初級編）<br>28 所得税額控除Ⅳ（初級編）<br>29 国庫補助金等Ⅰ（初級編）<br>30 国庫補助金等Ⅱ（初級編）<br>31 国庫補助金等Ⅲ（初級編）<br>32 国庫補助金等Ⅳ（初級編）<br>33 別表五㈠の作成Ⅰ（初級編）<br>34 別表五㈠の作成Ⅱ（初級編）<br>35 別表五㈠の作成Ⅲ（初級編）<br>36 別表五㈠の作成Ⅳ（初級編）<br>37 圧縮記帳Ⅰ（初級編）<br>38 圧縮記帳Ⅱ（初級編）<br>39 圧縮記帳Ⅲ（初級編）<br>40 圧縮記帳Ⅳ（初級編）<br>41 圧縮記帳Ⅴ（初級編）<br>42 圧縮記帳Ⅵ（初級編）<br>43 圧縮記帳Ⅶ（初級編）<br>44 圧縮記帳Ⅷ（初級編）<br>45 確認テスト |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 相続税法入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 相続税および贈与税の概要入門を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 相続税および贈与税の概要を理解する（入門） |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ガイダンス<br>2 相続税法の概要（入門編）<br>3 相続税法と民法（入門編）<br>4 相続人、代襲相続（入門編）<br>5 養子の子の取扱い（入門編）<br>6 相続の承認と放棄（入門編）<br>7 相続分（法定相続分、代襲相続分）（入門編）<br>8 遺言による財産の取得（入門編）<br>9 相続税の納税義務者（入門編）<br>10 生命保険金等（入門編）<br>11 相続税の非課税財産（入門編）<br>12 相続税額の計算方法（入門編）<br>13 生命保険金等の非課税金額（入門編）<br>14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 相続税法入門Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 相続税、贈与税の入門的な問題の理解 |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 贈与税の概要（入門編）<br>2 贈与税の納税義務者（入門編）<br>3 弔慰金等（入門編）<br>4 債務控除（入門編）<br>5 相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（入門編）<br>6 相続時精算課税適用財産（入門編）<br>7 生前贈与加算相続税の総額（入門編）<br>8 算出相続税額の計算（入門編）<br>9 相続税額の加算（入門編）<br>10 贈与税額控除（暦年）（入門編）<br>11 配偶者の税額軽減（入門編）<br>12 未成年者控除（入門編）<br>13 障害者控除（入門編）<br>14 確認テスト①<br>15 特定納税義務者（入門編）<br>16 特定納税義務者の債務控除（入門編）<br>17 特定納税義務者の障害者控除（入門編）<br>18 贈与税額控除（精算）（入門編）<br>19 自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（入門編）<br>20 自用家屋（入門編）<br>21 家屋と構造上一体となっている設備（入門編）<br>22 特別養子制度（入門編）<br>23 生命保険契約に関する権利（入門編）<br>24 被保険者でない保険契約者が死亡した場合（入門編）<br>25 法定相続人の数（入門編）<br>26 本来の財産（入門編）<br>27 自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（入門編）<br>28 地区区分の異なる宅地（入門編）<br>29 側方路線等に宅地の一部が接している場合（入門編）<br>30 普通借地権（自用借地権）（入門編）<br>31 貸宅地（入門編）<br>32 貸家建付地（入門編）<br>33 貸家建付借地権（入門編）<br>34 貸家（入門編）<br>35 一般動産（入門編）<br>36 たな卸商品等（入門編）<br>37 書画骨とう品（入門編）<br>38 預貯金（入門編）<br>39 上場株式（入門編）<br>40 構築物（入門編）<br>41 貸付金債権等（入門編）<br>42 受取手形等（入門編）<br>43 間口が狭小な宅地等（入門編）<br>44 角切り宅地の間口距離（入門編）<br>45 確認テスト② |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト　２回分の平均点100％ |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 企業体験実習 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | インターンシップを通じて税務等の業務内容を理解する |
| 授業の進め方 | 有識者の指導を基により実務の概要を学ぶ |
| 達成目標 | 実務における業務の流れを習得する |
| 教科書 | |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 実習①<br>2 実習②<br>3 実習③<br>4 実習④<br>5 実習⑤<br>6 実習⑥<br>7 実習⑦<br>8 実習⑧<br>9 実習⑨<br>10 実習⑩<br>11 実習⑪<br>12 実習⑫<br>13 実習⑬<br>14 実習⑭<br>15 実習⑮ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 実習評価と日誌、取り組む姿勢により評価する。 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　財務会計論 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 商品売買、棚卸資産及び現金預金に関する入門的な会計処理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 商品売買、棚卸資産及び現金預金の入門的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商品売買①（入門編）<br>2 商品売買②（入門編）<br>3 商品売買③（入門編）<br>4 商品売買④（入門編）<br>5 商品売買⑤（入門編）<br>6 商品売買⑥（入門編）<br>7 商品売買⑦（入門編）<br>8 棚卸資産①（入門編）<br>9 棚卸資産②（入門編）<br>10 棚卸資産③（入門編）<br>11 棚卸資産④（入門編）<br>12 棚卸資産⑤（入門編）<br>13 棚卸資産⑥（入門編）<br>14 現金預金（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　財務会計論Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １５０時間（５単位） |
| 授業コマ数 | ７５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 金銭債権から法人税等に関する入門的な知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 金銭債権から法人税等に関する入門的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 金銭債権①（入門編）<br>2 金銭債権②（入門編）<br>3 金銭債権③（入門編）<br>4 金銭債権④（入門編）<br>5 金銭債権⑤（入門編）<br>6 金銭債権⑥（入門編）<br>7 金銭債権⑦（入門編）<br>8 金銭債権⑧（入門編）<br>9 金銭債権⑨（入門編）<br>10 金銭債権⑩（入門編）<br>11 金銭債権⑪（入門編）<br>12 金銭債権⑫（入門編）<br>13 金銭債権⑬（入門編）<br>14 金銭債権⑭（入門編）<br>15 金銭債権⑮（入門編）<br>16 有価証券①（入門編）<br>17 有価証券②（入門編）<br>18 有価証券③（入門編）<br>19 デリバティブ取引①（入門編）<br>20 デリバティブ取引②（入門編）<br>21 デリバティブ取引③（入門編）<br>22 ヘッジ会計①（入門編）<br>23 ヘッジ会計②（入門編）<br>24 その他の金融商品①（入門編）<br>25 その他の金融商品②（入門編）<br>26 有形固定資産①（入門編）<br>27 有形固定資産②（入門編）<br>28 有形固定資産③（入門編）<br>29 有形固定資産④（入門編）<br>30 有形固定資産⑤（入門編）<br>31 有形固定資産⑥（入門編）<br>32 有形固定資産⑦（入門編）<br>33 有形固定資産⑧（入門編）<br>34 有形固定資産⑨（入門編）<br>35 有形固定資産⑩（入門編）<br>36 有形固定資産⑪（入門編）<br>37 有形固定資産⑫（入門編）<br>38 有形固定資産⑬（入門編）<br>39 有形固定資産⑭（入門編）<br>40 リース会計①（入門編）<br>41 リース会計②（入門編）<br>42 リース会計③（入門編）<br>43 リース会計④（入門編）<br>44 リース会計⑤（入門編）<br>45 リース会計⑥（入門編）<br>46 リース会計⑦（入門編）<br>47 リース会計⑧（入門編）<br>48 リース会計⑨（入門編）<br>49 リース会計⑩（入門編）<br>50 リース会計⑪（入門編）<br>51 リース会計⑫（入門編）<br>52 無形固定資産①（入門編）<br>53 無形固定資産②（入門編）<br>54 投資その他の資産（入門編）<br>55 減損会計①（入門編）<br>56 減損会計②（入門編）<br>57 減損会計③（入門編）<br>58 繰延資産（入門編）<br>59 社債①（入門編）<br>60 社債②（入門編）<br>61 純資産会計①（入門編）<br>62 純資産会計②（入門編）<br>63 純資産会計③（入門編）<br>64 純資産会計④（入門編）<br>65 純資産会計⑤（入門編）<br>66 新株予約権①（入門編）<br>67 新株予約権②（入門編）<br>68 新株予約権③（入門編）<br>69 新株予約権④（入門編）<br>70 新株予約権⑤（入門編）<br>71 ストック・オプション①（入門編）<br>72 ストック・オプション②（入門編）<br>73 ストック・オプション③（入門編）<br>74 法人税等（入門編）<br>75 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　管理会計論 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 管理会計の概要を知り、数学的な入門知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 授業計画に従い、初歩的な知識を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 管理会計総論（入門編）<br>2 原価計算総論（入門編）<br>3 費目別計算①（入門編）<br>4 費目別計算②（入門編）<br>5 費目別計算③（入門編）<br>6 費目別計算④（入門編）<br>7 費目別計算⑤（入門編）<br>8 費目別計算⑥（入門編）<br>9 費目別計算⑦（入門編）<br>10 費目別計算⑧（入門編）<br>11 費目別計算⑨（入門編）<br>12 費目別計算⑩（入門編）<br>13 費目別計算⑪（入門編）<br>14 費目別計算⑫（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　管理会計論Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 管理会計の概要を知り、数学的な入門知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 授業計画に従い、初歩的な知識を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 部門別計算総論（入門編）<br>2 部門別計算①（入門編）<br>3 部門別計算②（入門編）<br>4 部門別計算③（入門編）<br>5 部門別計算④（入門編）<br>6 部門別計算⑤（入門編）<br>7 部門別計算⑥（入門編）<br>8 部門別計算⑦（入門編）<br>9 部門別計算⑧（入門編）<br>10 部門別計算⑨（入門編）<br>11 部門別計算⑩（入門編）<br>12 部門別計算⑪（入門編）<br>13 部門別計算⑫（入門編）<br>14 個別原価計算総論（入門編）<br>15 個別原価計算①（入門編）<br>16 個別原価計算②（入門編）<br>17 個別原価計算③（入門編）<br>18 個別原価計算④（入門編）<br>19 個別原価計算⑤（入門編）<br>20 総合原価計算総論（入門編）<br>21 単純総合原価計算①（入門編）<br>22 単純総合原価計算②（入門編）<br>23 単純総合原価計算③（入門編）<br>24 単純総合原価計算④（入門編）<br>25 単純総合原価計算⑤（入門編）<br>26 単純総合原価計算⑥（入門編）<br>27 工程別総合原価計算①（入門編）<br>28 工程別総合原価計算②（入門編）<br>29 工程別総合原価計算③（入門編）<br>30 工程別総合原価計算④（入門編）<br>31 工程別総合原価計算⑤（入門編）<br>32 工程別総合原価計算⑥（入門編）<br>33 工程別総合原価計算⑦（入門編）<br>34 工程別総合原価計算⑧（入門編）<br>35 工程別総合原価計算⑨（入門編）<br>36 工程別総合原価計算⑩（入門編）<br>37 組別総合原価計算①（入門編）<br>38 組別総合原価計算②（入門編）<br>39 等級別総合原価計算①（入門編）<br>40 等級別総合原価計算②（入門編）<br>41 等級別総合原価計算③（入門編）<br>42 連産品①（入門編）<br>43 連産品②（入門編）<br>44 連産品③（入門編）<br>45 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 全経簿記上級総合Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 大企業を前提とした会計制度を学習し、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 有価証券報告書を理解することはもちろんのこと、会計基準、適用指針、結合会計など、実務に直結する会計の理解を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記・会計学総まとめ①（全経総合編）<br>2 商業簿記・会計学総まとめ②（全経総合編）<br>3 商業簿記・会計学総まとめ③（全経総合編）<br>4 工業簿記・原価計算総まとめ①（全経総合編）<br>5 工業簿記・原価計算総まとめ②（全経総合編）<br>6 工業簿記・原価計算総まとめ③（全経総合編）<br>7 商業簿記・会計学総まとめ④（全経総合編）<br>8 商業簿記・会計学総まとめ⑤（全経総合編）<br>9 商業簿記・会計学総まとめ⑥（全経総合編）<br>10 工業簿記・原価計算総まとめ④（全経総合編）<br>11 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経総合編）<br>12 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（全経総合編）<br>13 商業簿記・会計学総まとめ⑦（全経総合編）<br>14 商業簿記・会計学総まとめ⑧（全経総合編）<br>15 商業簿記・会計学総まとめ⑨（全経総合編）<br>16 工業簿記・原価計算総まとめ⑦（全経総合編）<br>17 工業簿記・原価計算総まとめ⑧（全経総合編）<br>18 工業簿記・原価計算総まとめ⑨（全経総合編）<br>19 商業簿記・会計学総まとめ⑩（全経総合編）<br>20 商業簿記・会計学総まとめ⑪（全経総合編）<br>21 商業簿記・会計学総まとめ⑫（全経総合編）<br>22 工業簿記・原価計算総まとめ⑩（全経総合編）<br>23 工業簿記・原価計算総まとめ⑪（全経総合編）<br>24 工業簿記・原価計算総まとめ⑫（全経総合編）<br>25 商業簿記・会計学総まとめ⑬（全経総合編）<br>26 商業簿記・会計学総まとめ⑭（全経総合編）<br>27 商業簿記・会計学総まとめ⑮（全経総合編）<br>28 工業簿記・原価計算総まとめ⑬（全経総合編）<br>29 工業簿記・原価計算総まとめ⑭（全経総合編）<br>30 工業簿記・原価計算総まとめ⑮（全経総合編）<br>31 総合問題対策①（全経総合編）<br>32 総合問題対策②（全経総合編）<br>33 総合問題対策③（全経総合編）<br>34 総合問題対策④（全経総合編）<br>35 総合問題対策⑤（全経総合編）<br>36 総合問題対策⑥（全経総合編）<br>37 総合問題対策⑦（全経総合編）<br>38 総合問題対策⑧（全経総合編）<br>39 総合問題対策⑨（全経総合編）<br>40 総合問題対策⑩（全経総合編）<br>41 総合問題対策⑪（全経総合編）<br>42 総合問題対策⑫（全経総合編）<br>43 総合問題対策⑬（全経総合編）<br>44 総合問題対策⑭（全経総合編）<br>45 総合問題対策⑮（全経総合編）<br>46 総合問題演習①（テスト形式）<br>47 総合問題演習①（テスト形式）<br>48 総合問題演習①（テスト形式）<br>49 総合問題演習②（テスト形式）<br>50 総合問題演習②（テスト形式）<br>51 総合問題演習②（テスト形式）<br>52 総合問題演習③（テスト形式）<br>53 総合問題演習③（テスト形式）<br>54 総合問題演習③（テスト形式）<br>55 総合問題演習④（テスト形式）<br>56 総合問題演習④（テスト形式）<br>57 総合問題演習④（テスト形式）<br>58 総合問題演習⑤（テスト形式）<br>59 総合問題演習⑤（テスト形式）<br>60 総合問題演習⑤（テスト形式） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級会計学入門Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、基礎的な理論体系、現行基準との整合性を確認する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 現行基準の基本的な理論体系の理解を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 財務諸表<br>2 有価証券<br>3 デリバティブ取引・ヘッジ会計<br>4 有形固定資産<br>5 割引現在価値<br>6 リース取引<br>7 固定資産の減損<br>8 研究開発費とソフトウェア<br>9 繰延資産、社債<br>10 引当金<br>11 退職給付<br>12 資産除去債務、純資産<br>13 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション<br>14 税効果会計<br>15 外貨建取引<br>16 商品売買等<br>17 工事契約<br>18 本支店会計<br>19 連結財務諸表総論<br>20 資本連結<br>21 成果連結<br>22 持分法<br>23 連結税効果会計<br>24 包括利益<br>25 在外子会社<br>26 企業結合<br>27 事業分離<br>28 キャッシュフロー計算書<br>29 連結キャッシュフロー計算書<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級原価計算入門Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | これまでの学習を総括し、再度、基本的な内容から確認し、工業簿記および原価計算の関係性を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 工企業を前提とする基本的な会計処理の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 工業簿記と原価計算<br>2 費目別計算①<br>3 費目別計算②<br>4 部門別計算①<br>5 部門別計算②<br>6 個別原価計算①<br>7 個別原価計算②<br>8 総合原価計算①<br>9 総合原価計算②<br>10 総合原価計算③<br>11 標準原価計算①<br>12 標準原価計算②<br>13 標準原価計算③<br>14 標準原価計算④<br>15 標準原価計算⑤<br>16 直接原価計算<br>17 短期利益計画<br>18 予算管理①<br>19 予算管理②<br>20 意思決定会計①<br>21 意思決定会計②<br>22 意思決定会計③<br>23 意思決定会計④<br>24 意思決定会計⑤<br>25 意思決定会計⑥<br>26 意思決定会計⑦<br>27 意思決定会計⑧<br>28 戦略的原価計算①<br>29 戦略的原価計算②<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論基礎Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 税効果会計Ⅰ①（入門編）<br>2 税効果会計Ⅰ②（入門編）<br>3 税効果会計Ⅰ③（入門編）<br>4 税効果会計Ⅰ④（入門編）<br>5 税効果会計Ⅰ⑤（入門編）<br>6 税効果会計Ⅰ⑥（入門編）<br>7 税効果会計Ⅰ⑦（入門編）<br>8 税効果会計Ⅰ⑧（入門編）<br>9 現在価値計算Ⅰ①（入門編）<br>10 現在価値計算Ⅰ②（入門編）<br>11 現在価値計算Ⅰ③（入門編）<br>12 保険金Ⅰ①（入門編）<br>13 保険金Ⅰ②（入門編）<br>14 保険金Ⅰ③（入門編）<br>15 新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）<br>16 新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）<br>17 新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）<br>18 新株予約権付社債Ⅰ④（入門編）<br>19 新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編）<br>20 新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編）<br>21 減損会計Ⅰ①（入門編）<br>22 減損会計Ⅰ②（入門編）<br>23 減損会計Ⅰ③（入門編）<br>24 減損会計Ⅰ④（入門編）<br>25 資産除去債務Ⅰ①（入門編）<br>26 資産除去債務Ⅰ②（入門編）<br>27 外貨建会計Ⅰ①（入門編）<br>28 外貨建会計Ⅰ②（入門編）<br>29 外貨建会計Ⅰ③（入門編）<br>30 外貨建会計Ⅰ④（入門編）<br>31 外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）<br>32 外貨建会計Ⅰ⑥（入門編）<br>33 リース会計Ⅰ①（入門編）<br>34 リース会計Ⅰ②（入門編）<br>35 リース会計Ⅰ③（入門編）<br>36 リース会計Ⅰ④（入門編）<br>37 リース会計Ⅰ⑤（入門編）<br>38 リース会計Ⅰ⑥（入門編）<br>39 試用販売Ⅰ①（入門編）<br>40 試用販売Ⅰ②（入門編）<br>41 試用販売Ⅰ③（入門編）<br>42 試用販売Ⅰ④（入門編）<br>43 試用販売Ⅰ⑤（入門編）<br>44 試用販売Ⅰ⑥（入門編）<br>45 割賦販売Ⅰ①（入門編）<br>46 割賦販売Ⅰ②（入門編）<br>47 割賦販売Ⅰ③（入門編）<br>48 割賦販売Ⅰ④（入門編）<br>49 割賦販売Ⅰ⑤（入門編）<br>50 割賦販売Ⅰ⑥（入門編）<br>51 未着品販売Ⅰ①（入門編）<br>52 未着品販売Ⅰ②（入門編）<br>53 未着品販売Ⅰ③（入門編）<br>54 未着品販売Ⅰ④（入門編）<br>55 委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）<br>56 委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）<br>57 委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）<br>58 委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編）<br>59 委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編）<br>60 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論基礎Ⅰ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | １年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） | |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 金融商品取引法の概要入門を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門編） |
| | 2 | 会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門編） |
| | 3 | 会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門編） |
| | 4 | 会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門編） |
| | 5 | 会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（入門編） |
| | 6 | 分配可能額①（入門編） |
| | 7 | 分配可能額②（入門編） |
| | 8 | 分配可能額③（入門編） |
| | 9 | 分配可能額④（入門編） |
| | 10 | 分配可能額⑤（入門編） |
| | 11 | ストック・オプション①（入門編） |
| | 12 | ストック・オプション②（入門編） |
| | 13 | ストック・オプション③（入門編） |
| | 14 | ストック・オプション④（入門編） |
| | 15 | ストック・オプション⑤（入門編） |
| | 16 | セール＆リースバック①（入門編） |
| | 17 | セール＆リースバック②（入門編） |
| | 18 | セール＆リースバック③（入門編） |
| | 19 | セール＆リースバック④（入門編） |
| | 20 | セール＆リースバック⑤（入門編） |
| | 21 | 財務諸表等規則①（入門編） |
| | 22 | 財務諸表等規則②（入門編） |
| | 23 | 財務諸表等規則③（入門編） |
| | 24 | 財務諸表等規則④（入門編） |
| | 25 | 財務諸表等規則⑤（入門編） |
| | 26 | 負債①（入門編） |
| | 27 | 負債②（入門編） |
| | 28 | 負債③（入門編） |
| | 29 | 負債④（入門編） |
| | 30 | 負債⑤（入門編） |
| | 31 | 純資産会計①（入門編） |
| | 32 | 純資産会計②（入門編） |
| | 33 | 純資産会計③（入門編） |
| | 34 | 純資産会計④（入門編） |
| | 35 | 純資産会計⑤（入門編） |
| | 36 | 企業結合会計①（入門編） |
| | 37 | 企業結合会計②（入門編） |
| | 38 | 企業結合会計③（入門編） |
| | 39 | 企業結合会計④（入門編） |
| | 40 | 企業結合会計⑤（入門編） |
| | 41 | 事業分離会計①（入門編） |
| | 42 | 事業分離会計②（入門編） |
| | 43 | 事業分離会計③（入門編） |
| | 44 | 事業分離会計④（入門編） |
| | 45 | 事業分離会計⑤（入門編） |
| | 46 | 四半期財務諸表①（入門編） |
| | 47 | 四半期財務諸表②（入門編） |
| | 48 | 四半期財務諸表③（入門編） |
| | 49 | 四半期財務諸表④（入門編） |
| | 50 | 四半期財務諸表⑤（入門編） |
| | 51 | ヘッジ会計①（入門編） |
| | 52 | ヘッジ会計②（入門編） |
| | 53 | ヘッジ会計③（入門編） |
| | 54 | ヘッジ会計④（入門編） |
| | 55 | ヘッジ会計⑤（入門編） |
| | 56 | 包括利益①（入門編） |
| | 57 | 包括利益②（入門編） |
| | 58 | 包括利益③（入門編） |
| | 59 | 包括利益④（入門編） |
| | 60 | 確認テスト |
| 成績評価方法（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 消費税法速習応用Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例の考え方を学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 課税仕入れ等の分類①（入門編）<br>2 課税仕入れ等の分類②（入門編）<br>3 課税仕入れ等の分類③（入門編）<br>4 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例（入門編）<br>5 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編）<br>6 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編）<br>7 納税義務の免除の特例①（入門編）<br>8 納税義務の免除の特例②（入門編）<br>9 納税義務の免除の特例③（入門編）<br>10 納税義務の免除の特例④（入門編）<br>11 納税義務の免除の特例⑤（入門編）<br>12 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編）<br>13 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編）<br>14 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整・特殊項目②（入門編）<br>15 課税標準①（入門編）<br>16 課税標準②（入門編）<br>17 簡易課税制度①（入門編）<br>18 簡易課税制度②（入門編）<br>19 簡易課税制度③（入門編）<br>20 簡易課税制度④（入門編）<br>21 軽減税率①（入門編）<br>22 軽減税率②（入門編）<br>23 旧税率に関する経過措置①（入門編）<br>24 旧税率に関する経過措置②（入門編）<br>25 複数税率の場合の計算①（入門編）<br>26 複数税率の場合の計算②（入門編）<br>27 国等に対する特例①（入門編）<br>28 国等に対する特例②（入門編）<br>29 特殊項目③（税抜経理方式）（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 消費税法基礎Ⅰ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | １年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） | |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 納税義務判定の特例や、仕入税額控除の特例などの考え方を学習する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 国境を越えた役務の提供①（入門編） |
| | 2 | 国境を越えた役務の提供②（入門編） |
| | 3 | 国境を越えた役務の提供③（入門編） |
| | 4 | 国境を越えた役務の提供④（入門編） |
| | 5 | 国境を越えた役務の提供⑤（入門編） |
| | 6 | 中間申告に係る納付税額の計算①（入門編） |
| | 7 | 中間申告に係る納付税額の計算②（入門編） |
| | 8 | 課税仕入れ等の分類①（入門編） |
| | 9 | 課税仕入れ等の分類②（入門編） |
| | 10 | 課税仕入れ等の分類③（入門編） |
| | 11 | 課税仕入れ等の分類④（入門編） |
| | 12 | 課税仕入れ等の分類⑤（入門編） |
| | 13 | 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（入門編） |
| | 14 | 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（入門編） |
| | 15 | 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（入門編） |
| | 16 | 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編） |
| | 17 | 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編） |
| | 18 | 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編） |
| | 19 | 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編） |
| | 20 | 納税義務の免除の特例①（入門編） |
| | 21 | 納税義務の免除の特例②（入門編） |
| | 22 | 納税義務の免除の特例③（入門編） |
| | 23 | 納税義務の免除の特例④（入門編） |
| | 24 | 納税義務の免除の特例⑤（入門編） |
| | 25 | 納税義務の免除の特例⑥（入門編） |
| | 26 | 納税義務の免除の特例⑦（入門編） |
| | 27 | 納税義務の免除の特例⑧（入門編） |
| | 28 | 納税義務の免除の特例⑨（入門編） |
| | 29 | 納税義務の免除の特例⑩（入門編） |
| | 30 | 納税義務の免除の特例⑪（入門編） |
| | 31 | 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（入門編） |
| | 32 | 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（入門編） |
| | 33 | 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③（入門編） |
| | 34 | 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算④（入門編） |
| | 35 | 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（入門編） |
| | 36 | 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（入門編） |
| | 37 | 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（入門編） |
| | 38 | 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④（入門編） |
| | 39 | 課税標準①（入門編） |
| | 40 | 課税標準②（入門編） |
| | 41 | 課税標準③（入門編） |
| | 42 | 課税標準④（入門編） |
| | 43 | 課税標準⑤（入門編） |
| | 44 | 課税標準⑥（入門編） |
| | 45 | 簡易課税制度①（入門編） |
| | 46 | 簡易課税制度②（入門編） |
| | 47 | 簡易課税制度③（入門編） |
| | 48 | 簡易課税制度④（入門編） |
| | 49 | 簡易課税制度⑤（入門編） |
| | 50 | 簡易課税制度⑥（入門編） |
| | 51 | 簡易課税制度⑦（入門編） |
| | 52 | 簡易課税制度⑧（入門編） |
| | 53 | 簡易課税制度⑨（入門編） |
| | 54 | 簡易課税制度⑩（入門編） |
| | 55 | 簡易課税制度⑪（入門編） |
| | 56 | 簡易課税制度⑫（入門編） |
| | 57 | 簡易課税制度⑬（入門編） |
| | 58 | 簡易課税制度⑭（入門編） |
| | 59 | 簡易課税制度⑮（入門編） |
| | 60 | 確認テスト |
| 成績評価方法（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 法人税法基礎Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 役員判定、役員給与を中心とした法人税法の体系を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 各項目の基礎的な部分を学び、各体系の解法を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 役員判定Ⅰ（初級編）<br>2 役員判定Ⅱ（初級編）<br>3 役員給与Ⅰ（初級編）<br>4 役員給与Ⅱ（初級編）<br>5 使用人給与Ⅰ（初級編）<br>6 使用人給与Ⅱ（初級編）<br>7 特定資産の買換えⅠ（初級編）<br>8 特定資産の買換えⅡ（初級編）<br>9 外国税額控除Ⅰ（初級編）<br>10 外国税額控除Ⅱ（初級編）<br>11 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（初級編）<br>12 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（初級編）<br>13 みなし配当金Ⅰ（初級編）<br>14 みなし配当金Ⅱ（初級編）<br>15 資本等取引Ⅰ（初級編）<br>16 資本等取引Ⅱ（初級編）<br>17 交換差益Ⅰ（初級編）<br>18 交換差益Ⅱ（初級編）<br>19 別表五㈡Ⅰ（初級編）<br>20 別表五㈡Ⅱ（初級編）<br>21 リース取引Ⅰ（初級編）<br>22 リース取引Ⅱ（初級編）<br>23 繰延資産Ⅰ（初級編）<br>24 繰延資産Ⅱ（初級編）<br>25 確定決算型Ⅰ（初級編）<br>26 確定決算型Ⅱ（初級編）<br>27 グループ法人税制Ⅰ（初級編）<br>28 グループ法人税制Ⅱ（初級編）<br>29 資産の評価損益Ⅰ（初級編）<br>30 資産の評価損益Ⅱ（初級編）<br>31 保険料Ⅰ（初級編）<br>32 保険料Ⅱ（初級編）<br>33 設立事業年度Ⅰ（初級編）<br>34 設立事業年度Ⅱ（初級編）<br>35 組織再編税制Ⅰ（初級編）<br>36 組織再編税制Ⅱ（初級編）<br>37 工事の請負Ⅰ（初級編）<br>38 工事の請負Ⅱ（初級編）<br>39 修正申告Ⅰ（初級編）<br>40 修正申告Ⅱ（初級編）<br>41 税効果会計Ⅰ（初級編）<br>42 税効果会計Ⅱ（初級編）<br>43 賃上げ・投資促進税制Ⅰ（初級編）<br>44 賃上げ・投資促進税制Ⅱ（初級編）<br>45 スピンオフ税制Ⅰ（初級編）<br>46 スピンオフ税制Ⅱ（初級編）<br>47 特定同族会社の特別税率Ⅰ（初級編）<br>48 特定同族会社の特別税率Ⅱ（初級編）<br>49 適用除外事業者Ⅰ（初級編）<br>50 適用除外事業者Ⅱ（初級編）<br>51 地方法人税Ⅰ（初級編）<br>52 地方法人税Ⅱ（初級編）<br>53 外国子会社配当Ⅰ（初級編）<br>54 外国子会社配当Ⅱ（初級編）<br>55 借地権等Ⅰ（初級編）<br>56 借地権等Ⅱ（初級編）<br>57 償還差損益Ⅰ（初級編）<br>58 償還差損益Ⅱ（初級編）<br>59 未収還付税金Ⅰ（初級編）<br>60 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 相続税法基礎Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 相続税、贈与税の入門的な知識を網羅し文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 相続税法に基づいた入門的な問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 使用貸借により借り受けた宅地等（入門編）<br>2 使用貸借により貸し付けられた宅地等（入門編）<br>3 使用貸借により貸し付けられた家屋（入門編）<br>4 小規模宅地等の減額①（入門編）<br>5 小規模宅地等の減額②（入門編）<br>6 小規模宅地等の減額③（入門編）<br>7 小規模宅地等の減額④（入門編）<br>8 小規模宅地等の減額⑤（入門編）<br>9 小規模宅地等の減額⑥（入門編）<br>10 確認テスト①<br>11 取引相場のない株式①（入門編）<br>12 取引相場のない株式②（入門編）<br>13 取引相場のない株式③（入門編）<br>14 取引相場のない株式④（入門編）<br>15 取引相場のない株式⑤（入門編）<br>16 取引相場のない株式⑥（入門編）<br>17 取引相場のない株式⑦（入門編）<br>18 取引相場のない株式⑧（入門編）<br>19 取引相場のない株式⑨（入門編）<br>20 取引相場のない株式⑩（入門編）<br>21 取引相場のない株式⑪（入門編）<br>22 取引相場のない株式⑫（入門編）<br>23 取引相場のない株式⑬（入門編）<br>24 利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（入門編）<br>25 相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（入門編）<br>26 相当の地代を支払っている場合の借地権（入門編）<br>27 土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（入門編）<br>28 利用区分が異なる建物（入門編）<br>29 建築中の家屋（入門編）<br>30 不整形地（入門編）<br>31 地積規模の大きな宅地（入門編）<br>32 がけ地等を有する宅地（入門編）<br>33 旗竿状の宅地等（入門編）<br>34 容積率の異なる宅地（入門編）<br>35 都市計画道路予定地の区域内にある宅地（入門編）<br>36 確認テスト②<br>37 私道の用に供されている宅地（入門編）<br>38 セットバックを必要とする宅地（入門編）<br>39 上場株式（権利落）（入門編）<br>40 株式の割り当てを受ける権利（入門編）<br>41 宅地等の評価単位（入門編）<br>42 純農地、中間農地、純山林、中間山林（入門編）<br>43 市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（入門編）<br>44 立木、立木の評価減（入門編）<br>45 配当期待権（入門編）<br>46 贈与税が課税される場合（入門編）<br>47 相続税が課税される場合（入門編）<br>48 負担付遺贈・贈与（入門編）<br>49 贈与税の非課税財産（入門編）<br>50 直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（入門編）<br>51 契約者貸付金等がある場合の保険金（入門編）<br>52 住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（入門編）<br>53 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（入門編）<br>54 証券投資信託受益証券（入門編）<br>55 ゴルフ会員権（入門編）<br>56 不動産投資信託証券（入門編）<br>57 措法70の非課税（入門編）<br>58 権利義務の承継（入門編）<br>59 贈与税の配偶者控除（入門編）<br>60 確認テスト③ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト　３回分の平均点100％ |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論基礎Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 簿記の概要Ⅰ①（入門編）<br>2 簿記の概要Ⅰ②（入門編）<br>3 簿記の概要Ⅰ③（入門編）<br>4 簿記の概要Ⅰ④（入門編）<br>5 現金預金Ⅰ①（入門編）<br>6 現金預金Ⅰ②（入門編）<br>7 現金預金Ⅰ③（入門編）<br>8 債権債務Ⅰ①（入門編）<br>9 債権債務Ⅰ②（入門編）<br>10 商品売買Ⅰ①（入門編）<br>11 商品売買Ⅰ②（入門編）<br>12 商品売買Ⅰ③（入門編）<br>13 給料等Ⅰ①（入門編）<br>14 給料等Ⅰ②（入門編）<br>15 給料等Ⅰ③（入門編）<br>16 固定資産Ⅰ①（入門編）<br>17 固定資産Ⅰ②（入門編）<br>18 固定資産Ⅰ③（入門編）<br>19 固定資産Ⅰ④（入門編）<br>20 固定資産Ⅰ⑤（入門編）<br>21 固定資産Ⅰ⑥（入門編）<br>22 固定資産Ⅰ⑦（入門編）<br>23 固定資産Ⅰ⑧（入門編）<br>24 固定資産Ⅰ⑨（入門編）<br>25 固定資産Ⅰ⑩（入門編）<br>26 ソフトウェアⅠ①（入門編）<br>27 ソフトウェアⅠ②（入門編）<br>28 債権債務Ⅰ①（入門編）<br>29 債権債務Ⅰ②（入門編）<br>30 債権債務Ⅰ③（入門編）<br>31 貸倒れⅠ①（入門編）<br>32 貸倒れⅠ②（入門編）<br>33 貸倒れⅠ③（入門編）<br>34 退職給付会計Ⅰ①（入門編）<br>35 退職給付会計Ⅰ②（入門編）<br>36 退職給付会計Ⅰ③（入門編）<br>37 退職給付会計Ⅰ④（入門編）<br>38 退職給付会計Ⅰ⑤（入門編）<br>39 退職給付会計Ⅰ⑥（入門編）<br>40 退職給付会計Ⅰ⑦（入門編）<br>41 退職給付会計Ⅰ⑧（入門編）<br>42 税金Ⅰ①（入門編）<br>43 税金Ⅰ②（入門編）<br>44 税金Ⅰ③（入門編）<br>45 税金Ⅰ④（入門編）<br>46 社債Ⅰ①（入門編）<br>47 社債Ⅰ②（入門編）<br>48 社債Ⅰ③（入門編）<br>49 社債Ⅰ④（入門編）<br>50 社債Ⅰ⑤（入門編）<br>51 社債Ⅰ⑥（入門編）<br>52 純資産会計Ⅰ①（入門編）<br>53 純資産会計Ⅰ②（入門編）<br>54 純資産会計Ⅰ③（入門編）<br>55 純資産会計Ⅰ④（入門編）<br>56 有価証券Ⅰ①（入門編）<br>57 有価証券Ⅰ②（入門編）<br>58 有価証券Ⅰ③（入門編）<br>59 有価証券Ⅰ④（入門編）<br>60 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論基礎Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会計学の入門・基礎を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ガイダンス・財務諸表の基礎（入門・基礎）<br>2 個別注記表（入門・基礎）<br>3 現金及び預金（入門・基礎）<br>4 債権債務（入門・基礎）<br>5 関係会社概念（入門・基礎）<br>6 売上原価の算定（入門・基礎）<br>7 貸倒れ（入門・基礎）<br>8 給料等（入門・基礎）<br>9 その他の引当金（入門・基礎）<br>10 退職給付会計（入門・基礎）<br>11 有形固定資産（入門・基礎）<br>12 無形固定資産（入門・基礎）<br>13 株主資本（入門・基礎）<br>14 財務諸表論の基礎概念（入門・基礎）<br>15 売買目的有価証券（入門・基礎）<br>16 満期保有目的の債券（入門・基礎）<br>17 子会社株式・関連会社株式（入門・基礎）<br>18 その他有価証券（入門・基礎）<br>19 ソフトウェア（入門・基礎）<br>20 法人税等・追徴還付（入門・基礎）<br>21 現在価値計算（入門・基礎）<br>22 社債（入門・基礎）<br>23 利益剰余金（入門・基礎）<br>24 自己株式（入門・基礎）<br>25 配当（入門・基礎）<br>26 外形基準、租税公課（入門・基礎）<br>27 源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）<br>28 税効果会計（入門・基礎）<br>29 税効果注記（入門・基礎）<br>30 源泉所得税、社会保険料（入門・基礎）<br>31 株主資本等変動計算書（入門・基礎）<br>32 減損会計（入門・基礎）<br>33 配当を受けた株主の処理（入門・基礎）<br>34 圧縮記帳（入門・基礎）<br>35 外貨建取引（入門・基礎）<br>36 退職給付会計簡便法（入門・基礎）<br>37 繰延資産（入門・基礎）<br>38 為替予約（入門・基礎）<br>39 仕入・売上げの計上基準（入門・基礎）<br>40 消費税等（入門・基礎）<br>41 他勘定振替（入門・基礎）<br>42 外貨建有価証券（入門・基礎）<br>43 リース会計（入門・基礎）<br>44 証券投資信託（入門・基礎）<br>45 ゴルフ会員権（入門・基礎）<br>46 売価還元法（入門・基礎）<br>47 製造業会計（入門・基礎）<br>48 研究開発費（入門・基礎）<br>49 新株予約権（入門・基礎）<br>50 キャッシュ・フロー計算書（入門・基礎）<br>51 損益計算書総論（入門・基礎）<br>52 貸借対照表総論（入門・基礎）<br>53 資産総論（入門・基礎）<br>54 棚卸資産に関する会計基準（入門・基礎）<br>55 連続意見書（入門・基礎）<br>56 引当金（入門・基礎）<br>57 会計観（入門・基礎）<br>58 金融商品（入門・基礎）<br>59 収益性の低下（入門・基礎）<br>60 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務会計論簿記入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 連結会計及びセグメント情報に関する入門的な会計処理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 連結会計及びセグメント情報に関する入門的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 連結会計①（入門編）<br>2 連結会計②（入門編）<br>3 連結会計③（入門編）<br>4 連結会計④（入門編）<br>5 連結会計⑤（入門編）<br>6 連結会計⑥（入門編）<br>7 連結会計⑦（入門編）<br>8 連結会計⑧（入門編）<br>9 連結会計⑨（入門編）<br>10 連結会計⑩（入門編）<br>11 連結会計⑪（入門編）<br>12 連結会計⑫（入門編）<br>13 セグメント情報①（入門編）<br>14 セグメント情報②（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 管理会計論入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 管理会計の概要を知り、数学的な入門知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 授業計画に従い、初歩的な知識を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 標準原価計算総論（入門編）<br>2 標準原価計算①（入門編）<br>3 標準原価計算②（入門編）<br>4 標準原価計算③（入門編）<br>5 標準原価計算④（入門編）<br>6 標準原価計算⑤（入門編）<br>7 標準原価計算⑥（入門編）<br>8 標準原価計算⑦（入門編）<br>9 標準原価計算⑧（入門編）<br>10 標準原価計算⑨（入門編）<br>11 標準原価計算⑩（入門編）<br>12 標準原価計算⑪（入門編）<br>13 標準原価計算⑫（入門編）<br>14 標準原価計算⑬（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務会計論簿記入門Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 企業結合及び事業分離に関する入門的な会計処理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 企業結合及び事業分離の入門的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 企業結合①（入門編）<br>2 企業結合②（入門編）<br>3 企業結合③（入門編）<br>4 企業結合④（入門編）<br>5 企業結合⑤（入門編）<br>6 企業結合⑥（入門編）<br>7 企業結合⑦（入門編）<br>8 企業結合⑧（入門編）<br>9 企業結合⑨（入門編）<br>10 共通支配下の取引①（入門編）<br>11 共通支配下の取引②（入門編）<br>12 非支配株主との取引①（入門編）<br>13 非支配株主との取引②（入門編）<br>14 事業分離①（入門編）<br>15 事業分離②（入門編）<br>16 事業分離③（入門編）<br>17 事業分離④（入門編）<br>18 事業分離⑤（入門編）<br>19 事業分離⑥（入門編）<br>20 事業分離⑦（入門編）<br>21 事業分離⑧（入門編）<br>22 事業分離⑨（入門編）<br>23 事業分離⑩（入門編）<br>24 事業分離⑪（入門編）<br>25 共同新設分割（入門編）<br>26 結合当時企業の株主に係る会計処理①（入門編）<br>27 結合当時企業の株主に係る会計処理②（入門編）<br>28 共同支配企業の形成①（入門編）<br>29 共同支配企業の形成②（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務会計論財表入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 財務会計、概念フレームワーク及び資産評価に関する入門的概念を体系的に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 会社法会計、金融商品取引法会計、概念フレームワーク、資産評価に関する入門的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 会計の意義・資本循環と財務諸表（入門編）<br>2 財務会計と管理会計・会計責任説と利害調整機能（入門編）<br>3 意思決定有用性説と情報提供機能・利益の性格と財務会計の機能（入門編）<br>4 会社法会計・金融商品取引法会計（入門編）<br>5 単体開示の簡素化・企業会計原則（入門編）<br>6 企業会計基準・会計基準の国際的コンバージェンス（入門編）<br>7 指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い・米国基準の任意適用（入門編）<br>8 原則主義と細則主義・会計基準を設定するアプローチ（入門編）<br>9 概念フレームワークの公表・財務報告の目的（入門編）<br>10 会計情報の質的特性・財務諸表の構成要素（入門編）<br>11 財務諸表における認識を測定・実現主義・発生主義（入門編）<br>12 費用収益対応の原則・収支額基準・実現可能性基準（入門編）<br>13 原価主義・時価主義（入門編）<br>14 割引原価主義・費用配分の原則（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 管理会計論入門Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 管理会計の概要を知り、数学的な入門知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 授業計画に従い、初歩的な知識を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 財務会計と管理会計（入門編）<br>2 財務情報分析①（入門編）<br>3 財務情報分析②（入門編）<br>4 財務情報分析③（入門編）<br>5 財務情報分析④（入門編）<br>6 財務情報分析⑤（入門編）<br>7 財務情報分析⑥（入門編）<br>8 財務情報分析⑦（入門編）<br>9 財務情報分析⑧（入門編）<br>10 財務情報分析⑨（入門編）<br>11 短期利益計画のための管理会計（入門編）<br>12 CVP分析①（入門編）<br>13 CVP分析②（入門編）<br>14 CVP分析③（入門編）<br>15 CVP分析④（入門編）<br>16 CVP分析⑤（入門編）<br>17 CVP分析⑥（入門編）<br>18 CVP分析⑦（入門編）<br>19 CVP分析⑧（入門編）<br>20 CVP分析⑨（入門編）<br>21 CVP分析⑩（入門編）<br>22 直接原価計算総論（入門編）<br>23 直接実際原価計算①（入門編）<br>24 直接実際原価計算②（入門編）<br>25 直接実際原価計算③（入門編）<br>26 直接標準原価計算①（入門編）<br>27 直接標準原価計算②（入門編）<br>28 直接標準原価計算③（入門編）<br>29 直接標準原価計算④（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 企業法入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | １年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立や株式に関する入門的な概念を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 会社法の基礎概念を理解し、会社の設立や株式に関する初歩的な考え方を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 会社の概念と会社の種類（入門編）<br>2 株式会社の概念（入門編）<br>3 会社設立（入門編）<br>4 発起人（入門編）<br>5 定款（入門編）<br>6 発起設立と募集設立（入門編）<br>7 変態設立事項に関する規制①（入門編）<br>8 変態設立事項に関する規制②（入門編）<br>9 設立登記（入門編）<br>10 設立関与者の責任（入門編）<br>11 設立の瑕疵（入門編）<br>12 株式の意義と株式不可分の原則（入門編）<br>13 株主の権利・義務の意義（入門編）<br>14 株主の権利に関する規定（入門編）<br>15 株主平等原則①（入門編）<br>16 株主平等原則②（入門編）<br>17 株主平等原則③（入門編）<br>18 株式譲渡自由の原則（入門編）<br>19 自己株式取得規制（入門編）<br>20 子会社による親会社株式の取得（入門編）<br>21 株券の意義（入門編）<br>22 株式譲渡の効力発生要件、対抗要件（入門編）<br>23 株主名簿の意義等（入門編）<br>24 名義書換制度（入門編）<br>25 株式の担保化（入門編）<br>26 株式振替制度の意義（入門編）<br>27 端数が生ずる場合（入門編）<br>28 単元株制度の意義（入門編）<br>29 株式等売渡請求（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 実務演習 | |
| 実務家教員 | ○ | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | １年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義及び演習（実務経験のある教員による授業科目です） | |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） | |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 実務で必要となる各種税法を体系的に学び、初歩的な知識を習得するための講義 | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 税金の制度を理解し、所得税、法人税、消費税の初歩的知識を習得する | |
| 教科書 | オリジナル教材 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 税金の意義、根拠 |
| | 2 | 税金の目的、納税の義務 |
| | 3 | 税金の分類 |
| | 4 | 税金の体系 |
| | 5 | 税の基本用語 |
| | 6 | 所得税の概要① |
| | 7 | 所得税の概要② |
| | 8 | 所得の内容と所得金額の計算① |
| | 9 | 所得の内容と所得金額の計算② |
| | 10 | 所得の内容と所得金額の計算③ |
| | 11 | 所得控除① |
| | 12 | 所得控除② |
| | 13 | 所得税額の計算 |
| | 14 | 税額控除 |
| | 15 | 確定申告制度 |
| | 16 | 源泉徴収制度 |
| | 17 | 青色申告制度 |
| | 18 | 所得税に関する会計処理例 |
| | 19 | 法人税の概要 |
| | 20 | 法人税法上の「所得」 |
| | 21 | 損益の帰属事業年度 |
| | 22 | 益金不算入 |
| | 23 | 損金の額の計算① |
| | 24 | 損金の額の計算② |
| | 25 | 損金の額の計算③ |
| | 26 | 税額の計算 |
| | 27 | 申告、納付 |
| | 28 | 消費税の概要① |
| | 29 | 消費税の概要② |
| | 30 | 消費税に関する会計処理例 |
| | 31 | 総合演習① |
| | 32 | 総合演習② |
| | 33 | 総合演習③ |
| | 34 | 総合演習④ |
| | 35 | 総合演習⑤ |
| | 36 | 総合演習⑥ |
| | 37 | 総合演習⑦ |
| | 38 | 総合演習⑧ |
| | 39 | 総合演習⑨ |
| | 40 | 総合演習⑩ |
| | 41 | 総合演習⑪ |
| | 42 | 総合演習⑫ |
| | 43 | 総合演習⑬ |
| | 44 | 総合演習⑭ |
| | 45 | 確認テスト |
| 成績評価方法（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | ビジネス教養Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | ビジネスキャリア２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期・後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う |
| 授業の進め方 | 問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する |
| 達成目標 | 電卓技能検定１・２級に合格する |
| 教科書 | 検定対策テキストおよび問題集 |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 小数点以下の取り扱い諸注意<br>2 電卓実践演習1<br>3 電卓実践演習2<br>4 電卓実践演習3<br>5 電卓実践演習4<br>6 電卓実践演習5<br>7 電卓実践演習6<br>8 電卓実践演習7<br>9 電卓実践演習8<br>10 電卓実践演習9<br>11 電卓実践演習10<br>12 電卓実践演習11<br>13 電卓実践演習12<br>14 電卓実践演習13<br>15 電卓実践演習14 |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 模擬試験100%　模擬試験における得点で評価 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 一般教養Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期・後期 |
| 科目区分 | 必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける |
| 授業の進め方 | 問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する |
| 達成目標 | 日本ビジネス技能検定協会漢字検定１級に合格する |
| 教科書 | 問題集・プリント |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 訓読み･送り仮名･熟語１<br>2 訓読み･送り仮名･熟語２<br>3 同音異義･異字同訓<br>4 誤字訂正、類義語･反対語<br>5 漢字の意味･使い方１<br>6 漢字の意味･使い方２<br>7 漢字の意味･使い方３<br>8 ことわざ･故事成語･慣用句 １<br>9 ことわざ･故事成語･慣用句 ２<br>10 特殊な漢字の読み書き１<br>11 特殊な漢字の読み書き２<br>12 項目別模擬試験１<br>13 項目別模擬試験２<br>14 直前模擬試験１<br>15 直前模擬試験２ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 模擬試験100％　模擬試験における得点で評価 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 1級簿記入門Ｉ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） | |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 会計基準および適用指針など実務に直結する会計の入門的な知識を短期間で学習する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 入門的な会計知識の習得および計算技術の習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 財務諸表、有価証券、デリバティブ取引・ヘッジ会計等、有形固定資産（速習入門編） |
| | 2 | 割引現在価値、リース取引（速習総合編） |
| | 3 | 研究開発費とソフトウェア、固定資産の減損、繰延資産、社債（速習入門編） |
| | 4 | 引当金、退職給付（速習入門編） |
| | 5 | 資産除去債務、純資産（速習入門編） |
| | 6 | 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション（速習入門編） |
| | 7 | 税効果会計（速習入門編） |
| | 8 | 外貨建取引（速習入門編） |
| | 9 | 商品売買等（速習入門編） |
| | 10 | 工事契約、本支店会計（速習入門編） |
| | 11 | 連結財務諸表総論、資本連結（速習入門編） |
| | 12 | 持分法、連結税効果、包括利益、在外子会社（速習入門編） |
| | 13 | 企業結合、事業分離（速習入門編） |
| | 14 | キャッシュ・フロー計算書、連結キャッシュ・フロー計算書（速習入門編） |
| | 15 | 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 1級会計学速習基礎Ⅱ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） | |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 会計基準および適用指針など実務に直結する会計の基礎について短期間で学習する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、１級の内容の知識定着を図る | |
| 達成目標 | 会計知識の習得および計算技術の習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 財務諸表、有価証券（速習総合編） |
| | 2 | デリバティブ取引・ヘッジ会計等、有形固定資産（速習総合編） |
| | 3 | 割引現在価値（速習総合編） |
| | 4 | リース取引（速習総合編） |
| | 5 | 研究開発費とソフトウェア、固定資産の減損（速習総合編） |
| | 6 | 繰延資産、社債（速習総合編） |
| | 7 | 引当金（速習総合編） |
| | 8 | 退職給付（速習総合編） |
| | 9 | 資産除去債務（速習総合編） |
| | 10 | 純資産（速習総合編） |
| | 11 | 新株予約権と新株予約権付社債、ストック・オプション（速習総合編） |
| | 12 | 税効果会計①（課税所得、税効果会計の適用）（速習総合編） |
| | 13 | 税効果会計②（期間差異、評価差額、財務諸表上の表示）（速習総合編） |
| | 14 | 外貨建取引①（総論、外貨建取引の会計処理）（速習総合編） |
| | 15 | 外貨建取引②（外貨建有価証券、為替予約等の会計処理）（速習総合編） |
| | 16 | 商品売買等①（総論、原価率等、売価還元法、試用販売）（速習総合編） |
| | 17 | 商品売買等②（委託販売、割賦販売、未着品販売など）（速習総合編） |
| | 18 | 工事契約（速習総合編） |
| | 19 | 本支店会計（速習総合編） |
| | 20 | 連結財務諸表総論、資本連結①（財務諸表作成）（速習総合編） |
| | 21 | 資本連結②（段階取得、子会社株式の取得・売却）、成果連結（速習総合編） |
| | 22 | 持分法、連結税効果会計（速習総合編） |
| | 23 | 包括利益、在外子会社（速習総合編） |
| | 24 | 企業結合（速習総合編） |
| | 25 | 事業分離（速習総合編） |
| | 26 | キャッシュフロー計算書①（営業活動によるキャッシュフロー）（速習総合編） |
| | 27 | キャッシュフロー計算書②（投資・財務活動によるキャッシュフロー）（速習総合編） |
| | 28 | 連結キャッシュフロー（速習総合編） |
| | 29 | 会計上の変更および誤謬の訂正 |
| | 30 | 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級原価計算速習基礎Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 伝統的な工業簿記および原価計算の基礎および経営戦略の基本的な内容について短期間で学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、１級の知識定着を図る |
| 達成目標 | 原価管理理論の基礎の習得および計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 総論、費目別計算（速習総合編）<br>2 個別原価計算（速習総合編）<br>3 部門別計算（速習総合編）<br>4 総合原価計算①（単純総合原価計算）（速習総合編）<br>5 総合原価計算②（追加原材料）（速習総合編）<br>6 総合原価計算③（工程別総合原価計算、組別総合原価計算）（速習総合編）<br>7 総合原価計算④（等級別総合原価計算、連産品、副産物）（速習総合編）<br>8 標準原価計算①（総論）（速習総合編）<br>9 標準原価計算②（仕損・減損の処理）（速習総合編）<br>10 標準原価計算③（工程別標準原価計算）（速習総合編）<br>11 短期利益計画（速習総合編）<br>12 直接原価計算（速習総合編）<br>13 意思決定会計①（総論、業務的意思決定①）（速習総合編）<br>14 意思決定会計②（業務的意思決定②）（速習総合編）<br>15 意思決定会計③（構造的意思決定①）（速習総合編）<br>16 意思決定会計④（構造的意思決定②）（速習総合編）<br>17 戦略的原価計算①（LCC・QC）（速習総合編）<br>18 戦略的原価計算②（原価企画・ABC）（速習総合編）<br>19 個別原価計算・部門別計算のまとめ①（速習総合編）<br>20 個別原価計算・部門別計算のまとめ②（速習総合編）<br>21 総合原価計算のまとめ①（速習総合編）<br>22 総合原価計算のまとめ②（速習総合編）<br>23 標準原価計算のまとめ①（速習総合編）<br>24 標準原価計算のまとめ②（速習総合編）<br>25 直接原価計算・短期利益計画のまとめ（速習総合編）<br>26 短期利益計画・予算管理のまとめ、意思決定会計のまとめ①（速習総合編）<br>27 意思決定会計のまとめ②（速習総合編）<br>28 戦略的原価計算のまとめ（速習総合編）<br>29 事業部制（速習総合編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級簿記速習総合Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 大企業を前提とした会計制度を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習及び過去問題演習により、１級の知識定着を図る |
| 達成目標 | より深い会計制度の知識習得および問題演習及び過去問題演習を通じて計算技術を習得することを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記・会計学総まとめ①（速習総合編）<br>2 商業簿記・会計学総まとめ②（速習総合編）<br>3 商業簿記・会計学総まとめ③（速習総合編）<br>4 工業簿記・原価計算総まとめ①（速習総合編）<br>5 工業簿記・原価計算総まとめ②（速習総合編）<br>6 工業簿記・原価計算総まとめ③（速習総合編）<br>7 商業簿記・会計学総まとめ④（速習総合編）<br>8 商業簿記・会計学総まとめ⑤（速習総合編）<br>9 商業簿記・会計学総まとめ⑥（速習総合編）<br>10 工業簿記・原価計算総まとめ④（速習総合編）<br>11 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（速習総合編）<br>12 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（速習総合編）<br>13 商業簿記・会計学総まとめ⑦（速習総合編）<br>14 商業簿記・会計学総まとめ⑧（速習総合編）<br>15 商業簿記・会計学総まとめ⑨（速習総合編）<br>16 工業簿記・原価計算総まとめ⑦（速習総合編）<br>17 工業簿記・原価計算総まとめ⑧（速習総合編）<br>18 工業簿記・原価計算総まとめ⑨（速習総合編）<br>19 商業簿記・会計学総まとめ⑩（速習総合編）<br>20 商業簿記・会計学総まとめ⑪（速習総合編）<br>21 商業簿記・会計学総まとめ⑫（速習総合編）<br>22 工業簿記・原価計算総まとめ⑩（速習総合編）<br>23 工業簿記・原価計算総まとめ⑪（速習総合編）<br>24 工業簿記・原価計算総まとめ⑫（速習総合編）<br>25 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_速習総合編）<br>26 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_速習総合編）<br>27 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_速習総合編）<br>28 総合問題演習①（テスト形式_基礎総合編）<br>29 総合問題演習①（テスト形式_基礎総合編）<br>30 総合問題演習①（テスト形式_基礎総合編）<br>31 総合問題演習②（テスト形式_基礎総合編）<br>32 総合問題演習②（テスト形式_基礎総合編）<br>33 総合問題演習②（テスト形式_基礎総合編）<br>34 総合問題演習③（テスト形式_基礎総合編）<br>35 総合問題演習③（テスト形式_基礎総合編）<br>36 総合問題演習③（テスト形式_基礎総合編）<br>37 総合問題演習④（テスト形式_基礎総合編）<br>38 総合問題演習④（テスト形式_基礎総合編）<br>39 総合問題演習④（テスト形式_基礎総合編）<br>40 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎総合編）<br>41 総合問題演習⑤（テスト形式_基礎総合編）<br>42 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎総合編）<br>43 総合問題演習⑥（テスト形式_基礎総合編）<br>44 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎総合編）<br>45 総合問題演習⑦（テスト形式_基礎総合編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論応用Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 本支店会計Ⅰ①（入門編）<br>2 本支店会計Ⅰ②（入門編）<br>3 本支店会計Ⅰ③（入門編）<br>4 本支店会計Ⅰ④（入門編）<br>5 本支店会計Ⅰ⑤（入門編）<br>6 本支店会計Ⅰ⑥（入門編）<br>7 組織再編会計Ⅰ①（入門編）<br>8 組織再編会計Ⅰ②（入門編）<br>9 組織再編会計Ⅰ③（入門編）<br>10 組織再編会計Ⅰ④（入門編）<br>11 建設業会計Ⅰ①（入門編）<br>12 建設業会計Ⅰ②（入門編）<br>13 連結会計Ⅰ①（入門編）<br>14 連結会計Ⅰ②（入門編）<br>15 連結会計Ⅰ③（入門編）<br>16 連結会計Ⅰ④（入門編）<br>17 製造業会計Ⅰ①（入門編）<br>18 製造業会計Ⅰ②（入門編）<br>19 製造業会計Ⅰ③（入門編）<br>20 製造業会計Ⅰ④（入門編）<br>21 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編）<br>22 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編）<br>23 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編）<br>24 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編）<br>25 繰延資産Ⅰ①（入門編）<br>26 繰延資産Ⅰ②（入門編）<br>27 圧縮記帳Ⅰ①（入門編）<br>28 圧縮記帳Ⅰ②（入門編）<br>29 ストック・オプションⅠ（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論応用Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会社法の概要入門を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 金利スワップ①（入門編）<br>2 金利スワップ②（入門編）<br>3 金利スワップ③（入門編）<br>4 金利スワップ④（入門編）<br>5 金利スワップ⑤（入門編）<br>6 資産及び負債の貸借対照表能力①（入門編）<br>7 資産及び負債の貸借対照表能力②（入門編）<br>8 資産及び負債の貸借対照表能力③（入門編）<br>9 資産及び負債の貸借対照表能力④（入門編）<br>10 資産及び負債の貸借対照表能力⑤（入門編）<br>11 投資のリスクからの解放①（入門編）<br>12 投資のリスクからの解放②（入門編）<br>13 投資のリスクからの解放③（入門編）<br>14 投資のリスクからの解放④（入門編）<br>15 投資のリスクからの解放⑤（入門編）<br>16 配分と評価①（入門編）<br>17 配分と評価②（入門編）<br>18 配分と評価③（入門編）<br>19 配分と評価④（入門編）<br>20 配分と評価⑤（入門編）<br>21 収益認識①（入門編）<br>22 収益認識②（入門編）<br>23 収益認識③（入門編）<br>24 収益認識④（入門編）<br>25 収益認識⑤（入門編）<br>26 組織再編①（入門編）<br>27 組織再編②（入門編）<br>28 組織再編③（入門編）<br>29 組織再編④（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 消費税法速習総合Ⅰ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 演習 | |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） | |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ | |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る | |
| 達成目標 | 税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 総合問題対策①(初級編) |
| | 2 | 総合問題対策②(初級編) |
| | 3 | 総合問題対策③(初級編) |
| | 4 | 総合問題対策④(初級編) |
| | 5 | 総合問題対策⑤(初級編) |
| | 6 | 総合問題対策⑥(初級編) |
| | 7 | 総合問題対策⑦(初級編) |
| | 8 | 総合問題対策⑧(初級編) |
| | 9 | 総合問題対策⑨(初級編) |
| | 10 | 総合問題対策⑩(初級編) |
| | 11 | 総合問題対策⑪(初級編) |
| | 12 | 総合問題対策⑫(初級編) |
| | 13 | 総合問題対策⑬(初級編) |
| | 14 | 総合問題対策⑭(初級編) |
| | 15 | 総合問題対策⑮(初級編) |
| | 16 | 総合問題対策⑯(初級編) |
| | 17 | 総合問題対策⑰(初級編) |
| | 18 | 総合問題対策⑱(初級編) |
| | 19 | 総合問題対策⑲(初級編) |
| | 20 | 総合問題対策⑳(初級編) |
| | 21 | 総合問題対策㉑(初級編) |
| | 22 | 総合問題対策㉒(初級編) |
| | 23 | 総合問題対策㉓(初級編) |
| | 24 | 総合問題対策㉔(初級編) |
| | 25 | 総合問題対策㉕(初級編) |
| | 26 | 総合問題対策㉖(初級編) |
| | 27 | 総合問題対策㉗(初級編) |
| | 28 | 総合問題対策㉘(初級編) |
| | 29 | 総合問題対策㉙(初級編) |
| | 30 | 総合問題対策㉚(初級編) |
| | 31 | 総合問題対策㉛(初級編) |
| | 32 | 総合問題対策㉜(初級編) |
| | 33 | 総合問題対策㉝(初級編) |
| | 34 | 総合問題対策㉞(初級編) |
| | 35 | 総合問題対策㉟(初級編) |
| | 36 | 総合問題演習①(初級編) |
| | 37 | 総合問題演習①(初級編) |
| | 38 | 総合問題演習②(初級編) |
| | 39 | 総合問題演習②(初級編) |
| | 40 | 総合問題演習③(初級編) |
| | 41 | 総合問題演習③(初級編) |
| | 42 | 総合問題演習④(初級編) |
| | 43 | 総合問題演習④(初級編) |
| | 44 | 総合問題演習⑤(初級編) |
| | 45 | 総合問題演習⑤(初級編) |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 消費税法応用Ⅰ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） | |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 軽減税率や複数税率などの考え方を学習する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 「消費税法」の法律等の知識習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 軽減税率①（入門編） |
| | 2 | 軽減税率②（入門編） |
| | 3 | 軽減税率③（入門編） |
| | 4 | 軽減税率④（入門編） |
| | 5 | 軽減税率⑤（入門編） |
| | 6 | 軽減税率⑥（入門編） |
| | 7 | 旧税率に関する経過措置①（入門編） |
| | 8 | 旧税率に関する経過措置②（入門編） |
| | 9 | 旧税率に関する経過措置③（入門編） |
| | 10 | 旧税率に関する経過措置④（入門編） |
| | 11 | 旧税率に関する経過措置⑤（入門編） |
| | 12 | 旧税率に関する経過措置⑥（入門編） |
| | 13 | 複数税率の場合の計算①（入門編） |
| | 14 | 複数税率の場合の計算②（入門編） |
| | 15 | 複数税率の場合の計算③（入門編） |
| | 16 | 複数税率の場合の計算④（入門編） |
| | 17 | 複数税率の場合の計算⑤（入門編） |
| | 18 | 複数税率の場合の計算⑥（入門編） |
| | 19 | 国等に対する特例①（入門編） |
| | 20 | 国等に対する特例②（入門編） |
| | 21 | 国等に対する特例③（入門編） |
| | 22 | 国等に対する特例④（入門編） |
| | 23 | 国等に対する特例⑤（入門編） |
| | 24 | 国等に対する特例⑥（入門編） |
| | 25 | 国等に対する特例⑦（入門編） |
| | 26 | 国等に対する特例⑧（入門編） |
| | 27 | 特殊項目①（事業承継があった場合の控除税額の調整等）（入門編） |
| | 28 | 特殊項目②（前期又は翌期が免税事業者である場合の留意点）（入門編） |
| | 29 | 特殊項目③（税抜経理方式）（入門編） |
| | 30 | 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 法人税法応用Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 連結納税制度等の特殊項目の学習を進める |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 連結納税制度等の制度を学び、初級問題の解法を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 連結納税制度1（初級編）<br>2 連結納税制度2（初級編）<br>3 連結納税制度3（初級編）<br>4 連結納税制度4（初級編）<br>5 連結納税制度5（初級編）<br>6 連結納税制度6（初級編）<br>7 連結納税制度7（初級編）<br>8 連結納税制度8（初級編）<br>9 連結納税制度9（初級編）<br>10 連結納税制度10（初級編）<br>11 連結納税制度11（初級編）<br>12 連結納税制度12（初級編）<br>13 連結納税制度13（初級編）<br>14 連結納税制度14（初級編）<br>15 連結納税制度15（初級編）<br>16 連結納税制度16（初級編）<br>17 連結納税制度17（初級編）<br>18 連結納税制度18（初級編）<br>19 連結納税制度19（初級編）<br>20 連結納税制度20（初級編）<br>21 試験研究費の特別控除1（初級編）<br>22 試験研究費の特別控除2（初級編）<br>23 試験研究費の特別控除3（初級編）<br>24 試験研究費の特別控除4（初級編）<br>25 資産除去債務1（初級編）<br>26 資産除去債務2（初級編）<br>27 資産除去債務3（初級編）<br>28 解散税制1（初級編）<br>29 解散税制2（初級編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 相続税法応用Ⅰ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） | |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 相続税、贈与税の基礎的な理論的思考も学習をし、理解を深める | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 相続税法・租税特別措置法についての知識を習得する（基礎） | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 契約者が取得したものとみなされる生命保険契約に関する権利（基礎編） |
| | 2 | 未成年者控除・障害者控除（重ね受け）（基礎編） |
| | 3 | 相次相続控除（基礎編） |
| | 4 | 増改築等があった場合（基礎編） |
| | 5 | 結婚・子育て資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎編） |
| | 6 | 確認テスト① |
| | 7 | 無道路地（基礎編） |
| | 8 | 定期借地権等（基礎編） |
| | 9 | 定期借地権等の目的となっている宅地（貸宅地）（基礎編） |
| | 10 | 土砂災害特別警戒区域内にある宅地（基礎編） |
| | 11 | 造成費相当額の算定（平坦地）（基礎編） |
| | 12 | 公社債（基礎編） |
| | 13 | 雇用主が保険料を負担している場合（基礎編） |
| | 14 | 保険金の評価（基礎編） |
| | 15 | 確認テスト② |
| | 16 | 定期金に関する権利（基礎編） |
| | 17 | 保証期間付定期金に関する権利（基礎編） |
| | 18 | 契約に基づかない定期金に関する権利（基礎編） |
| | 19 | 財産の所在（基礎編） |
| | 20 | 贈与税額控除（暦年）の基となる贈与税額（基礎編） |
| | 21 | 相続税の外国税額控除（基礎編） |
| | 22 | 贈与税の外国税額控除（基礎編） |
| | 23 | 確認テスト③ |
| | 24 | 養子の子の応用的な取扱い（基礎編） |
| | 25 | 農地等の相続税の納税猶予（基礎編） |
| | 26 | 非上場株式の贈与税の納税猶予（基礎編） |
| | 27 | 非上場株式の相続税の納税猶予（基礎編） |
| | 28 | 個人の事業用資産の贈与税の納税猶予（基礎編） |
| | 29 | 個人の事業用資産の相続税の納税猶予（基礎編） |
| | 30 | 確認テスト④ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト　４回分の平均点100％ | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論応用Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 特殊商品売買・金融商品の基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 税効果会計Ⅰ①（入門編）<br>2 税効果会計Ⅰ②（入門編）<br>3 税効果会計Ⅰ③（入門編）<br>4 現在価値計算Ⅰ①（入門編）<br>5 現在価値計算Ⅰ②（入門編）<br>6 保険金Ⅰ①（入門編）<br>7 保険金Ⅰ②（入門編）<br>8 新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）<br>9 新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）<br>10 減損会計Ⅰ①（入門編）<br>11 減損会計Ⅰ②（入門編）<br>12 資産除去債務Ⅰ①（入門編）<br>13 資産除去債務Ⅰ②（入門編）<br>14 外貨建会計Ⅰ①（入門編）<br>15 外貨建会計Ⅰ②（入門編）<br>16 外貨建会計Ⅰ③（入門編）<br>17 リース会計Ⅰ①（入門編）<br>18 リース会計Ⅰ②（入門編）<br>19 試用販売Ⅰ①（入門編）<br>20 試用販売Ⅰ②（入門編）<br>21 試用販売Ⅰ③（入門編）<br>22 割賦販売Ⅰ①（入門編）<br>23 割賦販売Ⅰ②（入門編）<br>24 割賦販売Ⅰ③（入門編）<br>25 未着品販売Ⅰ①（入門編）<br>26 未着品販売Ⅰ②（入門編）<br>27 未着品販売Ⅰ③（入門編）<br>28 委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）<br>29 委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト点100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論応用Ⅱ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） | |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 会社法の入門・基礎を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門・基礎） |
| | 2 | 会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門・基礎） |
| | 3 | 分配可能額①（入門・基礎） |
| | 4 | 分配可能額②（入門・基礎） |
| | 5 | ストック・オプション①（入門・基礎） |
| | 6 | ストック・オプション②（入門・基礎） |
| | 7 | セール＆リースバック①（入門・基礎） |
| | 8 | セール＆リースバック②（入門・基礎） |
| | 9 | 財務諸表等規則①（入門・基礎） |
| | 10 | 財務諸表等規則②（入門・基礎） |
| | 11 | 負債①（入門・基礎） |
| | 12 | 負債②（入門・基礎） |
| | 13 | 負債③（入門・基礎） |
| | 14 | 純資産会計①（入門・基礎） |
| | 15 | 純資産会計②（入門・基礎） |
| | 16 | 純資産会計③（入門・基礎） |
| | 17 | 企業結合会計①（入門・基礎） |
| | 18 | 企業結合会計②（入門・基礎） |
| | 19 | 企業結合会計③（入門・基礎） |
| | 20 | 事業分離会計①（入門・基礎） |
| | 21 | 事業分離会計②（入門・基礎） |
| | 22 | 事業分離会計③（入門・基礎） |
| | 23 | 四半期財務諸表①（入門・基礎） |
| | 24 | 四半期財務諸表②（入門・基礎） |
| | 25 | ヘッジ会計①（入門・基礎） |
| | 26 | ヘッジ会計②（入門・基礎） |
| | 27 | 包括利益①（入門・基礎） |
| | 28 | 包括利益②（入門・基礎） |
| | 29 | 包括利益③（入門・基礎） |
| | 30 | 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 簿記論速習基礎Ⅱ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） | |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 簿記の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す | |
| 教科書 | テキスト及び参考書 | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 簿記の概要Ⅰ①（入門編） |
| | 2 | 簿記の概要Ⅰ②（入門編） |
| | 3 | 簿記の概要Ⅰ③（入門編） |
| | 4 | 簿記の概要Ⅰ④（入門編） |
| | 5 | 現金預金Ⅰ①（入門編） |
| | 6 | 現金預金Ⅰ②（入門編） |
| | 7 | 現金預金Ⅰ③（入門編） |
| | 8 | 債権債務Ⅰ①（入門編） |
| | 9 | 債権債務Ⅰ②（入門編） |
| | 10 | 商品売買Ⅰ①（入門編） |
| | 11 | 商品売買Ⅰ②（入門編） |
| | 12 | 商品売買Ⅰ③（入門編） |
| | 13 | 給料等Ⅰ①（入門編） |
| | 14 | 給料等Ⅰ②（入門編） |
| | 15 | 固定資産Ⅰ①（入門編） |
| | 16 | 固定資産Ⅰ②（入門編） |
| | 17 | 固定資産Ⅰ③（入門編） |
| | 18 | 固定資産Ⅰ④（入門編） |
| | 19 | 固定資産Ⅰ⑤（入門編） |
| | 20 | ソフトウェアⅠ①（入門編） |
| | 21 | ソフトウェアⅠ②（入門編） |
| | 22 | ソフトウェアⅠ③（入門編） |
| | 23 | 債権債務Ⅰ①（入門編） |
| | 24 | 債権債務Ⅰ②（入門編） |
| | 25 | 債権債務Ⅰ③（入門編） |
| | 26 | 貸倒れⅠ①（入門編） |
| | 27 | 貸倒れⅠ②（入門編） |
| | 28 | 貸倒れⅠ③（入門編） |
| | 29 | 退職給付会計Ⅰ①（入門編） |
| | 30 | 退職給付会計Ⅰ②（入門編） |
| | 31 | 退職給付会計Ⅰ③（入門編） |
| | 32 | 退職給付会計Ⅰ④（入門編） |
| | 33 | 退職給付会計Ⅰ⑤（入門編） |
| | 34 | 税金Ⅰ①（入門編） |
| | 35 | 税金Ⅰ②（入門編） |
| | 36 | 社債Ⅰ①（入門編） |
| | 37 | 社債Ⅰ②（入門編） |
| | 38 | 社債Ⅰ③（入門編） |
| | 39 | 純資産会計Ⅰ①（入門編） |
| | 40 | 純資産会計Ⅰ②（入門編） |
| | 41 | 純資産会計Ⅰ③（入門編） |
| | 42 | 純資産会計Ⅰ④（入門編） |
| | 43 | 有価証券Ⅰ①（入門編） |
| | 44 | 有価証券Ⅰ②（入門編） |
| | 45 | 有価証券Ⅰ③（入門編） |
| | 46 | 有価証券Ⅰ④（入門編） |
| | 47 | 有価証券Ⅰ⑤（入門編） |
| | 48 | 税効果会計Ⅰ①（入門編） |
| | 49 | 税効果会計Ⅰ②（入門編） |
| | 50 | 税効果会計Ⅰ③（入門編） |
| | 51 | 税効果会計Ⅰ④（入門編） |
| | 52 | 税効果会計Ⅰ⑤（入門編） |
| | 53 | 税効果会計Ⅰ⑥（入門編） |
| | 54 | 税効果会計Ⅰ⑦（入門編） |
| | 55 | 税効果会計Ⅰ⑧（入門編） |
| | 56 | 税効果会計Ⅰ⑨（入門編） |
| | 57 | 税効果会計Ⅰ⑩（入門編） |
| | 58 | 税効果会計Ⅰ⑪（入門編） |
| | 59 | 税効果会計Ⅰ⑫（入門編） |
| | 60 | 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論速習応用Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 現在価値計算Ⅰ①（入門編）<br>2 現在価値計算Ⅰ②（入門編）<br>3 現在価値計算Ⅰ③（入門編）<br>4 現在価値計算Ⅰ④（入門編）<br>5 保険金Ⅰ①（入門編）<br>6 保険金Ⅰ②（入門編）<br>7 保険金Ⅰ③（入門編）<br>8 新株予約権付社債Ⅰ①（入門編）<br>9 新株予約権付社債Ⅰ②（入門編）<br>10 新株予約権付社債Ⅰ③（入門編）<br>11 新株予約権付社債Ⅰ④（入門編）<br>12 新株予約権付社債Ⅰ⑤（入門編）<br>13 新株予約権付社債Ⅰ⑥（入門編）<br>14 減損会計Ⅰ①（入門編）<br>15 減損会計Ⅰ②（入門編）<br>16 減損会計Ⅰ③（入門編）<br>17 減損会計Ⅰ④（入門編）<br>18 減損会計Ⅰ⑤（入門編）<br>19 減損会計Ⅰ⑥（入門編）<br>20 資産除去債務Ⅰ①（入門編）<br>21 資産除去債務Ⅰ②（入門編）<br>22 資産除去債務Ⅰ③（入門編）<br>23 資産除去債務Ⅰ④（入門編）<br>24 資産除去債務Ⅰ⑤（入門編）<br>25 外貨建会計Ⅰ①（入門編）<br>26 外貨建会計Ⅰ②（入門編）<br>27 外貨建会計Ⅰ③（入門編）<br>28 外貨建会計Ⅰ④（入門編）<br>29 外貨建会計Ⅰ⑤（入門編）<br>30 外貨建会計Ⅰ⑥（入門編）<br>31 外貨建会計Ⅰ⑦（入門編）<br>32 リース会計Ⅰ①（入門編）<br>33 リース会計Ⅰ②（入門編）<br>34 リース会計Ⅰ③（入門編）<br>35 リース会計Ⅰ④（入門編）<br>36 リース会計Ⅰ⑤（入門編）<br>37 リース会計Ⅰ⑥（入門編）<br>38 リース会計Ⅰ⑦（入門編）<br>39 試用販売Ⅰ①（入門編）<br>40 試用販売Ⅰ②（入門編）<br>41 試用販売Ⅰ③（入門編）<br>42 試用販売Ⅰ④（入門編）<br>43 試用販売Ⅰ⑤（入門編）<br>44 試用販売Ⅰ⑥（入門編）<br>45 割賦販売Ⅰ①（入門編）<br>46 割賦販売Ⅰ②（入門編）<br>47 割賦販売Ⅰ③（入門編）<br>48 割賦販売Ⅰ④（入門編）<br>49 割賦販売Ⅰ⑤（入門編）<br>50 割賦販売Ⅰ⑥（入門編）<br>51 未着品販売Ⅰ①（入門編）<br>52 未着品販売Ⅰ②（入門編）<br>53 未着品販売Ⅰ③（入門編）<br>54 未着品販売Ⅰ④（入門編）<br>55 委託販売・受託販売Ⅰ①（入門編）<br>56 委託販売・受託販売Ⅰ②（入門編）<br>57 委託販売・受託販売Ⅰ③（入門編）<br>58 委託販売・受託販売Ⅰ④（入門編）<br>59 委託販売・受託販売Ⅰ⑤（入門編）<br>60 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 監査論入門Ⅰ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） | |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 監査手続きに関する入門的な枠組みを学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る | |
| 達成目標 | 監査手続きに関する入門的な考え方を習得する | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 監査とは、監査の分類、公認会計士の監査領域（入門編） |
| | 2 | 財務諸表の監査の必要性、財務諸表の監査の機能、監査の固有の限界（入門編） |
| | 3 | 二重責任の原則、財務諸表の作成責任、財務諸表の作成基準（入門編） |
| | 4 | 監査人、監査業務の一年の流れ、財務諸表の適性性の立証プロセス、監査証拠、監査手続き（監査技術）（入門編） |
| | 5 | リスク・アプローチ、リスク評価手続き及び評価したリスクに対応する手続き、IT（情報技術）、監査契に係る予備的な活動（入門編） |
| | 6 | 監査計画、監査証拠の入手方法、監査上の重要性（入門編） |
| | 7 | 特別な検討を必要とするリスク、関連当事者との関係及び取引、会計上の見積り（入門編） |
| | 8 | 財務諸表監査における不正の検討、監査における不正リスク対応基準、財務諸表監査における法令の検討（入門編） |
| | 9 | グループ監査、内部監査の利用、専門家の業務の利用（入門編） |
| | 10 | 監査証拠の十分性と適切性の評価、監査の品質管理、監査人の交代（監査事務所間の交代）（入門編） |
| | 11 | 監査役等のコミュニケーション、内部統制の不備に関するコミュニケーション、監査調書（入門編） |
| | 12 | 監査意見の内容、財務諸表の適正性、監査報告書（入門編） |
| | 13 | 無限定適正意見、除外事項付意見、個別財務諸表の監査意見と連結財務表の監査意見（入門編） |
| | 14 | 追加情報の意義、追加情報と保証機能、比較情報、監査上の主要な検討事項（入門編） |
| | 15 | 確認テスト |
| 成績評価方法（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　財務会計論Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 棚卸資産から金融商品会計基準に関する入門的概念を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 棚卸資産から金融商品会計基準に関する入門的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 棚卸資産（入門編）<br>2 固定資産①（入門編）<br>3 固定資産②（入門編）<br>4 繰延資産①（入門編）<br>5 繰延資産②（入門編）<br>6 引当金①（入門編）<br>7 引当金②（入門編）<br>8 資産除去債務①（入門編）<br>9 資産除去債務②（入門編）<br>10 株主資本①（入門編）<br>11 株主資本②（入門編）<br>12 株主資本③（入門編）<br>13 株主資本④（入門編）<br>14 株主資本等変動計算書①（入門編）<br>15 株主資本等変動計算書②（入門編）<br>16 キャッシュ・フロー計算書①（入門編）<br>17 キャッシュ・フロー計算書②（入門編）<br>18 キャッシュ・フロー計算書③（入門編）<br>19 注記①（入門編）<br>20 注記②（入門編）<br>21 会計上の変更及び誤謬①（入門編）<br>22 会計上の変更及び誤謬②（入門編）<br>23 金融商品①（入門編）<br>24 金融商品②（入門編）<br>25 金融商品③（入門編）<br>26 金融商品④（入門編）<br>27 金融商品⑤（入門編）<br>28 金融商品⑥（入門編）<br>29 金融商品⑦（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　財務会計論Ⅳ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | ストック・オプションから四半期財務諸表の作成に関する入門的概念を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | ストック・オプションから四半期財務諸表の作成に関する入門的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ストック・オプション①（入門編）<br>2 ストック・オプション②（入門編）<br>3 リース取引①（入門編）<br>4 リース取引②（入門編）<br>5 退職給付制度①（入門編）<br>6 退職給付制度②（入門編）<br>7 退職給付制度③（入門編）<br>8 研究開発費（入門編）<br>9 ソフトウェア（入門編）<br>10 減損会計①（入門編）<br>11 減損会計②（入門編）<br>12 減損会計③（入門編）<br>13 税効果会計①（入門編）<br>14 税効果会計②（入門編）<br>15 税効果会計③（入門編）<br>16 連結財務諸表①（入門編）<br>17 連結財務諸表②（入門編）<br>18 連結財務諸表③（入門編）<br>19 連結財務諸表④（入門編）<br>20 連結財務諸表⑤（入門編）<br>21 連結財務諸表⑥（入門編）<br>22 連結財務諸表⑦（入門編）<br>23 外貨建会計①（入門編）<br>24 外貨建会計②（入門編）<br>25 外貨建会計③（入門編）<br>26 四半期財務諸表①（入門編）<br>27 四半期財務諸表②（入門編）<br>28 四半期財務諸表③（入門編）<br>29 四半期財務諸表④（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　管理会計論Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 管理会計の発展を時代の変化とともに学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 授業計画に従い、初歩的な知識を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 予算管理①（入門編）<br>2 予算管理②（入門編）<br>3 予算管理③（入門編）<br>4 予算編成①（入門編）<br>5 予算編成②（入門編）<br>6 予算統制①（入門編）<br>7 予算統制②（入門編）<br>8 予算統制③（入門編）<br>9 予算統制④（入門編）<br>10 予算統制⑤（入門編）<br>11 資金管理①（入門編）<br>12 資金管理②（入門編）<br>13 資金管理③（入門編）<br>14 資金管理④（入門編）<br>15 資金管理⑤（入門編）<br>16 資金管理⑥（入門編）<br>17 資金管理⑦（入門編）<br>18 キャッシュ・フロー計算書（入門編）<br>19 意思決定会計総論（入門編）<br>20 業務的意思決定①（入門編）<br>21 業務的意思決定②（入門編）<br>22 業務的意思決定③（入門編）<br>23 業務的意思決定④（入門編）<br>24 業務的意思決定⑤（入門編）<br>25 戦略的意思決定①（入門編）<br>26 戦略的意思決定②（入門編）<br>27 戦略的意思決定③（入門編）<br>28 戦略的意思決定④（入門編）<br>29 戦略的意思決定⑤（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　企業法基礎 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会社法を中心とした、株式会社の機関や資金調達に関する入門知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 会社法における、株式会社の機関や資金調達に関する初歩的な知識を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 株式会社の機関設計①（入門編）<br>2 株式会社の機関設計②（入門編）<br>3 株式会社の機関設計③（入門編）<br>4 株式会社の機関設計④（入門編）<br>5 株式会社の機関設計⑤（入門編）<br>6 株式会社の機関設計⑥（入門編）<br>7 株式会社の機関設計⑦（入門編）<br>8 株式会社の機関設計⑧（入門編）<br>9 資金調達①（入門編）<br>10 資金調達②（入門編）<br>11 資金調達③（入門編）<br>12 資金調達④（入門編）<br>13 資金調達⑤（入門編）<br>14 資金調達⑥（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 1級簿記速習演習Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 個別会計、結合会計などを通じて近年の企業再編等についても学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と難易度の高い問題演習及び過去問題演習により、より深い知識の定着を図る |
| 達成目標 | 簿記１級レベルの会計知識と計算技術の習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記総まとめ①（応用編）<br>2 商業簿記総まとめ②（応用編）<br>3 商業簿記総まとめ③（応用編）<br>4 商業簿記総まとめ④（応用編）<br>5 商業簿記総まとめ⑤（応用編）<br>6 商業簿記総まとめ⑥（応用編）<br>7 工業簿記・原価計算総まとめ①（応用編）<br>8 工業簿記・原価計算総まとめ②（応用編）<br>9 工業簿記・原価計算総まとめ③（応用編）<br>10 総合問題対策①（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>11 総合問題対策②（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>12 総合問題対策③（商業簿記と工業簿記_応用編）<br>13 総合問題演習①（テスト形式_応用編）<br>14 総合問題演習①（テスト形式_応用編）<br>15 総合問題演習①（テスト形式_応用編）<br>16 総合問題演習②（テスト形式_応用編）<br>17 総合問題演習②（テスト形式_応用編）<br>18 総合問題演習②（テスト形式_応用編）<br>19 総合問題演習③（テスト形式_応用編）<br>20 総合問題演習③（テスト形式_応用編）<br>21 総合問題演習③（テスト形式_応用編）<br>22 総合問題演習④（テスト形式_応用編）<br>23 総合問題演習④（テスト形式_応用編）<br>24 総合問題演習④（テスト形式_応用編）<br>25 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）<br>26 総合問題演習⑤（テスト形式_応用編）<br>27 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）<br>28 総合問題演習⑥（テスト形式_応用編）<br>29 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編）<br>30 総合問題演習⑦（テスト形式_応用編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 全経簿記上級総合Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 大企業を前提とした会計制度を学習し、複雑な会計処理をより詳細に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習及び過去問題演習により、より深い知識の定着を図る |
| 達成目標 | 会計基準、適用指針など、実務に直結する会計知識を過去問題演習を通じて理解することを目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商業簿記・会計学総まとめ①（全経応用編）<br>2 商業簿記・会計学総まとめ②（全経応用編）<br>3 商業簿記・会計学総まとめ③（全経応用編）<br>4 工業簿記・原価計算総まとめ①（全経応用編）<br>5 工業簿記・原価計算総まとめ②（全経応用編）<br>6 工業簿記・原価計算総まとめ③（全経応用編）<br>7 商業簿記・会計学総まとめ④（全経応用編）<br>8 商業簿記・会計学総まとめ⑤（全経応用編）<br>9 商業簿記・会計学総まとめ⑥（全経応用編）<br>10 工業簿記・原価計算総まとめ④（全経応用編）<br>11 工業簿記・原価計算総まとめ⑤（全経応用編）<br>12 工業簿記・原価計算総まとめ⑥（全経応用編）<br>13 商業簿記・会計学総まとめ⑦（全経応用編）<br>14 商業簿記・会計学総まとめ⑧（全経応用編）<br>15 商業簿記・会計学総まとめ⑨（全経応用編）<br>16 工業簿記・原価計算総まとめ⑦（全経応用編）<br>17 工業簿記・原価計算総まとめ⑧（全経応用編）<br>18 工業簿記・原価計算総まとめ⑨（全経応用編）<br>19 商業簿記・会計学総まとめ⑩（全経応用編）<br>20 商業簿記・会計学総まとめ⑪（全経応用編）<br>21 商業簿記・会計学総まとめ⑫（全経応用編）<br>22 工業簿記・原価計算総まとめ⑩（全経応用編）<br>23 工業簿記・原価計算総まとめ⑪（全経応用編）<br>24 工業簿記・原価計算総まとめ⑫（全経応用編）<br>25 商業簿記・会計学総まとめ⑬（全経応用編）<br>26 商業簿記・会計学総まとめ⑭（全経応用編）<br>27 商業簿記・会計学総まとめ⑮（全経応用編）<br>28 工業簿記・原価計算総まとめ⑬（全経応用編）<br>29 工業簿記・原価計算総まとめ⑭（全経応用編）<br>30 工業簿記・原価計算総まとめ⑮（全経応用編）<br>31 総合問題対策①（全経応用編）<br>32 総合問題対策②（全経応用編）<br>33 総合問題対策③（全経応用編）<br>34 総合問題対策④（全経応用編）<br>35 総合問題対策⑤（全経応用編）<br>36 総合問題対策⑥（全経応用編）<br>37 総合問題対策⑦（全経応用編）<br>38 総合問題対策⑧（全経応用編）<br>39 総合問題対策⑨（全経応用編）<br>40 総合問題対策⑩（全経応用編）<br>41 総合問題対策⑪（全経応用編）<br>42 総合問題対策⑫（全経応用編）<br>43 総合問題対策⑬（全経応用編）<br>44 総合問題対策⑭（全経応用編）<br>45 総合問題対策⑮（全経応用編）<br>46 総合問題演習①（テスト形式）<br>47 総合問題演習①（テスト形式）<br>48 総合問題演習①（テスト形式）<br>49 総合問題演習②（テスト形式）<br>50 総合問題演習②（テスト形式）<br>51 総合問題演習②（テスト形式）<br>52 総合問題演習③（テスト形式）<br>53 総合問題演習③（テスト形式）<br>54 総合問題演習③（テスト形式）<br>55 総合問題演習④（テスト形式）<br>56 総合問題演習④（テスト形式）<br>57 総合問題演習④（テスト形式）<br>58 総合問題演習⑤（テスト形式）<br>59 総合問題演習⑤（テスト形式）<br>60 総合問題演習⑤（テスト形式） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論総合Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | １８０時間（６単位） |
| 授業コマ数 | ９０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 合格に必要な得点ができるようにする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 現金預金Ⅱ①（入門編）<br>2 債権債務Ⅱ①（入門編）<br>3 商品売買Ⅱ①（入門編）<br>4 商品売買Ⅱ②（入門編）<br>5 商品売買Ⅱ③（入門編）<br>6 固定資産Ⅱ①（入門編）<br>7 固定資産Ⅱ②（入門編）<br>8 固定資産Ⅱ③（入門編）<br>9 退職給付会計Ⅱ①（入門編）<br>10 退職給付会計Ⅱ②（入門編）<br>11 退職給付会計Ⅱ③（入門編）<br>12 債権債務Ⅱ①（入門編）<br>13 債権債務Ⅱ②（入門編）<br>14 税金Ⅱ①（入門編）<br>15 社債Ⅱ①（入門編）<br>16 社債Ⅱ②（入門編）<br>17 社債Ⅱ③（入門編）<br>18 純資産会計Ⅱ①（入門編）<br>19 純資産会計Ⅱ②（入門編）<br>20 純資産会計Ⅱ③（入門編）<br>21 有価証券Ⅱ①（入門編）<br>22 有価証券Ⅱ②（入門編）<br>23 有価証券Ⅱ③（入門編）<br>24 外貨建会計Ⅱ①（入門編）<br>25 外貨建会計Ⅱ②（入門編）<br>26 リース会計Ⅱ①（入門編）<br>27 リース会計Ⅱ②（入門編）<br>28 試用販売Ⅱ①（入門編）<br>29 試用販売Ⅱ②（入門編）<br>30 割賦販売Ⅱ①（入門編）<br>31 割賦販売Ⅱ②（入門編）<br>32 割賦販売Ⅱ③（入門編）<br>33 未着品販売Ⅱ①（入門編）<br>34 未着品販売Ⅱ②（入門編）<br>35 委託販売・受託販売Ⅱ①（入門編）<br>36 委託販売・受託販売Ⅱ②（入門編）<br>37 本支店会計Ⅱ①（入門編）<br>38 本支店会計Ⅱ②（入門編）<br>39 組織再編会計Ⅱ①（入門編）<br>40 組織再編会計Ⅱ②（入門編）<br>41 連結会計Ⅱ①（入門編）<br>42 連結会計Ⅱ②（入門編）<br>43 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①（入門編）<br>44 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②（入門編）<br>45 項目別答練①（入門編）<br>46 項目別答練②（入門編）<br>47 項目別答練③（入門編）<br>48 項目別答練④（入門編）<br>49 項目別答練⑤（入門編）<br>50 項目別答練⑥（入門編）<br>51 基礎答練①（入門編）<br>52 基礎答練②（入門編）<br>53 基礎答練③（入門編）<br>54 基礎答練④（入門編）<br>55 基礎答練⑤（入門編）<br>56 基礎答練⑥（入門編）<br>57 基礎答練⑦（入門編）<br>58 基礎答練⑧（入門編）<br>59 基礎答練⑨（入門編）<br>60 基礎答練⑩（入門編）<br>61 応用答練①（入門編）<br>62 応用答練②（入門編）<br>63 応用答練③（入門編）<br>64 応用答練④（入門編）<br>65 応用答練⑤（入門編）<br>66 応用答練⑥（入門編）<br>67 応用答練⑦（入門編）<br>68 応用答練⑧（入門編）<br>69 応用答練⑨（入門編）<br>70 応用答練⑩（入門編）<br>71 過去問演習①（入門編）<br>72 過去問演習②（入門編）<br>73 過去問演習③（入門編）<br>74 過去問演習④（入門編）<br>75 過去問演習⑤（入門編）<br>76 過去問演習⑥（入門編）<br>77 過去問演習⑦（入門編）<br>78 過去問演習⑧（入門編）<br>79 過去問演習⑨（入門編）<br>80 過去問演習⑩（入門編）<br>81 問題演習実践①（入門編）<br>82 問題演習実践②（入門編）<br>83 問題演習実践③（入門編）<br>84 問題演習実践④（入門編）<br>85 問題演習実践⑤（入門編）<br>86 問題演習実践⑥（入門編）<br>87 問題演習実践⑦（入門編）<br>88 問題演習実践⑧（入門編）<br>89 問題演習実践⑨（入門編）<br>90 模擬試験 |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況 |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論総合Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | １８０時間（６単位） |
| 授業コマ数 | ９０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 財務諸表作成の入門概要を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 財務諸表論総まとめ①(入門編)<br>2 財務諸表論総まとめ①(入門編)<br>3 財務諸表論総まとめ②(入門編)<br>4 財務諸表論総まとめ②(入門編)<br>5 財務諸表論総まとめ③(入門編)<br>6 財務諸表論総まとめ③(入門編)<br>7 財務諸表論総まとめ④(入門編)<br>8 財務諸表論総まとめ④(入門編)<br>9 財務諸表論総まとめ⑤(入門編)<br>10 財務諸表論総まとめ⑤(入門編)<br>11 財務諸表論総まとめ⑥(入門編)<br>12 財務諸表論総まとめ⑥(入門編)<br>13 財務諸表論総まとめ⑦(入門編)<br>14 財務諸表論総まとめ⑦(入門編)<br>15 財務諸表論総まとめ⑧(入門編)<br>16 財務諸表論総まとめ⑧(入門編)<br>17 財務諸表論総まとめ⑨(入門編)<br>18 財務諸表論総まとめ⑨(入門編)<br>19 財務諸表論総まとめ⑩(入門編)<br>20 財務諸表論総まとめ⑩(入門編)<br>21 財務諸表論総まとめ⑪(入門編)<br>22 財務諸表論総まとめ⑪(入門編)<br>23 財務諸表論総まとめ⑫(入門編)<br>24 財務諸表論総まとめ⑫(入門編)<br>25 財務諸表論総まとめ⑬(入門編)<br>26 財務諸表論総まとめ⑬(入門編)<br>27 財務諸表論総まとめ⑭(入門編)<br>28 財務諸表論総まとめ⑭(入門編)<br>29 財務諸表論総まとめ⑮(入門編)<br>30 財務諸表論総まとめ⑮(入門編)<br>31 財務諸表論総まとめ⑯(入門編)<br>32 財務諸表論総まとめ⑯(入門編)<br>33 財務諸表論総まとめ⑰(入門編)<br>34 財務諸表論総まとめ⑰(入門編)<br>35 財務諸表論総まとめ⑱(入門編)<br>36 財務諸表論総まとめ⑱(入門編)<br>37 財務諸表論総まとめ⑲(入門編)<br>38 財務諸表論総まとめ⑲(入門編)<br>39 財務諸表論総まとめ⑳(入門編)<br>40 財務諸表論総まとめ⑳(入門編)<br>41 総合問題対策①(入門編)<br>42 総合問題対策①(入門編)<br>43 総合問題対策②(入門編)<br>44 総合問題対策②(入門編)<br>45 総合問題対策③(入門編)<br>46 総合問題対策③(入門編)<br>47 総合問題対策④(入門編)<br>48 総合問題対策④(入門編)<br>49 総合問題対策⑤(入門編)<br>50 総合問題対策⑤(入門編)<br>51 総合問題対策⑥(入門編)<br>52 総合問題対策⑥(入門編)<br>53 総合問題対策⑦(入門編)<br>54 総合問題対策⑦(入門編)<br>55 総合問題対策⑧(入門編)<br>56 総合問題対策⑧(入門編)<br>57 総合問題対策⑨(入門編)<br>58 総合問題対策⑨(入門編)<br>59 総合問題対策⑩(入門編)<br>60 総合問題対策⑩(入門編)<br>61 総合問題対策⑪(入門編)<br>62 総合問題対策⑪(入門編)<br>63 総合問題対策⑫(入門編)<br>64 総合問題対策⑫(入門編)<br>65 総合問題対策⑬(入門編)<br>66 総合問題対策⑬(入門編)<br>67 総合問題対策⑭(入門編)<br>68 総合問題対策⑭(入門編)<br>69 総合問題対策⑮(入門編)<br>70 総合問題対策⑮(入門編)<br>71 総合問題対策⑯(入門編)<br>72 総合問題対策⑯(入門編)<br>73 総合問題対策⑰(入門編)<br>74 総合問題対策⑰(入門編)<br>75 総合問題対策⑱(入門編)<br>76 総合問題対策⑱(入門編)<br>77 総合問題対策⑲(入門編)<br>78 総合問題対策⑲(入門編)<br>79 総合問題対策⑳(入門編)<br>80 総合問題対策⑳(入門編)<br>81 総合問題対策㉑(入門編)<br>82 総合問題対策㉑(入門編)<br>83 総合問題対策㉒(入門編)<br>84 総合問題対策㉒(入門編)<br>85 総合問題対策㉓(入門編)<br>86 総合問題対策㉓(入門編)<br>87 総合問題対策㉔(入門編)<br>88 総合問題対策㉔(入門編)<br>89 模擬試験(計算)<br>90 模擬試験(理論) |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況 |
| 備考 | |

## 授業概要(シラバス)

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 消費税法総合Ⅰ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 演習 | |
| 授業時間 | １８０時間（６単位） | |
| 授業コマ数 | ９０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 確定申告書の納付税額算出までの基本的な流れを学ぶ | |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る | |
| 達成目標 | 税理士試験消費税法合格程度の知識及び計算技術習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 個別問題対策①(初級編) |
| | 2 | 個別問題対策②(初級編) |
| | 3 | 個別問題対策③(初級編) |
| | 4 | 個別問題対策④(初級編) |
| | 5 | 個別問題対策⑤(初級編) |
| | 6 | 個別問題対策⑥(初級編) |
| | 7 | 個別問題対策⑦(初級編) |
| | 8 | 個別問題対策⑧(初級編) |
| | 9 | 個別問題対策⑨(初級編) |
| | 10 | 個別問題対策⑩(初級編) |
| | 11 | 個別問題対策⑪(初級編) |
| | 12 | 個別問題対策⑫(初級編) |
| | 13 | 個別問題対策⑬(初級編) |
| | 14 | 個別問題対策⑭(初級編) |
| | 15 | 理論問題対策①(初級編) |
| | 16 | 理論問題対策②(初級編) |
| | 17 | 理論問題対策③(初級編) |
| | 18 | 理論問題対策④(初級編) |
| | 19 | 理論問題対策⑤(初級編) |
| | 20 | 理論問題対策⑥(初級編) |
| | 21 | 理論問題対策⑦(初級編) |
| | 22 | 理論問題対策⑧(初級編) |
| | 23 | 理論問題対策⑨(初級編) |
| | 24 | 理論問題対策⑩(初級編) |
| | 25 | 理論問題対策⑪(初級編) |
| | 26 | 理論問題対策⑫(初級編) |
| | 27 | 理論問題対策⑬(初級編) |
| | 28 | 総合問題対策①(初級編) |
| | 29 | 総合問題対策②(初級編) |
| | 30 | 総合問題対策③(初級編) |
| | 31 | 総合問題対策④(初級編) |
| | 32 | 総合問題対策⑤(初級編) |
| | 33 | 総合問題対策⑥(初級編) |
| | 34 | 総合問題対策⑦(初級編) |
| | 35 | 総合問題対策⑧(初級編) |
| | 36 | 総合問題対策⑨(初級編) |
| | 37 | 総合問題対策⑩(初級編) |
| | 38 | 総合問題対策⑪(初級編) |
| | 39 | 総合問題対策⑫(初級編) |
| | 40 | 総合問題対策⑬(初級編) |
| | 41 | 総合問題対策⑭(初級編) |
| | 42 | 総合問題対策⑮(初級編) |
| | 43 | 総合問題対策⑯(初級編) |
| | 44 | 総合問題対策⑰(初級編) |
| | 45 | 総合問題対策⑱(初級編) |
| | 46 | 総合問題対策⑲(初級編) |
| | 47 | 総合問題対策⑳(初級編) |
| | 48 | 総合問題対策㉑(初級編) |
| | 49 | 総合問題対策㉒(初級編) |
| | 50 | 総合問題対策㉓(初級編) |
| | 51 | 総合問題対策㉔(初級編) |
| | 52 | 総合問題対策㉕(初級編) |
| | 53 | 総合問題対策㉖(初級編) |
| | 54 | 総合問題対策㉗(初級編) |
| | 55 | 総合問題対策㉘(初級編) |
| | 56 | 総合問題対策㉙(初級編) |
| | 57 | 総合問題対策㉚(初級編) |
| | 58 | 総合問題対策㉛(初級編) |
| | 59 | 総合問題対策㉜(初級編) |
| | 60 | 総合問題対策㉝(初級編) |
| | 61 | 総合問題対策㉞(初級編) |
| | 62 | 総合問題対策㉟(初級編) |
| | 63 | 総合問題対策㊱(初級編) |
| | 64 | 総合問題対策㊲(初級編) |
| | 65 | 総合問題対策㊳(初級編) |
| | 66 | 総合問題対策㊴(初級編) |
| | 67 | 総合問題対策㊵(初級編) |
| | 68 | 総合問題対策㊶(初級編) |
| | 69 | 総合問題対策㊷(初級編) |
| | 70 | 総合問題対策㊸(初級編) |
| | 71 | 総合問題演習①(初級編) |
| | 72 | 総合問題演習①(初級編) |
| | 73 | 総合問題演習②(初級編) |
| | 74 | 総合問題演習②(初級編) |
| | 75 | 総合問題演習③(初級編) |
| | 76 | 総合問題演習③(初級編) |
| | 77 | 総合問題演習④(初級編) |
| | 78 | 総合問題演習④(初級編) |
| | 79 | 総合問題演習⑤(初級編) |
| | 80 | 総合問題演習⑤(初級編) |
| | 81 | 総合問題演習⑥(初級編) |
| | 82 | 総合問題演習⑥(初級編) |
| | 83 | 総合問題演習⑦(初級編) |
| | 84 | 総合問題演習⑦(初級編) |
| | 85 | 総合問題演習⑧(初級編) |
| | 86 | 総合問題演習⑧(初級編) |
| | 87 | 総合問題演習⑨(初級編) |
| | 88 | 総合問題演習⑨(初級編) |
| | 89 | 総合問題演習⑩(初級編) |
| | 90 | 総合問題演習⑩(初級編) |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 総合問題演習　１０回分の平均点100% | |
| 備考 | | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 法人税法総合Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | １８０時間（６単位） |
| 授業コマ数 | ９０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 法人税法の計算体系の知識習得を目的とする |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で初級問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 総合問題対策1（初級編）<br>2 総合問題対策2（初級編）<br>3 総合問題対策3（初級編）<br>4 総合問題対策4（初級編）<br>5 総合問題対策5（初級編）<br>6 総合問題対策6（初級編）<br>7 総合問題対策7（初級編）<br>8 総合問題対策8（初級編）<br>9 総合問題対策9（初級編）<br>10 総合問題対策10（初級編）<br>11 総合問題対策11（初級編）<br>12 総合問題対策12（初級編）<br>13 総合問題対策13（初級編）<br>14 総合問題対策14（初級編）<br>15 総合問題対策15（初級編）<br>16 総合問題対策16（初級編）<br>17 総合問題対策17（初級編）<br>18 総合問題対策18（初級編）<br>19 総合問題対策19（初級編）<br>20 総合問題対策20（初級編）<br>21 総合問題対策21（初級編）<br>22 総合問題対策22（初級編）<br>23 総合問題対策23（初級編）<br>24 総合問題対策24（初級編）<br>25 総合問題対策25（初級編）<br>26 総合問題対策26（初級編）<br>27 総合問題対策27（初級編）<br>28 総合問題対策28（初級編）<br>29 総合問題対策29（初級編）<br>30 総合問題対策30（初級編）<br>31 総合問題対策31（初級編）<br>32 総合問題対策32（初級編）<br>33 総合問題対策33（初級編）<br>34 総合問題対策34（初級編）<br>35 総合問題対策35（初級編）<br>36 総合問題対策36（初級編）<br>37 総合問題対策37（初級編）<br>38 総合問題対策38（初級編）<br>39 総合問題対策39（初級編）<br>40 総合問題対策40（初級編）<br>41 総合問題対策41（初級編）<br>42 総合問題対策42（初級編）<br>43 総合問題対策43（初級編）<br>44 総合問題対策44（初級編）<br>45 総合問題対策45（初級編）<br>46 総合問題対策46（初級編）<br>47 総合問題対策47（初級編）<br>48 総合問題対策48（初級編）<br>49 総合問題対策49（初級編）<br>50 総合問題対策50（初級編）<br>51 総合問題対策51（初級編）<br>52 総合問題対策52（初級編）<br>53 総合問題対策53（初級編）<br>54 総合問題対策54（初級編）<br>55 総合問題対策55（初級編）<br>56 総合問題対策56（初級編）<br>57 総合問題対策57（初級編）<br>58 総合問題対策58（初級編）<br>59 総合問題対策59（初級編）<br>60 総合問題対策60（初級編）<br>61 総合問題対策61（初級編）<br>62 総合問題対策62（初級編）<br>63 総合問題対策63（初級編）<br>64 総合問題対策64（初級編）<br>65 総合問題対策65（初級編）<br>66 総合問題対策66（初級編）<br>67 総合問題対策67（初級編）<br>68 総合問題対策68（初級編）<br>69 総合問題対策69（初級編）<br>70 総合問題対策70（初級編）<br>71 総合問題演習1（初級編：計算）<br>72 総合問題演習1（初級編：理論）<br>73 総合問題演習2（初級編：計算）<br>74 総合問題演習2（初級編：理論）<br>75 総合問題演習3（初級編：計算）<br>76 総合問題演習3（初級編：理論）<br>77 総合問題演習4（初級編：計算）<br>78 総合問題演習4（初級編：理論）<br>79 総合問題演習5（初級編：計算）<br>80 総合問題演習5（初級編：理論）<br>81 総合問題演習6（初級編：計算）<br>82 総合問題演習6（初級編：理論）<br>83 総合問題演習7（初級編：計算）<br>84 総合問題演習7（初級編：理論）<br>85 総合問題演習8（初級編：計算）<br>86 総合問題演習8（初級編：理論）<br>87 総合問題演習9（初級編：計算）<br>88 総合問題演習9（初級編：理論）<br>89 総合問題演習10（初級編：計算）<br>90 総合問題演習10（初級編：理論） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 総合問題演習で実施したテストのうち５回分の平均点100% |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 相続税法総合Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | １８０時間（６単位） |
| 授業コマ数 | ９０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 相続税および贈与税の規定、申告について総合的に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 相続税法総まとめ①（基礎編）<br>2 相続税法総まとめ①（基礎編）<br>3 相続税法総まとめ②（基礎編）<br>4 相続税法総まとめ②（基礎編）<br>5 相続税法総まとめ③（基礎編）<br>6 相続税法総まとめ③（基礎編）<br>7 相続税法総まとめ④（基礎編）<br>8 相続税法総まとめ④（基礎編）<br>9 相続税法総まとめ⑤（基礎編）<br>10 相続税法総まとめ⑤（基礎編）<br>11 相続税法総まとめ⑥（基礎編）<br>12 相続税法総まとめ⑥（基礎編）<br>13 相続税法総まとめ⑦（基礎編）<br>14 相続税法総まとめ⑦（基礎編）<br>15 相続税法総まとめ⑧（基礎編）<br>16 相続税法総まとめ⑧（基礎編）<br>17 相続税法総まとめ⑨（基礎編）<br>18 相続税法総まとめ⑨（基礎編）<br>19 相続税法総まとめ⑩（基礎編）<br>20 相続税法総まとめ⑩（基礎編）<br>21 相続税法総まとめ⑪（基礎編）<br>22 相続税法総まとめ⑪（基礎編）<br>23 相続税法総まとめ⑫（基礎編）<br>24 相続税法総まとめ⑫（基礎編）<br>25 相続税法総まとめ⑬（基礎編）<br>26 相続税法総まとめ⑬（基礎編）<br>27 相続税法総まとめ⑭（基礎編）<br>28 相続税法総まとめ⑭（基礎編）<br>29 相続税法総まとめ⑮（基礎編）<br>30 相続税法総まとめ⑮（基礎編）<br>31 相続税法総まとめ⑯（基礎編）<br>32 相続税法総まとめ⑯（基礎編）<br>33 相続税法総まとめ⑰（基礎編）<br>34 相続税法総まとめ⑰（基礎編）<br>35 相続税法総まとめ⑱（基礎編）<br>36 相続税法総まとめ⑱（基礎編）<br>37 相続税法総まとめ⑲（基礎編）<br>38 相続税法総まとめ⑲（基礎編）<br>39 相続税法総まとめ⑳（基礎編）<br>40 相続税法総まとめ⑳（基礎編）<br>41 総合問題対策①（基礎編）<br>42 総合問題対策①（基礎編）<br>43 総合問題対策②（基礎編）<br>44 総合問題対策②（基礎編）<br>45 総合問題対策③（基礎編）<br>46 総合問題対策③（基礎編）<br>47 総合問題対策④（基礎編）<br>48 総合問題対策④（基礎編）<br>49 総合問題対策⑤（基礎編）<br>50 総合問題対策⑤（基礎編）<br>51 総合問題対策⑥（基礎編）<br>52 総合問題対策⑥（基礎編）<br>53 総合問題対策⑦（基礎編）<br>54 総合問題対策⑦（基礎編）<br>55 総合問題対策⑧（基礎編）<br>56 総合問題対策⑧（基礎編）<br>57 総合問題対策⑨（基礎編）<br>58 総合問題対策⑨（基礎編）<br>59 総合問題対策⑩（基礎編）<br>60 総合問題対策⑩（基礎編）<br>61 総合問題対策⑪（基礎編）<br>62 総合問題対策⑪（基礎編）<br>63 総合問題対策⑫（基礎編）<br>64 総合問題対策⑫（基礎編）<br>65 総合問題対策⑬（基礎編）<br>66 総合問題対策⑬（基礎編）<br>67 総合問題対策⑭（基礎編）<br>68 総合問題対策⑭（基礎編）<br>69 総合問題対策⑮（基礎編）<br>70 総合問題対策⑮（基礎編）<br>71 総合問題対策⑯（基礎編）<br>72 総合問題対策⑯（基礎編）<br>73 総合問題対策⑰（基礎編）<br>74 総合問題対策⑰（基礎編）<br>75 総合問題対策⑱（基礎編）<br>76 総合問題対策⑱（基礎編）<br>77 総合問題対策⑲（基礎編）<br>78 総合問題対策⑲（基礎編）<br>79 総合問題対策⑳（基礎編）<br>80 総合問題対策⑳（基礎編）<br>81 総合問題対策㉑（基礎編）<br>82 総合問題対策㉑（基礎編）<br>83 総合問題対策㉒（基礎編）<br>84 総合問題対策㉒（基礎編）<br>85 総合問題対策㉓（基礎編）<br>86 総合問題対策㉓（基礎編）<br>87 総合問題対策㉔（基礎編）<br>88 総合問題対策㉔（基礎編）<br>89 総合問題対策㉕（基礎編）<br>90 総合問題対策㉕（基礎編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 総合問題対策㉕の得点100% |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論総合Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １８０時間（６単位） |
| 授業コマ数 | ９０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 合格に必要な得点ができるようにする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 本支店会計Ⅰ①（入門編）<br>2 本支店会計Ⅰ②（入門編）<br>3 本支店会計Ⅰ③（入門編）<br>4 本支店会計Ⅰ④（入門編）<br>5 本支店会計Ⅰ⑤（入門編）<br>6 本支店会計Ⅰ⑥（入門編）<br>7 組織再編会計Ⅰ①（入門編）<br>8 組織再編会計Ⅰ②（入門編）<br>9 組織再編会計Ⅰ③（入門編）<br>10 組織再編会計Ⅰ④（入門編）<br>11 建設業会計Ⅰ①（入門編）<br>12 建設業会計Ⅰ②（入門編）<br>13 連結会計Ⅰ①（入門編）<br>14 連結会計Ⅰ②（入門編）<br>15 連結会計Ⅰ③（入門編）<br>16 連結会計Ⅰ④（入門編）<br>17 製造業会計Ⅰ①（入門編）<br>18 製造業会計Ⅰ②（入門編）<br>19 製造業会計Ⅰ③（入門編）<br>20 製造業会計Ⅰ④（入門編）<br>21 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編）<br>22 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編）<br>23 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編）<br>24 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編）<br>25 繰延資産Ⅰ①（入門編）<br>26 繰延資産Ⅰ②（入門編）<br>27 圧縮記帳Ⅰ①（入門編）<br>28 圧縮記帳Ⅰ②（入門編）<br>29 ストック・オプションⅠ①（入門編）<br>30 ストック・オプションⅠ②（入門編）<br>31 現金預金Ⅱ①（入門編）<br>32 債権債務Ⅱ①（入門編）<br>33 商品売買Ⅱ①（入門編）<br>34 商品売買Ⅱ②（入門編）<br>35 商品売買Ⅱ③（入門編）<br>36 固定資産Ⅱ①（入門編）<br>37 固定資産Ⅱ②（入門編）<br>38 退職給付会計Ⅱ①（入門編）<br>39 退職給付会計Ⅱ②（入門編）<br>40 債権債務Ⅱ①（入門編）<br>41 債権債務Ⅱ②（入門編）<br>42 税金Ⅱ①（入門編）<br>43 社債Ⅱ①（入門編）<br>44 社債Ⅱ②（入門編）<br>45 純資産会計Ⅱ①（入門編）<br>46 純資産会計Ⅱ②（入門編）<br>47 有価証券Ⅱ①（入門編）<br>48 有価証券Ⅱ②（入門編）<br>49 外貨建会計Ⅱ①（入門編）<br>50 外貨建会計Ⅱ②（入門編）<br>51 リース会計Ⅱ①（入門編）<br>52 リース会計Ⅱ②（入門編）<br>53 試用販売Ⅱ①（入門編）<br>54 試用販売Ⅱ②（入門編）<br>55 割賦販売Ⅱ①（入門編）<br>56 割賦販売Ⅱ②（入門編）<br>57 未着品販売Ⅱ①（入門編）<br>58 未着品販売Ⅱ②（入門編）<br>59 委託販売・受託販売Ⅱ①（入門編）<br>60 委託販売・受託販売Ⅱ②（入門編）<br>61 本支店会計Ⅱ①（入門編）<br>62 本支店会計Ⅱ②（入門編）<br>63 組織再編会計Ⅱ①（入門編）<br>64 組織再編会計Ⅱ②（入門編）<br>65 連結会計Ⅱ①（入門編）<br>66 連結会計Ⅱ②（入門編）<br>67 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ①（入門編）<br>68 キャッシュ・フロー計算書Ⅱ②（入門編）<br>69 項目別答練①（入門編）<br>70 項目別答練②（入門編）<br>71 項目別答練③（入門編）<br>72 項目別答練④（入門編）<br>73 項目別答練⑤（入門編）<br>74 項目別答練⑥（入門編）<br>75 基礎答練①（入門編）<br>76 基礎答練②（入門編）<br>77 基礎答練③（入門編）<br>78 応用答練①（入門編）<br>79 応用答練②（入門編）<br>80 応用答練③（入門編）<br>81 過去問演習①（入門編）<br>82 過去問演習②（入門編）<br>83 過去問演習③（入門編）<br>84 過去問演習④（入門編）<br>85 過去問演習⑤（入門編）<br>86 問題演習実践①（入門編）<br>87 問題演習実践②（入門編）<br>88 問題演習実践③（入門編）<br>89 問題演習実践④（入門編）<br>90 模擬試験 |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況 |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論総合Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | １８０時間（６単位） |
| 授業コマ数 | ９０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 財務諸表作成の入門・基礎を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 財務諸表論総まとめ①(入門・基礎)<br>2 財務諸表論総まとめ①(入門・基礎)<br>3 財務諸表論総まとめ②(入門・基礎)<br>4 財務諸表論総まとめ②(入門・基礎)<br>5 財務諸表論総まとめ③(入門・基礎)<br>6 財務諸表論総まとめ③(入門・基礎)<br>7 財務諸表論総まとめ④(入門・基礎)<br>8 財務諸表論総まとめ④(入門・基礎)<br>9 財務諸表論総まとめ⑤(入門・基礎)<br>10 財務諸表論総まとめ⑤(入門・基礎)<br>11 財務諸表論総まとめ⑥(入門・基礎)<br>12 財務諸表論総まとめ⑥(入門・基礎)<br>13 財務諸表論総まとめ⑦(入門・基礎)<br>14 財務諸表論総まとめ⑦(入門・基礎)<br>15 財務諸表論総まとめ⑧(入門・基礎)<br>16 財務諸表論総まとめ⑧(入門・基礎)<br>17 財務諸表論総まとめ⑨(入門・基礎)<br>18 財務諸表論総まとめ⑨(入門・基礎)<br>19 財務諸表論総まとめ⑩(入門・基礎)<br>20 財務諸表論総まとめ⑩(入門・基礎)<br>21 財務諸表論総まとめ⑪(入門・基礎)<br>22 財務諸表論総まとめ⑪(入門・基礎)<br>23 財務諸表論総まとめ⑫(入門・基礎)<br>24 財務諸表論総まとめ⑫(入門・基礎)<br>25 財務諸表論総まとめ⑬(入門・基礎)<br>26 財務諸表論総まとめ⑬(入門・基礎)<br>27 財務諸表論総まとめ⑭(入門・基礎)<br>28 財務諸表論総まとめ⑭(入門・基礎)<br>29 財務諸表論総まとめ⑮(入門・基礎)<br>30 財務諸表論総まとめ⑮(入門・基礎)<br>31 財務諸表論総まとめ⑯(入門・基礎)<br>32 財務諸表論総まとめ⑯(入門・基礎)<br>33 財務諸表論総まとめ⑰(入門・基礎)<br>34 財務諸表論総まとめ⑰(入門・基礎)<br>35 財務諸表論総まとめ⑱(入門・基礎)<br>36 財務諸表論総まとめ⑱(入門・基礎)<br>37 財務諸表論総まとめ⑲(入門・基礎)<br>38 財務諸表論総まとめ⑲(入門・基礎)<br>39 財務諸表論総まとめ⑳(入門・基礎)<br>40 財務諸表論総まとめ⑳(入門・基礎)<br>41 総合問題対策①(入門・基礎)<br>42 総合問題対策①(入門・基礎)<br>43 総合問題対策②(入門・基礎)<br>44 総合問題対策②(入門・基礎)<br>45 総合問題対策③(入門・基礎)<br>46 総合問題対策③(入門・基礎)<br>47 総合問題対策④(入門・基礎)<br>48 総合問題対策④(入門・基礎)<br>49 総合問題対策⑤(入門・基礎)<br>50 総合問題対策⑤(入門・基礎)<br>51 総合問題対策⑥(入門・基礎)<br>52 総合問題対策⑥(入門・基礎)<br>53 総合問題対策⑦(入門・基礎)<br>54 総合問題対策⑦(入門・基礎)<br>55 総合問題対策⑧(入門・基礎)<br>56 総合問題対策⑧(入門・基礎)<br>57 総合問題対策⑨(入門・基礎)<br>58 総合問題対策⑨(入門・基礎)<br>59 総合問題対策⑩(入門・基礎)<br>60 総合問題対策⑩(入門・基礎)<br>61 総合問題対策⑪(入門・基礎)<br>62 総合問題対策⑪(入門・基礎)<br>63 総合問題対策⑫(入門・基礎)<br>64 総合問題対策⑫(入門・基礎)<br>65 総合問題対策⑬(入門・基礎)<br>66 総合問題対策⑬(入門・基礎)<br>67 総合問題対策⑭(入門・基礎)<br>68 総合問題対策⑭(入門・基礎)<br>69 総合問題対策⑮(入門・基礎)<br>70 総合問題対策⑮(入門・基礎)<br>71 総合問題対策⑯(入門・基礎)<br>72 総合問題対策⑯(入門・基礎)<br>73 総合問題対策⑰(入門・基礎)<br>74 総合問題対策⑰(入門・基礎)<br>75 総合問題対策⑱(入門・基礎)<br>76 総合問題対策⑱(入門・基礎)<br>77 総合問題対策⑲(入門・基礎)<br>78 総合問題対策⑲(入門・基礎)<br>79 総合問題対策⑳(入門・基礎)<br>80 総合問題対策⑳(入門・基礎)<br>81 総合問題対策㉑(入門・基礎)<br>82 総合問題対策㉑(入門・基礎)<br>83 総合問題対策㉒(入門・基礎)<br>84 総合問題対策㉒(入門・基礎)<br>85 総合問題対策㉓(入門・基礎)<br>86 総合問題対策㉓(入門・基礎)<br>87 総合問題対策㉔(入門・基礎)<br>88 総合問題対策㉔(入門・基礎)<br>89 模擬試験(計算)<br>90 模擬試験(理論) |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 模擬試験100%　模擬試験における科目解答状況 |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論速習総合Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 本支店会計Ⅰ①（入門編）<br>2 本支店会計Ⅰ②（入門編）<br>3 本支店会計Ⅰ③（入門編）<br>4 本支店会計Ⅰ④（入門編）<br>5 本支店会計Ⅰ⑤（入門編）<br>6 本支店会計Ⅰ⑥（入門編）<br>7 本支店会計Ⅰ⑦（入門編）<br>8 組織再編会計Ⅰ①（入門編）<br>9 組織再編会計Ⅰ②（入門編）<br>10 組織再編会計Ⅰ③（入門編）<br>11 組織再編会計Ⅰ④（入門編）<br>12 組織再編会計Ⅰ⑤（入門編）<br>13 建設業会計Ⅰ①（入門編）<br>14 建設業会計Ⅰ②（入門編）<br>15 連結会計Ⅰ①（入門編）<br>16 連結会計Ⅰ②（入門編）<br>17 連結会計Ⅰ③（入門編）<br>18 連結会計Ⅰ④（入門編）<br>19 連結会計Ⅰ⑤（入門編）<br>20 製造業会計Ⅰ①（入門編）<br>21 製造業会計Ⅰ②（入門編）<br>22 製造業会計Ⅰ③（入門編）<br>23 製造業会計Ⅰ④（入門編）<br>24 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ①（入門編）<br>25 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ②（入門編）<br>26 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ③（入門編）<br>27 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ④（入門編）<br>28 キャッシュ・フロー計算書Ⅰ⑤（入門編）<br>29 繰延資産Ⅰ①（入門編）<br>30 繰延資産Ⅰ②（入門編）<br>31 繰延資産Ⅰ③（入門編）<br>32 圧縮記帳Ⅰ①（入門編）<br>33 圧縮記帳Ⅰ②（入門編）<br>34 圧縮記帳Ⅰ③（入門編）<br>35 ストック・オプションⅠ①（入門編）<br>36 ストック・オプションⅠ②（入門編）<br>37 商品売買Ⅱ①（入門編）<br>38 商品売買Ⅱ②（入門編）<br>39 商品売買Ⅱ③（入門編）<br>40 固定資産Ⅱ①（入門編）<br>41 固定資産Ⅱ②（入門編）<br>42 固定資産Ⅱ③（入門編）<br>43 退職給付会計Ⅱ①（入門編）<br>44 退職給付会計Ⅱ②（入門編）<br>45 退職給付会計Ⅱ③（入門編）<br>46 試用販売Ⅱ①（入門編）<br>47 試用販売Ⅱ②（入門編）<br>48 試用販売Ⅱ③（入門編）<br>49 割賦販売Ⅱ①（入門編）<br>50 割賦販売Ⅱ②（入門編）<br>51 割賦販売Ⅱ③（入門編）<br>52 本支店会計Ⅱ①（入門編）<br>53 本支店会計Ⅱ②（入門編）<br>54 本支店会計Ⅱ③（入門編）<br>55 組織再編会計Ⅱ①（入門編）<br>56 組織再編会計Ⅱ②（入門編）<br>57 組織再編会計Ⅱ③（入門編）<br>58 連結会計Ⅱ①（入門編）<br>59 連結会計Ⅱ②（入門編）<br>60 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テストの得点100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論速習総合Ⅳ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 合格に必要な得点ができるようにする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 項目別答練①（入門編）<br>2 項目別答練②（入門編）<br>3 項目別答練③（入門編）<br>4 項目別答練④（入門編）<br>5 項目別答練⑤（入門編）<br>6 項目別答練⑥（入門編）<br>7 項目別答練⑦（入門編）<br>8 項目別答練⑧（入門編）<br>9 項目別答練⑨（入門編）<br>10 項目別答練⑩（入門編）<br>11 項目別答練⑪（入門編）<br>12 項目別答練⑫（入門編）<br>13 項目別答練⑬（入門編）<br>14 項目別答練⑭（入門編）<br>15 基礎答練①（入門編）<br>16 基礎答練②（入門編）<br>17 基礎答練③（入門編）<br>18 基礎答練④（入門編）<br>19 基礎答練⑤（入門編）<br>20 基礎答練⑥（入門編）<br>21 基礎答練⑦（入門編）<br>22 基礎答練⑧（入門編）<br>23 基礎答練⑨（入門編）<br>24 基礎答練⑩（入門編）<br>25 応用答練①（入門編）<br>26 応用答練②（入門編）<br>27 応用答練③（入門編）<br>28 応用答練④（入門編）<br>29 応用答練⑤（入門編）<br>30 応用答練⑥（入門編）<br>31 応用答練⑦（入門編）<br>32 応用答練⑧（入門編）<br>33 応用答練⑨（入門編）<br>34 応用答練⑩（入門編）<br>35 過去問演習①（入門編）<br>36 過去問演習②（入門編）<br>37 過去問演習③（入門編）<br>38 過去問演習④（入門編）<br>39 過去問演習⑤（入門編）<br>40 過去問演習⑥（入門編）<br>41 過去問演習⑦（入門編）<br>42 過去問演習⑧（入門編）<br>43 過去問演習⑨（入門編）<br>44 過去問演習⑩（入門編）<br>45 問題演習実践①（入門編）<br>46 問題演習実践②（入門編）<br>47 問題演習実践③（入門編）<br>48 問題演習実践④（入門編）<br>49 問題演習実践⑤（入門編）<br>50 問題演習実践⑥（入門編）<br>51 問題演習実践⑦（入門編）<br>52 問題演習実践⑧（入門編）<br>53 問題演習実践⑨（入門編）<br>54 問題演習実践⑩（入門編）<br>55 問題演習実践⑪（入門編）<br>56 問題演習実践⑫（入門編）<br>57 問題演習実践⑬（入門編）<br>58 問題演習実践⑭（入門編）<br>59 問題演習実践⑮（入門編）<br>60 模擬試験 |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 模擬試験100％　模擬試験における科目解答状況 |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　財務会計論上級 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 税効果会計及び連結会計に関する入門的な会計処理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 税効果会計及び連結会計に関する入門的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 税効果会計①（入門編）<br>2 税効果会計②（入門編）<br>3 税効果会計③（入門編）<br>4 税効果会計④（入門編）<br>5 税効果会計⑤（入門編）<br>6 税効果会計⑥（入門編）<br>7 税効果会計⑦（入門編）<br>8 税効果会計⑧（入門編）<br>9 税効果会計⑨（入門編）<br>10 税効果会計⑩（入門編）<br>11 連結会計①（入門編）<br>12 連結会計②（入門編）<br>13 連結会計③（入門編）<br>14 連結会計④（入門編）<br>15 連結会計⑤（入門編）<br>16 連結会計⑥（入門編）<br>17 連結会計⑦（入門編）<br>18 連結会計⑧（入門編）<br>19 連結会計⑨（入門編）<br>20 連結会計⑩（入門編）<br>21 連結会計⑪（入門編）<br>22 連結会計⑫（入門編）<br>23 連結会計⑬（入門編）<br>24 連結会計⑭（入門編）<br>25 連結会計⑮（入門編）<br>26 連結会計⑯（入門編）<br>27 連結会計⑰（入門編）<br>28 連結会計⑱（入門編）<br>29 連結会計⑲（入門編）<br>30 連結会計⑳（入門編）<br>31 連結会計㉑（入門編）<br>32 連結会計㉒（入門編）<br>33 連結会計㉓（入門編）<br>34 連結会計㉔（入門編）<br>35 連結会計㉕（入門編）<br>36 連結税効果①（入門編）<br>37 連結税効果②（入門編）<br>38 連結税効果③（入門編）<br>39 連結税効果④（入門編）<br>40 連結税効果⑤（入門編）<br>41 連結税効果⑥（入門編）<br>42 連結税効果⑦（入門編）<br>43 連結税効果⑧（入門編）<br>44 連結税効果⑨（入門編）<br>45 確認テスト |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　財務会計論上級Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 外貨建会計からキャッシュ・フロー計算書に関する入門的な会計処理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 外貨建会計からキャッシュ・フロー計算書に関する入門的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 外貨建会計①（入門編）<br>2 外貨建会計②（入門編）<br>3 外貨建会計③（入門編）<br>4 外貨建会計④（入門編）<br>5 外貨建会計⑤（入門編）<br>6 外貨建会計⑥（入門編）<br>7 外貨建会計⑦（入門編）<br>8 キャッシュ・フロー計算書①（入門編）<br>9 キャッシュ・フロー計算書②（入門編）<br>10 キャッシュ・フロー計算書③（入門編）<br>11 キャッシュ・フロー計算書④（入門編）<br>12 キャッシュ・フロー計算書⑤（入門編）<br>13 キャッシュ・フロー計算書⑥（入門編）<br>14 キャッシュ・フロー計算書⑦（入門編）<br>15 キャッシュ・フロー計算書⑧（入門編）<br>16 キャッシュ・フロー計算書⑨（入門編）<br>17 キャッシュ・フロー計算書⑩（入門編）<br>18 キャッシュ・フロー計算書⑪（入門編）<br>19 キャッシュ・フロー計算書⑫（入門編）<br>20 連結キャッシュ・フロー計算書①（入門編）<br>21 連結キャッシュ・フロー計算書②（入門編）<br>22 連結キャッシュ・フロー計算書③（入門編）<br>23 連結キャッシュ・フロー計算書④（入門編）<br>24 連結キャッシュ・フロー計算書⑤（入門編）<br>25 連結キャッシュ・フロー計算書⑥（入門編）<br>26 連結キャッシュ・フロー計算書⑦（入門編）<br>27 連結キャッシュ・フロー計算書⑧（入門編）<br>28 連結キャッシュ・フロー計算書⑨（入門編）<br>29 連結キャッシュ・フロー計算書⑩（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　管理会計論上級 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 財務会計との相違に着目し、初歩的な管理会計を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 授業計画に従い、初歩的な知識を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 事業部制①（入門編）<br>2 事業部制②（入門編）<br>3 事業部制③（入門編）<br>4 事業部制④（入門編）<br>5 事業部制⑤（入門編）<br>6 事業部制⑥（入門編）<br>7 原価企画①（入門編）<br>8 原価企画②（入門編）<br>9 原価企画③（入門編）<br>10 原価企画④（入門編）<br>11 原価企画⑤（入門編）<br>12 活動基準原価計算（ABC）①（入門編）<br>13 活動基準原価計算（ABC）②（入門編）<br>14 活動基準原価計算（ABC）③（入門編）<br>15 活動基準原価管理（ABM）（入門編）<br>16 活動基準予算（ABB）（入門編）<br>17 企業価値の評価①（入門編）<br>18 企業価値の評価②（入門編）<br>19 ライフサイクル・コスティング（入門編）<br>20 品質管理会計（品質原価計算）（入門編）<br>21 生産・在庫管理のための管理会計（入門編）<br>22 マテリアルフローコスト会計（MFCA）（入門編）<br>23 不確実性（リスク）を考慮した意思決定（入門編）<br>24 キャッシュ・フロー管理①（入門編）<br>25 キャッシュ・フロー管理②（入門編）<br>26 営業費計算①（入門編）<br>27 営業費計算②（入門編）<br>28 財務会計と管理会計の相違①（入門編）<br>29 財務会計と管理会計の相違②（入門編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　企業法応用 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会社法の全体像を俯瞰し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為を中心とした入門的な概念を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 会社法の基礎概念を理解し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為に関する初歩的な考え方を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 計算書類その他（入門編）<br>2 資本金・準備金・剰余金（入門編）<br>3 剰余金の配当（入門編）<br>4 定款変更①（入門編）<br>5 定款変更①（入門編）<br>6 定款変更②（入門編）<br>7 事業譲渡等（入門編）<br>8 組織再編①（入門編）<br>9 組織再編②（入門編）<br>10 組織再編③（入門編）<br>11 組織再編④（入門編）<br>12 組織再編⑤（入門編）<br>13 組織再編⑥（入門編）<br>14 組織再編⑦（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　監査論基礎 | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 前期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） | |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 監査制度や監査の進め方に関する入門的な枠組みを学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る | |
| 達成目標 | 監査制度や監査の進め方に関する入門知識を習得する | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 継続企業の前提、継続企業の前提に関する経営者の対応、継続企業の前提に対する監査人の対応、中間監査総論（入門編） |
| | 2 | 四半期レビュー制度、特別目的会社の財務諸表の監査、内部統制報告制度（入門編） |
| | 3 | 会計監査人監査制度、金融商品取引法による企業内容開示制度、公認会計士法①（入門編） |
| | 4 | 公認会計士法②（入門編） |
| | 5 | 公認会計士法③（入門編） |
| | 6 | 倫理規則（入門編） |
| | 7 | 保証業務、保証業務の位置付け、財務諸表監査総論、意見表明の対象である財務諸表（入門編） |
| | 8 | 監査主体論、監査基準論、監査人、職業倫理（入門編） |
| | 9 | 専門能力及び知識、主要勘定と帳簿、証拠等の例、アサーション（入門編） |
| | 10 | 監査技術①（入門編） |
| | 11 | 監査技術②（入門編） |
| | 12 | 監査技術③（入門編） |
| | 13 | リスク・アプローチ、監査リスク、リスク評価手続の全体像、リスク・アプローチとの関係（入門編） |
| | 14 | 監査とIT、ITの特徴（入門編） |
| | 15 | 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論入門Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 簿記一巡・商品の流れの基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 簿記の概要Ⅰ①（基礎編）<br>2 簿記の概要Ⅰ②（基礎編）<br>3 簿記の概要Ⅰ③（基礎編）<br>4 簿記の概要Ⅰ④（基礎編）<br>5 現金預金Ⅰ①（基礎編）<br>6 現金預金Ⅰ②（基礎編）<br>7 現金預金Ⅰ③（基礎編）<br>8 債権債務Ⅰ①（基礎編）<br>9 債権債務Ⅰ②（基礎編）<br>10 商品売買Ⅰ①（基礎編）<br>11 商品売買Ⅰ②（基礎編）<br>12 商品売買Ⅰ③（基礎編）<br>13 給料等Ⅰ①（基礎編）<br>14 給料等Ⅰ②（基礎編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論基礎Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 固定資産から保険金の基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 固定資産Ⅰ①(基礎編)<br>2 固定資産Ⅰ②(基礎編)<br>3 固定資産Ⅰ③(基礎編)<br>4 固定資産Ⅰ④(基礎編)<br>5 固定資産Ⅰ⑤(基礎編)<br>6 固定資産Ⅰ⑥(基礎編)<br>7 固定資産Ⅰ⑦(基礎編)<br>8 固定資産Ⅰ⑧(基礎編)<br>9 固定資産Ⅰ⑨(基礎編)<br>10 固定資産Ⅰ⑩(基礎編)<br>11 ソフトウェアⅠ①(基礎編)<br>12 ソフトウェアⅠ②(基礎編)<br>13 債権債務Ⅰ①(基礎編)<br>14 債権債務Ⅰ②(基礎編)<br>15 債権債務Ⅰ③(基礎編)<br>16 貸倒れⅠ①(基礎編)<br>17 貸倒れⅠ②(基礎編)<br>18 貸倒れⅠ③(基礎編)<br>19 退職給付会計Ⅰ①(基礎編)<br>20 退職給付会計Ⅰ②(基礎編)<br>21 退職給付会計Ⅰ③(基礎編)<br>22 退職給付会計Ⅰ④(基礎編)<br>23 退職給付会計Ⅰ⑤(基礎編)<br>24 退職給付会計Ⅰ⑥(基礎編)<br>25 退職給付会計Ⅰ⑦(基礎編)<br>26 退職給付会計Ⅰ⑧(基礎編)<br>27 税金Ⅰ①(基礎編)<br>28 税金Ⅰ②(基礎編)<br>29 税金Ⅰ③(基礎編)<br>30 税金Ⅰ④(基礎編)<br>31 社債Ⅰ①(基礎編)<br>32 社債Ⅰ②(基礎編)<br>33 社債Ⅰ③(基礎編)<br>34 社債Ⅰ④(基礎編)<br>35 社債Ⅰ⑤(基礎編)<br>36 社債Ⅰ⑥(基礎編)<br>37 純資産会計Ⅰ①(基礎編)<br>38 純資産会計Ⅰ②(基礎編)<br>39 純資産会計Ⅰ③(基礎編)<br>40 純資産会計Ⅰ④(基礎編)<br>41 有価証券Ⅰ①(基礎編)<br>42 有価証券Ⅰ②(基礎編)<br>43 有価証券Ⅰ③(基礎編)<br>44 有価証券Ⅰ④(基礎編)<br>45 税効果会計Ⅰ①(基礎編)<br>46 税効果会計Ⅰ②(基礎編)<br>47 税効果会計Ⅰ③(基礎編)<br>48 税効果会計Ⅰ④(基礎編)<br>49 税効果会計Ⅰ⑤(基礎編)<br>50 税効果会計Ⅰ⑥(基礎編)<br>51 税効果会計Ⅰ⑦(基礎編)<br>52 税効果会計Ⅰ⑧(基礎編)<br>53 税効果会計Ⅰ⑨(基礎編)<br>54 税効果会計Ⅰ⑩(基礎編)<br>55 現在価値計算Ⅰ①(基礎編)<br>56 現在価値計算Ⅰ②(基礎編)<br>57 現在価値計算Ⅰ③(基礎編)<br>58 保険金Ⅰ①(基礎編)<br>59 保険金Ⅰ②(基礎編)<br>60 確認テスト |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論入門Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会計学の基礎を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ガイダンス・財務諸表の基礎（基礎編）<br>2 個別注記表（基礎編）<br>3 現金及び預金（基礎編）<br>4 債権債務（基礎編）<br>5 関係会社概念（基礎編）<br>6 売上原価の算定（基礎編）<br>7 貸倒れ（基礎編）<br>8 給料等（基礎編）<br>9 その他の引当金（基礎編）<br>10 退職給付会計（基礎編）<br>11 有形固定資産（基礎編）<br>12 無形固定資産（基礎編）<br>13 株主資本（基礎編）<br>14 財務諸表論の基礎概念（基礎編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論基礎Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会計基準の基礎を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 売買目的有価証券（基礎編）<br>2 満期保有目的の債券（基礎編）<br>3 子会社株式・関連会社株式（基礎編）<br>4 その他有価証券（基礎編）<br>5 ソフトウェア（基礎編）<br>6 法人税等・追徴還付（基礎編）<br>7 現在価値計算（基礎編）<br>8 社債（基礎編）<br>9 利益剰余金（基礎編）<br>10 自己株式（基礎編）<br>11 配当（基礎編）<br>12 外形基準、租税公課（基礎編）<br>13 源泉所得税、社会保険料（基礎編）<br>14 税効果会計（基礎編）<br>15 税効果注記（基礎編）<br>16 源泉所得税、社会保険料（基礎編）<br>17 株主資本等変動計算書（基礎編）<br>18 減損会計（基礎編）<br>19 配当を受けた株主の処理（基礎編）<br>20 圧縮記帳（基礎編）<br>21 外貨建取引（基礎編）<br>22 退職給付会計簡便法（基礎編）<br>23 繰延資産（基礎編）<br>24 為替予約（基礎編）<br>25 仕入・売上げの計上基準（基礎編）<br>26 消費税等（基礎編）<br>27 他勘定振替（基礎編）<br>28 外貨建有価証券（基礎編）<br>29 リース会計（基礎編）<br>30 証券投資信託（基礎編）<br>31 ゴルフ会員権（基礎編）<br>32 売価還元法（基礎編）<br>33 製造業会計（基礎編）<br>34 研究開発費（基礎編）<br>35 新株予約権（基礎編）<br>36 キャッシュ・フロー計算書（基礎編）<br>37 損益計算書総論（基礎編）<br>38 貸借対照表総論（基礎編）<br>39 資産総論（基礎編）<br>40 棚卸資産に関する会計基準（基礎編）<br>41 連結意見書（基礎編）<br>42 引当金（基礎編）<br>43 会計観（基礎編）<br>44 金融商品（基礎編）<br>45 会計上の変更及び誤謬の訂正①（基礎編）<br>46 会計上の変更及び誤謬の訂正②（基礎編）<br>47 会計上の変更及び誤謬の訂正③（基礎編）<br>48 会計上の変更及び誤謬の訂正④（基礎編）<br>49 会計上の変更及び誤謬の訂正⑤（基礎編）<br>50 分配可能額①（基礎編）<br>51 分配可能額②（基礎編）<br>52 分配可能額③（基礎編）<br>53 分配可能額④（基礎編）<br>54 分配可能額⑤（基礎編）<br>55 ストック・オプション①（基礎編）<br>56 ストック・オプション②（基礎編）<br>57 ストック・オプション③（基礎編）<br>58 ストック・オプション④（基礎編）<br>59 ストック・オプション⑤（基礎編）<br>60 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 消費税法入門Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ガイダンス<br>2 課税の対象①（初級編）<br>3 課税の対象②（初級編）<br>4 課税の対象③（初級編）<br>5 課税の対象④（初級編）<br>6 非課税①（初級編）<br>7 非課税②（初級編）<br>8 非課税③（初級編）<br>9 非課税④（初級編）<br>10 輸出免税等①（初級編）<br>11 輸出免税等②（初級編）<br>12 輸出免税等③（初級編）<br>13 輸出免税等④（初級編）<br>14 資産の譲渡等の時期（初級編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 消費税法基礎Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 控除対象仕入税額①（初級編）<br>2 控除対象仕入税額②（初級編）<br>3 控除対象仕入税額③（初級編）<br>4 控除対象仕入税額④（初級編）<br>5 控除対象仕入税額⑤（初級編）<br>6 控除対象仕入税額⑥（初級編）<br>7 売上げに係る対価の返還等①（初級編）<br>8 売上げに係る対価の返還等②（初級編）<br>9 売上げに係る対価の返還等③（初級編）<br>10 貸倒れが生じた場合①（初級編）<br>11 貸倒れが生じた場合②（初級編）<br>12 貸倒れが生じた場合③（初級編）<br>13 課税仕入れの範囲①（初級編）<br>14 課税仕入れの範囲②（初級編）<br>15 課税仕入れの範囲③（初級編）<br>16 課税仕入れの範囲④（初級編）<br>17 課税仕入れの範囲⑤（初級編）<br>18 課税仕入れの範囲⑥（初級編）<br>19 課税仕入れ等の時期①（初級編）<br>20 課税仕入れ等の時期②（初級編）<br>21 課税仕入れ等の時期③（初級編）<br>22 課税仕入れ等の時期④（初級編）<br>23 課税仕入れ等の時期⑤（初級編）<br>24 課税売上割合①（初級編）<br>25 課税売上割合②（初級編）<br>26 課税売上割合③（初級編）<br>27 課税売上割合④（初級編）<br>28 課税売上割合⑤（初級編）<br>29 課税売上割合⑥（初級編）<br>30 課税売上割合⑦（初級編）<br>31 課税期間における課税売上高①（初級編）<br>32 課税期間における課税売上高②（初級編）<br>33 課税期間における課税売上高③（初級編）<br>34 課税売上割合に準ずる割合①（初級編）<br>35 課税売上割合に準ずる割合②（初級編）<br>36 課税売上割合に準ずる割合③（初級編）<br>37 仕入れに係る対価の返還等①（初級編）<br>38 仕入れに係る対価の返還等②（初級編）<br>39 仕入れに係る対価の返還等③（初級編）<br>40 納税義務の免除①（初級編）<br>41 納税義務の免除②（初級編）<br>42 納税義務の免除③（初級編）<br>43 納税義務の免除④（初級編）<br>44 納税義務の免除⑤（初級編）<br>45 国境を越えた役務の提供①（初級編）<br>46 国境を越えた役務の提供②（初級編）<br>47 国境を越えた役務の提供③（初級編）<br>48 国境を越えた役務の提供④（初級編）<br>49 国境を越えた役務の提供⑤（初級編）<br>50 中間申告に係る納付税額の計算①（初級編）<br>51 中間申告に係る納付税額の計算②（初級編）<br>52 課税仕入れ等の分類①（初級編）<br>53 課税仕入れ等の分類②（初級編）<br>54 課税仕入れ等の分類③（初級編）<br>55 課税仕入れ等の分類④（初級編）<br>56 課税仕入れ等の分類⑤（初級編）<br>57 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例①（初級編）<br>58 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例②（初級編）<br>59 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例③（初級編）<br>60 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 法人税法入門Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 基本的な部分の学習を行い、中級問題の解法を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ガイダンス（中級編）<br>2 納税義務者Ⅰ（中級編）<br>3 課税所得の範囲Ⅰ（中級編）<br>4 交際費等の損金不算入Ⅰ（中級編）<br>5 減価償却Ⅰ（中級編）<br>6 減価償却Ⅱ（中級編）<br>7 減価償却Ⅲ（中級編）<br>8 受取配当等の益金不算入Ⅰ（中級編）<br>9 寄附金の損金不算入Ⅰ（中級編）<br>10 租税公課等Ⅰ（中級編）<br>11 納税充当金Ⅰ（中級編）<br>12 納税充当金Ⅱ（中級編）<br>13 別表四の作成Ⅰ（中級編）<br>14 事業年度Ⅰ（中級編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 法人税法基礎Ⅱ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） | |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 貸倒引当金や欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る | |
| 達成目標 | 各項目の中級的な部分を学び、各体系の解法を習得する | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 貸倒損失Ⅰ（中級編） |
| | 2 | 貸倒損失Ⅱ（中級編） |
| | 3 | 貸倒損失Ⅲ（中級編） |
| | 4 | 貸倒損失Ⅳ（中級編） |
| | 5 | 貸倒引当金Ⅰ（中級編） |
| | 6 | 貸倒引当金Ⅱ（中級編） |
| | 7 | 貸倒引当金Ⅲ（中級編） |
| | 8 | 貸倒引当金Ⅳ（中級編） |
| | 9 | 欠損金Ⅰ（中級編） |
| | 10 | 欠損金Ⅱ（中級編） |
| | 11 | 欠損金Ⅲ（中級編） |
| | 12 | 欠損金Ⅳ（中級編） |
| | 13 | 外貨建取引Ⅰ（中級編） |
| | 14 | 外貨建取引Ⅱ（中級編） |
| | 15 | 外貨建取引Ⅲ（中級編） |
| | 16 | 外貨建取引Ⅳ（中級編） |
| | 17 | 有価証券Ⅰ（中級編） |
| | 18 | 有価証券Ⅱ（中級編） |
| | 19 | 有価証券Ⅲ（中級編） |
| | 20 | 有価証券Ⅳ（中級編） |
| | 21 | 収用等Ⅰ（中級編） |
| | 22 | 収用等Ⅱ（中級編） |
| | 23 | 収用等Ⅲ（中級編） |
| | 24 | 収用等Ⅳ（中級編） |
| | 25 | 所得税額控除Ⅰ（中級編） |
| | 26 | 所得税額控除Ⅱ（中級編） |
| | 27 | 所得税額控除Ⅲ（中級編） |
| | 28 | 所得税額控除Ⅳ（中級編） |
| | 29 | 国庫補助金等Ⅰ（中級編） |
| | 30 | 国庫補助金等Ⅱ（中級編） |
| | 31 | 国庫補助金等Ⅲ（中級編） |
| | 32 | 国庫補助金等Ⅳ（中級編） |
| | 33 | 別表五㈠の作成Ⅰ（中級編） |
| | 34 | 別表五㈠の作成Ⅱ（中級編） |
| | 35 | 別表五㈠の作成Ⅲ（中級編） |
| | 36 | 別表五㈠の作成Ⅳ（中級編） |
| | 37 | 圧縮記帳Ⅰ（中級編） |
| | 38 | 圧縮記帳Ⅱ（中級編） |
| | 39 | 圧縮記帳Ⅲ（中級編） |
| | 40 | 圧縮記帳Ⅳ（中級編） |
| | 41 | 圧縮記帳Ⅴ（中級編） |
| | 42 | 圧縮記帳Ⅵ（中級編） |
| | 43 | 圧縮記帳Ⅶ（中級編） |
| | 44 | 圧縮記帳Ⅷ（中級編） |
| | 45 | 役員判定Ⅰ（中級編） |
| | 46 | 役員判定Ⅱ（中級編） |
| | 47 | 役員給与Ⅰ（中級編） |
| | 48 | 役員給与Ⅱ（中級編） |
| | 49 | 使用人給与Ⅰ（中級編） |
| | 50 | 使用人給与Ⅱ（中級編） |
| | 51 | 特定資産の買換えⅠ（中級編） |
| | 52 | 特定資産の買換えⅡ（中級編） |
| | 53 | 外国税額控除Ⅰ（中級編） |
| | 54 | 外国税額控除Ⅱ（中級編） |
| | 55 | 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅰ（中級編） |
| | 56 | 外国子会社から受ける配当等の益金不算入Ⅱ（中級編） |
| | 57 | みなし配当金Ⅰ（中級編） |
| | 58 | みなし配当金Ⅱ（中級編） |
| | 59 | みなし配当金Ⅲ（中級編） |
| | 60 | 確認テスト |
| 成績評価方法（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 相続税法入門Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 相続税および贈与税の概要を理解する（基礎） |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ガイダンス<br>2 相続税法の概要（基礎編）<br>3 相続税法と民法（基礎編）<br>4 相続人、代襲相続（基礎編）<br>5 養子の子の取扱い（基礎編）<br>6 相続の承認と放棄（基礎編）<br>7 相続分（法定相続分、代襲相続分）（基礎編）<br>8 遺言による財産の取得（基礎編）<br>9 相続税の納税義務者（基礎編）<br>10 生命保険金等（基礎編）<br>11 相続税の非課税財産（基礎編）<br>12 相続税額の計算方法（基礎編）<br>13 生命保険金等の非課税金額（基礎編）<br>14 退職手当金等、退職手当金等の非課税金額（基礎編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 相続税法基礎Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 相続税、贈与税の基礎的な問題の理解 |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 贈与税の概要（基礎編）<br>2 贈与税の納税義務者（基礎編）<br>3 弔慰金等（基礎編）<br>4 債務控除（基礎編）<br>5 相続時精算課税制度の概要及び贈与税額の計算（基礎編）<br>6 相続時精算課税適用財産（基礎編）<br>7 生前贈与加算相続税の総額（基礎編）<br>8 算出相続税額の計算（基礎編）<br>9 相続税額の加算（基礎編）<br>10 贈与税額控除（暦年）（基礎編）<br>11 配偶者の税額軽減（基礎編）<br>12 未成年者控除（基礎編）<br>13 障害者控除（基礎編）<br>14 確認テスト①<br>15 特定納税義務者（基礎編）<br>16 特定納税義務者の債務控除（基礎編）<br>17 特定納税義務者の障害者控除（基礎編）<br>18 贈与税額控除（精算）（基礎編）<br>19 自用地（評価方式・路線価方式・倍率方式）（基礎編）<br>20 自用家屋（基礎編）<br>21 家屋と構造上一体となっている設備（基礎編）<br>22 特別養子制度（基礎編）<br>23 生命保険契約に関する権利（基礎編）<br>24 被保険者でない保険契約者が死亡した場合（基礎編）<br>25 法定相続人の数（基礎編）<br>26 本来の財産（基礎編）<br>27 自用地（路線に2以上の路線価が付されている宅地）（基礎編）<br>28 地区区分の異なる宅地（基礎編）<br>29 側方路線等に宅地の一部が接している場合（基礎編）<br>30 普通借地権（自用借地権）（基礎編）<br>31 貸宅地（基礎編）<br>32 貸家建付地（基礎編）<br>33 貸家建付借地権（基礎編）<br>34 貸家（基礎編）<br>35 一般動産（基礎編）<br>36 たな卸商品等（基礎編）<br>37 書画骨とう品（基礎編）<br>38 預貯金（基礎編）<br>39 上場株式（基礎編）<br>40 構築物（基礎編）<br>41 貸付金債権等（基礎編）<br>42 受取手形等（基礎編）<br>43 間口が狭小な宅地等（基礎編）<br>44 角切り宅地の間口距離（基礎編）<br>45 確認テスト②<br>46 使用貸借により借り受けた宅地等（基礎編）<br>47 使用貸借により貸し付けられた宅地等（基礎編）<br>48 使用貸借により貸し付けられた家屋（基礎編）<br>49 小規模宅地等の減額①（基礎編）<br>50 小規模宅地等の減額②（基礎編）<br>51 小規模宅地等の減額③（基礎編）<br>52 小規模宅地等の減額④（基礎編）<br>53 小規模宅地等の減額⑤（基礎編）<br>54 小規模宅地等の減額⑥（基礎編）<br>55 確認テスト③<br>56 取引相場のない株式①（基礎編）<br>57 取引相場のない株式②（基礎編）<br>58 取引相場のない株式③（基礎編）<br>59 取引相場のない株式④（基礎編）<br>60 取引相場のない株式⑤（基礎編） |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト　３回分の平均点100％ |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務会計論簿記入門Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 企業会計基準の詳細及び製造業に関する入門的な会計処理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 企業会計基準の詳細及び製造業に関する入門的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 工事契約①（入門編）<br>2 工事契約②（入門編）<br>3 四半期財務諸表①（入門編）<br>4 四半期財務諸表②（入門編）<br>5 四半期財務諸表③（入門編）<br>6 会計上の変更及び誤謬の訂正①（入門編）<br>7 会計上の変更及び誤謬の訂正②（入門編）<br>8 会計上の変更及び誤謬の訂正③（入門編）<br>9 会計上の変更及び誤謬の訂正④（入門編）<br>10 1株当たり情報（入門編）<br>11 潜在株式調整後1株当たり当期純利益①（入門編）<br>12 潜在株式調整後1株当たり当期純利益②（入門編）<br>13 潜在株式調整後1株当たり当期純利益③（入門編）<br>14 製造業（商的工業簿記）（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務会計論簿記入門演習Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 計算基礎問題（初級編）①<br>2 計算基礎問題（初級編）②<br>3 計算基礎問題（初級編）③<br>4 計算基礎問題（初級編）④<br>5 計算基礎問題（初級編）⑤<br>6 計算基礎問題（初級編）⑥<br>7 計算基礎問題（初級編）⑦<br>8 計算基礎問題（初級編）⑧<br>9 計算基礎問題（初級編）⑨<br>10 計算基礎問題（初級編）⑩<br>11 計算基礎問題（初級編）⑪<br>12 計算基礎問題（初級編）⑫<br>13 計算基礎問題（初級編）⑬<br>14 計算基礎問題（初級編）⑭<br>15 計算基礎問題（初級編）⑮ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 管理会計論入門演習Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 計算基礎問題（初級編）①<br>2 計算基礎問題（初級編）②<br>3 計算基礎問題（初級編）③<br>4 計算基礎問題（初級編）④<br>5 計算基礎問題（初級編）⑤<br>6 計算基礎問題（初級編）⑥<br>7 計算基礎問題（初級編）⑦<br>8 計算基礎問題（初級編）⑧<br>9 計算基礎問題（初級編）⑨<br>10 計算基礎問題（初級編）⑩<br>11 計算基礎問題（初級編）⑪<br>12 計算基礎問題（初級編）⑫<br>13 計算基礎問題（初級編）⑬<br>14 計算基礎問題（初級編）⑭<br>15 計算基礎問題（初級編）⑮ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 短答式対策入門総合Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 模擬試験形式による科目習熟度測定 |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）①<br>2 財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）①<br>3 管理会計 択一式応用問題（初級編）①<br>4 企業法 択一式応用問題（初級編）①<br>5 監査論 択一式応用問題（初級編）①<br>6 財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）②<br>7 財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）②<br>8 管理会計 択一式応用問題（初級編）②<br>9 企業法 択一式応用問題（初級編）②<br>10 監査論 択一式応用問題（初級編）②<br>11 財務会計（計算） 択一式応用問題（初級編）③<br>12 財務会計（理論） 択一式応用問題（初級編）③<br>13 管理会計 択一式応用問題（初級編）③<br>14 企業法 択一式応用問題（初級編）③<br>15 監査論 択一式応用問題（初級編）③ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 企業法入門Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会社法上の主要な課題について学習する。また、商法総則、商行為法及び金融商品取引法なども学習する |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 会社法上の主要な課題について、その概要を簡単に説明できる程度に理解する。商法総則、商行為法及び金融商品取引法の初歩的な知識を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 発起人（入門編）<br>2 変態設立事項①（入門編）<br>3 変態設立事項②（入門編）<br>4 設立関与者の責任（入門編）<br>5 株主平等原則（入門編）<br>6 事業譲渡（入門編）<br>7 組織再編（入門編）<br>8 合併（入門編）<br>9 吸収合併（入門編）<br>10 新設合併（入門編）<br>11 会社分割（入門編）<br>12 事業譲渡と会社分割の共通点及び相違点（入門編）<br>13 吸収分割（入門編）<br>14 新設分割（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 監査論入門Ⅱ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） | |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 監査手続き及び監査制度や監査の進め方に関する入門的な枠組みを学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る | |
| 達成目標 | 監査手続き及び監査制度や監査の進め方に関する入門知識を習得する | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 監査に係る予備的な活動①（入門編） |
| | 2 | 監査に係る予備的な活動②（入門編） |
| | 3 | 監査計画の定義、監査計画の分類、監査証拠の入手方法、監査サンプリング（入門編） |
| | 4 | 重要性の定義、監査上の重要性が用いられる場面、重要な虚偽表示か否かの判断（入門編） |
| | 5 | 監査上の重要性の例、重要性の基準値の決定、特別な検討を必要とするリスクの定義とリスク評価手続き及びリスクの識別・評価（入門編） |
| | 6 | 関連当事者、関連当事者との取引について検討する理由（入門編） |
| | 7 | 関連当事者との関係及び関連当事者との取引に伴う重要な虚偽表示リスクの識別と評価、虚偽表示リスクへの対応（入門編） |
| | 8 | 会計上の見積り（入門編） |
| | 9 | 不正の定義及び特徴、不正・誤謬の定義、不正の分類、不正リスク対応基準（入門編） |
| | 10 | 不正による重要な虚偽表示等の発見可能性、不正の防止及び発見に対する責任（入門編） |
| | 11 | 不正の検討（入門編） |
| | 12 | 不正による重要な虚偽表示リスクの識別と評価、特別な検討を要するリスク、評価した不正による重要な虚偽表示リスクへの対応（入門編） |
| | 13 | 用語の説明、職業的懐疑心、法令の分類（入門編） |
| | 14 | 違法行為の定義、グループ監査とは、グループ監査の実施プロセス（入門編） |
| | 15 | 確認テスト |
| 成績評価方法（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 租税法入門Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 法人税法の概要を捉え、入門的な計算を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 的確な解法で初歩的な問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 法人税法①（入門編）<br>2 法人税法②（入門編）<br>3 法人税法③（入門編）<br>4 法人税法④（入門編）<br>5 法人税法⑤（入門編）<br>6 法人税法⑥（入門編）<br>7 法人税法⑦（入門編）<br>8 法人税法⑧（入門編）<br>9 法人税法⑨（入門編）<br>10 法人税法⑩（入門編）<br>11 法人税法⑪（入門編）<br>12 法人税法⑫（入門編）<br>13 法人税法⑬（入門編）<br>14 法人税法⑭（入門編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　財務会計論入門 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 商品売買、棚卸資産及び現金預金に関する基礎的な会計処理を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 商品売買、棚卸資産及び現金預金の基礎的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商品売買①（基礎編）<br>2 商品売買②（基礎編）<br>3 商品売買③（基礎編）<br>4 商品売買④（基礎編）<br>5 商品売買⑤（基礎編）<br>6 商品売買⑥（基礎編）<br>7 商品売買⑦（基礎編）<br>8 棚卸資産①（基礎編）<br>9 棚卸資産②（基礎編）<br>10 棚卸資産③（基礎編）<br>11 棚卸資産④（基礎編）<br>12 棚卸資産⑤（基礎編）<br>13 棚卸資産⑥（基礎編）<br>14 現金預金（基礎）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　財務会計論Ⅴ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | １５０時間（５単位） |
| 授業コマ数 | ７５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 金銭債権から法人税等に関する基礎的な知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 金銭債権から法人税等に関する基礎的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 金銭債権①（基礎編）<br>2 金銭債権②（基礎編）<br>3 金銭債権③（基礎編）<br>4 金銭債権④（基礎編）<br>5 金銭債権⑤（基礎編）<br>6 金銭債権⑥（基礎編）<br>7 金銭債権⑦（基礎編）<br>8 金銭債権⑧（基礎編）<br>9 金銭債権⑨（基礎編）<br>10 金銭債権⑩（基礎編）<br>11 金銭債権⑪（基礎編）<br>12 金銭債権⑫（基礎編）<br>13 金銭債権⑬（基礎編）<br>14 金銭債権⑭（基礎編）<br>15 金銭債権⑮（基礎編）<br>16 有価証券①（基礎編）<br>17 有価証券②（基礎編）<br>18 有価証券③（基礎編）<br>19 デリバティブ取引①（基礎編）<br>20 デリバティブ取引②（基礎編）<br>21 デリバティブ取引③（基礎編）<br>22 ヘッジ会計①（基礎編）<br>23 ヘッジ会計②（基礎編）<br>24 その他の金融商品①（基礎編）<br>25 その他の金融商品②（基礎編）<br>26 有形固定資産①（基礎編）<br>27 有形固定資産②（基礎編）<br>28 有形固定資産③（基礎編）<br>29 有形固定資産④（基礎編）<br>30 有形固定資産⑤（基礎編）<br>31 有形固定資産⑥（基礎編）<br>32 有形固定資産⑦（基礎編）<br>33 有形固定資産⑧（基礎編）<br>34 有形固定資産⑨（基礎編）<br>35 有形固定資産⑩（基礎編）<br>36 有形固定資産⑪（基礎編）<br>37 有形固定資産⑫（基礎編）<br>38 有形固定資産⑬（基礎編）<br>39 有形固定資産⑭（基礎編）<br>40 リース会計①（基礎編）<br>41 リース会計②（基礎編）<br>42 リース会計③（基礎編）<br>43 リース会計④（基礎編）<br>44 リース会計⑤（基礎編）<br>45 リース会計⑥（基礎編）<br>46 リース会計⑦（基礎編）<br>47 リース会計⑧（基礎編）<br>48 リース会計⑨（基礎編）<br>49 リース会計⑩（基礎編）<br>50 リース会計⑪（基礎編）<br>51 リース会計⑫（基礎編）<br>52 無形固定資産①（基礎編）<br>53 無形固定資産②（基礎編）<br>54 投資その他の資産（基礎編）<br>55 減損会計①（基礎編）<br>56 減損会計②（基礎編）<br>57 減損会計③（基礎編）<br>58 繰延資産（基礎編）<br>59 社債①（基礎編）<br>60 社債②（基礎編）<br>61 純資産会計①（基礎編）<br>62 純資産会計②（基礎編）<br>63 純資産会計③（基礎編）<br>64 純資産会計④（基礎編）<br>65 純資産会計⑤（基礎編）<br>66 新株予約権①（基礎編）<br>67 新株予約権②（基礎編）<br>68 新株予約権③（基礎編）<br>69 新株予約権④（基礎編）<br>70 新株予約権⑤（基礎編）<br>71 ストック・オプション①（基礎編）<br>72 ストック・オプション②（基礎編）<br>73 ストック・オプション③（基礎編）<br>74 法人税等（基礎編）<br>75 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　管理会計論入門 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 管理会計の概要を知り、数学的な基礎知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 授業計画に従い、基礎的な知識を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 管理会計総論（基礎編）<br>2 原価計算総論（基礎編）<br>3 費目別計算①（基礎編）<br>4 費目別計算②（基礎編）<br>5 費目別計算③（基礎編）<br>6 費目別計算④（基礎編）<br>7 費目別計算⑤（基礎編）<br>8 費目別計算⑥（基礎編）<br>9 費目別計算⑦（基礎編）<br>10 費目別計算⑧（基礎編）<br>11 費目別計算⑨（基礎編）<br>12 費目別計算⑩（基礎編）<br>13 費目別計算⑪（基礎編）<br>14 費目別計算⑫（基礎編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　管理会計論Ⅳ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 管理会計の概要を知り、数学的な基礎知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 授業計画に従い、基礎的な知識を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 部門別計算総論（基礎編）<br>2 部門別計算①（基礎編）<br>3 部門別計算②（基礎編）<br>4 部門別計算③（基礎編）<br>5 部門別計算④（基礎編）<br>6 部門別計算⑤（基礎編）<br>7 部門別計算⑥（基礎編）<br>8 部門別計算⑦（基礎編）<br>9 部門別計算⑧（基礎編）<br>10 部門別計算⑨（基礎編）<br>11 部門別計算⑩（基礎編）<br>12 部門別計算⑪（基礎編）<br>13 部門別計算⑫（基礎編）<br>14 個別原価計算総論（基礎編）<br>15 個別原価計算①（基礎編）<br>16 個別原価計算②（基礎編）<br>17 個別原価計算③（基礎編）<br>18 個別原価計算④（基礎編）<br>19 個別原価計算⑤（基礎編）<br>20 総合原価計算総論（基礎編）<br>21 単純総合原価計算①（基礎編）<br>22 単純総合原価計算②（基礎編）<br>23 単純総合原価計算③（基礎編）<br>24 単純総合原価計算④（基礎編）<br>25 単純総合原価計算⑤（基礎編）<br>26 単純総合原価計算⑥（基礎編）<br>27 工程別総合原価計算①（基礎編）<br>28 工程別総合原価計算②（基礎編）<br>29 工程別総合原価計算③（基礎編）<br>30 工程別総合原価計算④（基礎編）<br>31 工程別総合原価計算⑤（基礎編）<br>32 工程別総合原価計算⑥（基礎編）<br>33 工程別総合原価計算⑦（基礎編）<br>34 工程別総合原価計算⑧（基礎編）<br>35 工程別総合原価計算⑨（基礎編）<br>36 工程別総合原価計算⑩（基礎編）<br>37 組別総合原価計算①（基礎編）<br>38 組別総合原価計算②（基礎編）<br>39 等級別総合原価計算①（基礎編）<br>40 等級別総合原価計算②（基礎編）<br>41 等級別総合原価計算③（基礎編）<br>42 連産品①（基礎編）<br>43 連産品②（基礎編）<br>44 連産品③（基礎編）<br>45 確認テスト |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論基礎Ⅳ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 新株予約権付社債から外貨建会計の基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 新株予約権付社債Ⅰ①（基礎編）<br>2 新株予約権付社債Ⅰ②（基礎編）<br>3 新株予約権付社債Ⅰ③（基礎編）<br>4 新株予約権付社債Ⅰ④（基礎編）<br>5 新株予約権付社債Ⅰ⑤（基礎編）<br>6 減損会計Ⅰ①（基礎編）<br>7 減損会計Ⅰ②（基礎編）<br>8 減損会計Ⅰ③（基礎編）<br>9 資産除去債務Ⅰ①（基礎編）<br>10 資産除去債務Ⅰ②（基礎編）<br>11 外貨建会計Ⅰ①（基礎編）<br>12 外貨建会計Ⅰ②（基礎編）<br>13 外貨建会計Ⅰ③（基礎編）<br>14 外貨建会計Ⅰ④（基礎編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 簿記論Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | リース会計から特殊商品売買の基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習を中心に、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 リース会計Ⅰ①（基礎編）<br>2 リース会計Ⅰ②（基礎編）<br>3 リース会計Ⅰ③（基礎編）<br>4 リース会計Ⅰ④（基礎編）<br>5 リース会計Ⅰ⑤（基礎編）<br>6 リース会計Ⅰ⑥（基礎編）<br>7 リース会計Ⅰ⑦（基礎編）<br>8 リース会計Ⅰ⑧（基礎編）<br>9 試用販売Ⅰ①（基礎編）<br>10 試用販売Ⅰ②（基礎編）<br>11 試用販売Ⅰ③（基礎編）<br>12 試用販売Ⅰ④（基礎編）<br>13 試用販売Ⅰ⑤（基礎編）<br>14 試用販売Ⅰ⑥（基礎編）<br>15 割賦販売Ⅰ①（基礎編）<br>16 割賦販売Ⅰ②（基礎編）<br>17 割賦販売Ⅰ③（基礎編）<br>18 割賦販売Ⅰ④（基礎編）<br>19 割賦販売Ⅰ⑤（基礎編）<br>20 割賦販売Ⅰ⑥（基礎編）<br>21 未着品販売Ⅰ①（基礎編）<br>22 未着品販売Ⅰ②（基礎編）<br>23 未着品販売Ⅰ③（基礎編）<br>24 未着品販売Ⅰ④（基礎編）<br>25 委託販売・受託販売Ⅰ①（基礎編）<br>26 委託販売・受託販売Ⅰ②（基礎編）<br>27 委託販売・受託販売Ⅰ③（基礎編）<br>28 委託販売・受託販売Ⅰ④（基礎編）<br>29 委託販売・受託販売Ⅰ⑤（基礎編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論基礎Ⅳ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会計基準の基礎を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 セール＆リースバック①（基礎編）<br>2 セール＆リースバック②（基礎編）<br>3 セール＆リースバック③（基礎編）<br>4 セール＆リースバック④（基礎編）<br>5 セール＆リースバック⑤（基礎編）<br>6 財務諸表等規則①（基礎編）<br>7 財務諸表等規則②（基礎編）<br>8 財務諸表等規則③（基礎編）<br>9 財務諸表等規則④（基礎編）<br>10 財務諸表等規則⑤（基礎編）<br>11 負債①（基礎編）<br>12 負債②（基礎編）<br>13 負債③（基礎編）<br>14 負債④（基礎編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務諸表論Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会計基準の基礎を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 純資産会計①（基礎編）<br>2 純資産会計②（基礎編）<br>3 純資産会計③（基礎編）<br>4 純資産会計④（基礎編）<br>5 純資産会計⑤（基礎編）<br>6 企業結合会計①（基礎編）<br>7 企業結合会計②（基礎編）<br>8 企業結合会計③（基礎編）<br>9 企業結合会計④（基礎編）<br>10 企業結合会計⑤（基礎編）<br>11 事業分離会計①（基礎編）<br>12 事業分離会計②（基礎編）<br>13 事業分離会計③（基礎編）<br>14 事業分離会計④（基礎編）<br>15 事業分離会計⑤（基礎編）<br>16 四半期財務諸表①（基礎編）<br>17 四半期財務諸表②（基礎編）<br>18 四半期財務諸表③（基礎編）<br>19 四半期財務諸表④（基礎編）<br>20 四半期財務諸表⑤（基礎編）<br>21 ヘッジ会計①（基礎編）<br>22 ヘッジ会計②（基礎編）<br>23 ヘッジ会計③（基礎編）<br>24 ヘッジ会計④（基礎編）<br>25 ヘッジ会計⑤（基礎編）<br>26 包括利益①（基礎編）<br>27 包括利益②（基礎編）<br>28 包括利益③（基礎編）<br>29 包括利益④（基礎編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 消費税法基礎Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 納税義務判定の特例を中心とした処理方法を学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 「消費税法」「租税特別措置法」の法律等の知識習得を目的とする |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編）<br>2 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編）<br>3 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整③（初級編）<br>4 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整④（初級編）<br>5 納税義務の免除の特例①（初級編）<br>6 納税義務の免除の特例②（初級編）<br>7 納税義務の免除の特例③（初級編）<br>8 納税義務の免除の特例④（初級編）<br>9 納税義務の免除の特例⑤（初級編）<br>10 納税義務の免除の特例⑥（初級編）<br>11 納税義務の免除の特例⑦（初級編）<br>12 納税義務の免除の特例⑧（初級編）<br>13 納税義務の免除の特例⑨（初級編）<br>14 納税義務の免除の特例⑩（初級編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 消費税法Ⅰ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） | |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 簡易課税制度を中心とした計算方法を学習する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 「消費税法」「租税特別措置法」に基づいた計算技術習得を目的とする | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算①（初級編） |
| | 2 | 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算②（初級編） |
| | 3 | 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算③（初級編） |
| | 4 | 合併があった場合の中間申告に係る納付税額の計算④（初級編） |
| | 5 | 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整①（初級編） |
| | 6 | 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整②（初級編） |
| | 7 | 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整③（初級編） |
| | 8 | 棚卸資産に係る仕入税額控除の調整④（初級編） |
| | 9 | 課税標準①（初級編） |
| | 10 | 課税標準②（初級編） |
| | 11 | 課税標準③（初級編） |
| | 12 | 課税標準④（初級編） |
| | 13 | 課税標準⑤（初級編） |
| | 14 | 課税標準⑥（初級編） |
| | 15 | 簡易課税制度①（初級編） |
| | 16 | 簡易課税制度②（初級編） |
| | 17 | 簡易課税制度③（初級編） |
| | 18 | 簡易課税制度④（初級編） |
| | 19 | 簡易課税制度⑤（初級編） |
| | 20 | 簡易課税制度⑥（初級編） |
| | 21 | 簡易課税制度⑦（初級編） |
| | 22 | 簡易課税制度⑧（初級編） |
| | 23 | 簡易課税制度⑨（初級編） |
| | 24 | 簡易課税制度⑩（初級編） |
| | 25 | 簡易課税制度⑪（初級編） |
| | 26 | 簡易課税制度⑫（初級編） |
| | 27 | 簡易課税制度⑬（初級編） |
| | 28 | 簡易課税制度⑭（初級編） |
| | 29 | 簡易課税制度⑮（初級編） |
| | 30 | 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 法人税法基礎Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | グループ法人税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 各項目の中級的な部分を学び、各体系の解法を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 資本等取引Ⅰ（中級編）<br>2 資本等取引Ⅱ（中級編）<br>3 交換差益Ⅰ（中級編）<br>4 交換差益Ⅱ（中級編）<br>5 別表五㈡Ⅰ（中級編）<br>6 別表五㈡Ⅱ（中級編）<br>7 リース取引Ⅰ（中級編）<br>8 リース取引Ⅱ（中級編）<br>9 繰延資産Ⅰ（中級編）<br>10 繰延資産Ⅱ（中級編）<br>11 確定決算型Ⅰ（中級編）<br>12 確定決算型Ⅱ（中級編）<br>13 グループ法人税制Ⅰ（中級編）<br>14 グループ法人税制Ⅱ（中級編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 法人税法Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 組織再編税制、適用除外事業者を中心とした法人税法の体系を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 各項目の中級的な部分を学び、各体系の解法を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 資産の評価損益Ⅰ（中級編）<br>2 資産の評価損益Ⅱ（中級編）<br>3 保険料Ⅰ（中級編）<br>4 保険料Ⅱ（中級編）<br>5 設立事業年度Ⅰ（中級編）<br>6 設立事業年度Ⅱ（中級編）<br>7 組織再編税制Ⅰ（中級編）<br>8 組織再編税制Ⅱ（中級編）<br>9 工事の請負Ⅰ（中級編）<br>10 工事の請負Ⅱ（中級編）<br>11 修正申告Ⅰ（中級編）<br>12 修正申告Ⅱ（中級編）<br>13 税効果会計Ⅰ（中級編）<br>14 税効果会計Ⅱ（中級編）<br>15 賃上げ･投資促進税制Ⅰ（中級編）<br>16 賃上げ･投資促進税制Ⅱ（中級編）<br>17 スピンオフ税制Ⅰ（中級編）<br>18 スピンオフ税制Ⅱ（中級編）<br>19 特定同族会社の特別税率Ⅰ（中級編）<br>20 特定同族会社の特別税率Ⅱ（中級編）<br>21 適用除外事業者Ⅰ（中級編）<br>22 適用除外事業者Ⅱ（中級編）<br>23 地方法人税Ⅰ（中級編）<br>24 地方法人税Ⅱ（中級編）<br>25 外国子会社配当Ⅰ（中級編）<br>26 外国子会社配当Ⅱ（中級編）<br>27 借地権等Ⅰ（中級編）<br>28 償還差損益Ⅰ（中級編）<br>29 未収還付税金Ⅰ（中級編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 相続税法基礎Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 取引相場のない株式⑥（基礎編）<br>2 取引相場のない株式⑦（基礎編）<br>3 取引相場のない株式⑧（基礎編）<br>4 取引相場のない株式⑨（基礎編）<br>5 取引相場のない株式⑩（基礎編）<br>6 取引相場のない株式⑪（基礎編）<br>7 取引相場のない株式⑫（基礎編）<br>8 取引相場のない株式⑬（基礎編）<br>9 利用区分が異なる建物の敷地のように供されている宅地等（基礎編）<br>10 相当の地代を受け取っている場合の貸宅地（基礎編）<br>11 相当の地代を支払っている場合の借地権（基礎編）<br>12 土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地（基礎編）<br>13 利用区分が異なる建物（基礎編）<br>14 建築中の家屋（基礎編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 相続税法Ⅰ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） | |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する | |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 相続税法に基づいた基礎的な問題を解き、答えを導き出す | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 不整形地（基礎編） |
| | 2 | 地積規模の大きな宅地（基礎編） |
| | 3 | がけ地等を有する宅地（基礎編） |
| | 4 | 旗竿状の宅地等（基礎編） |
| | 5 | 容積率の異なる宅地（基礎編） |
| | 6 | 都市計画道路予定地の区域内にある宅地（基礎編） |
| | 7 | 私道の用に供されている宅地（基礎編） |
| | 8 | セットバックを必要とする宅地（基礎編） |
| | 9 | 上場株式（権利落）（基礎編） |
| | 10 | 株式の割り当てを受ける権利（基礎編） |
| | 11 | 宅地等の評価単位（基礎編） |
| | 12 | 純農地、中間農地、純山林、中間山林（基礎編） |
| | 13 | 市街地周辺農地、市街地農地、市街地山林（基礎編） |
| | 14 | 立木、立木の評価減（基礎編） |
| | 15 | 配当期待権（基礎編） |
| | 16 | 贈与税が課税される場合（基礎編） |
| | 17 | 相続税が課税される場合（基礎編） |
| | 18 | 負担付遺贈・贈与（基礎編） |
| | 19 | 贈与税の非課税財産（基礎編） |
| | 20 | 直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎編） |
| | 21 | 契約者貸付金等がある場合の保険金（基礎編） |
| | 22 | 住宅取得等資金の贈与を受けた場合の相続時精算課税の特例（基礎編） |
| | 23 | 直系尊属から住宅取得等資金の贈与を受けた場合の贈与税の非課税（基礎編） |
| | 24 | 証券投資信託受益証券（基礎編） |
| | 25 | ゴルフ会員権（基礎編） |
| | 26 | 不動産投資信託証券（基礎編） |
| | 27 | 措法70の非課税（基礎編） |
| | 28 | 権利義務の承継（基礎編） |
| | 29 | 贈与税の配偶者控除（基礎編） |
| | 30 | 確認テスト |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 管理会計論基礎演習Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 記述式基礎問題（初級編）①<br>2 記述式基礎問題（初級編）②<br>3 記述式基礎問題（初級編）③<br>4 記述式基礎問題（初級編）④<br>5 記述式基礎問題（初級編）⑤<br>6 記述式基礎問題（初級編）⑥<br>7 記述式基礎問題（初級編）⑦<br>8 記述式基礎問題（初級編）⑧<br>9 記述式基礎問題（初級編）⑨<br>10 記述式基礎問題（初級編）⑩<br>11 記述式基礎問題（初級編）⑪<br>12 記述式基礎問題（初級編）⑫<br>13 記述式基礎問題（初級編）⑬<br>14 記述式基礎問題（初級編）⑭<br>15 記述式基礎問題（初級編）⑮ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務会計論基礎演習Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 記述式基礎問題（初級編）①<br>2 記述式基礎問題（初級編）②<br>3 記述式基礎問題（初級編）③<br>4 記述式基礎問題（初級編）④<br>5 記述式基礎問題（初級編）⑤<br>6 記述式基礎問題（初級編）⑥<br>7 記述式基礎問題（初級編）⑦<br>8 記述式基礎問題（初級編）⑧<br>9 記述式基礎問題（初級編）⑨<br>10 記述式基礎問題（初級編）⑩<br>11 記述式基礎問題（初級編）⑪<br>12 記述式基礎問題（初級編）⑫<br>13 記述式基礎問題（初級編）⑬<br>14 記述式基礎問題（初級編）⑭<br>15 記述式基礎問題（初級編）⑮<br>16 記述式基礎問題（初級編）⑯<br>17 記述式基礎問題（初級編）⑰<br>18 記述式基礎問題（初級編）⑱<br>19 記述式基礎問題（初級編）⑲<br>20 記述式基礎問題（初級編）⑳<br>21 記述式基礎問題（初級編）㉑<br>22 記述式基礎問題（初級編）㉒<br>23 記述式基礎問題（初級編）㉓<br>24 記述式基礎問題（初級編）㉔<br>25 記述式基礎問題（初級編）㉕<br>26 記述式基礎問題（初級編）㉖<br>27 記述式基礎問題（初級編）㉗<br>28 記述式基礎問題（初級編）㉘<br>29 記述式基礎問題（初級編）㉙<br>30 記述式基礎問題（初級編）㉚ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 企業法基礎演習Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 各規定の適用条件・範囲を正確に理解することを目的とする演習 |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 記述式基礎問題（初級編）①<br>2 記述式基礎問題（初級編）②<br>3 記述式基礎問題（初級編）③<br>4 記述式基礎問題（初級編）④<br>5 記述式基礎問題（初級編）⑤<br>6 記述式基礎問題（初級編）⑥<br>7 記述式基礎問題（初級編）⑦<br>8 記述式基礎問題（初級編）⑧<br>9 記述式基礎問題（初級編）⑨<br>10 記述式基礎問題（初級編）⑩<br>11 記述式基礎問題（初級編）⑪<br>12 記述式基礎問題（初級編）⑫<br>13 記述式基礎問題（初級編）⑬<br>14 記述式基礎問題（初級編）⑭<br>15 記述式基礎問題（初級編）⑮ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 監査論基礎演習Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 各規定の適用条件・範囲を正確に理解することを目的とする演習 |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 記述式基礎問題（初級編）①<br>2 記述式基礎問題（初級編）②<br>3 記述式基礎問題（初級編）③<br>4 記述式基礎問題（初級編）④<br>5 記述式基礎問題（初級編）⑤<br>6 記述式基礎問題（初級編）⑥<br>7 記述式基礎問題（初級編）⑦<br>8 記述式基礎問題（初級編）⑧<br>9 記述式基礎問題（初級編）⑨<br>10 記述式基礎問題（初級編）⑩<br>11 記述式基礎問題（初級編）⑪<br>12 記述式基礎問題（初級編）⑫<br>13 記述式基礎問題（初級編）⑬<br>14 記述式基礎問題（初級編）⑭<br>15 記述式基礎問題（初級編）⑮ |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 経営学基礎演習Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 記述式基礎問題（初級編）①<br>2 記述式基礎問題（初級編）②<br>3 記述式基礎問題（初級編）③<br>4 記述式基礎問題（初級編）④<br>5 記述式基礎問題（初級編）⑤<br>6 記述式基礎問題（初級編）⑥<br>7 記述式基礎問題（初級編）⑦<br>8 記述式基礎問題（初級編）⑧<br>9 記述式基礎問題（初級編）⑨<br>10 記述式基礎問題（初級編）⑩<br>11 記述式基礎問題（初級編）⑪<br>12 記述式基礎問題（初級編）⑫<br>13 記述式基礎問題（初級編）⑬<br>14 記述式基礎問題（初級編）⑭<br>15 記述式基礎問題（初級編）⑮ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 租税法基礎演習Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基礎的な計算力を高める |
| 達成目標 | 的確な解法で問題を解き、答えを導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 記述式基礎問題（初級編）①<br>2 記述式基礎問題（初級編）②<br>3 記述式基礎問題（初級編）③<br>4 記述式基礎問題（初級編）④<br>5 記述式基礎問題（初級編）⑤<br>6 記述式基礎問題（初級編）⑥<br>7 記述式基礎問題（初級編）⑦<br>8 記述式基礎問題（初級編）⑧<br>9 記述式基礎問題（初級編）⑨<br>10 記述式基礎問題（初級編）⑩<br>11 記述式基礎問題（初級編）⑪<br>12 記述式基礎問題（初級編）⑫<br>13 記述式基礎問題（初級編）⑬<br>14 記述式基礎問題（初級編）⑭<br>15 記述式基礎問題（初級編）⑮ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務会計論簿記入門Ⅳ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 商品売買から法人税等に関する計算と理論の基本的な知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基本的な知識定着を図る |
| 達成目標 | 商品売買から法人税等の基礎的な問題の解答を正確に導き出す |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 商品売買①（基礎問題演習）<br>2 商品売買②（基礎問題演習）<br>3 商品売買③（基礎問題演習）<br>4 棚卸資産①（基礎問題演習）<br>5 棚卸資産②（基礎問題演習）<br>6 棚卸資産③（基礎問題演習）<br>7 現金預金（基礎問題演習）<br>8 金銭債権①（基礎問題演習）<br>9 金銭債権②（基礎問題演習）<br>10 金銭債権③（基礎問題演習）<br>11 金銭債権④（基礎問題演習）<br>12 金銭債権⑤（基礎問題演習）<br>13 有価証券（基礎問題演習）<br>14 デリバティブ取引①（基礎問題演習）<br>15 デリバティブ取引②（基礎問題演習）<br>16 ヘッジ会計①（基礎問題演習）<br>17 ヘッジ会計①（基礎問題演習）<br>18 その他の金融商品（基礎問題演習）<br>19 有形固定資産①（基礎問題演習）<br>20 有形固定資産②（基礎問題演習）<br>21 有形固定資産③（基礎問題演習）<br>22 有形固定資産④（基礎問題演習）<br>23 有形固定資産⑤（基礎問題演習）<br>24 リース会計①（基礎問題演習）<br>25 リース会計②（基礎問題演習）<br>26 リース会計③（基礎問題演習）<br>27 リース会計④（基礎問題演習）<br>28 リース会計⑤（基礎問題演習）<br>29 リース会計⑥（基礎問題演習）<br>30 無形固定資産（基礎問題演習）<br>31 投資その他の資産（基礎問題演習）<br>32 減損会計①（基礎問題演習）<br>33 減損会計②（基礎問題演習）<br>34 繰延資産（基礎問題演習）<br>35 社債（基礎問題演習）<br>36 純資産会計①（基礎問題演習）<br>37 純資産会計②（基礎問題演習）<br>38 純資産会計③（基礎問題演習）<br>39 新株予約権①（基礎問題演習）<br>40 新株予約権②（基礎問題演習）<br>41 新株予約権③（基礎問題演習）<br>42 ストック・オプション①（基礎問題演習）<br>43 ストック・オプション②（基礎問題演習）<br>44 法人税等（基礎問題演習）<br>45 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務会計論財表入門Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 財務会計、概念フレームワーク及び資産評価に関する基礎的概念を体系的に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる復習講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 会社法会計、金融商品取引法会計、概念フレームワーク、資産評価に関する基礎的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 会計の意義・資本循環と財務諸表（基礎編）<br>2 財務会計と管理会計・会計責任説と利害調整機能（基礎編）<br>3 意思決定有用性説と情報提供機能・利益の性格と財務会計の機能（基礎編）<br>4 会社法会計・金融商品取引法会計（基礎編）<br>5 単体開示の簡素化・企業会計原則（基礎編）<br>6 企業会計基準・会計基準の国際的コンバージェンス（基礎編）<br>7 指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い・米国基準の任意適用（基礎編）<br>8 原則主義と細則主義・会計基準を設定するアプローチ（基礎編）<br>9 概念フレームワークの公表・財務報告の目的（基礎編）<br>10 会計情報の質的特性・財務諸表の構成要素（基礎編）<br>11 財務諸表における認識を測定・実現主義・発生主義（基礎編）<br>12 費用収益対応の原則・収支額基準・実現可能性基準（基礎編）<br>13 原価主義・時価主義（基礎編）<br>14 割引原価主義・費用配分の原則（基礎編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 管理会計論入門Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 管理会計の概要を知り、数学的な基礎知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、基本的な知識定着を図る |
| 達成目標 | 授業計画に従い、基礎問題の的確な解法を習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 費目別計算①（基礎問題演習）<br>2 費目別計算②（基礎問題演習）<br>3 費目別計算③（基礎問題演習）<br>4 費目別計算④（基礎問題演習）<br>5 部門別計算①（基礎問題演習）<br>6 部門別計算②（基礎問題演習）<br>7 部門別計算③（基礎問題演習）<br>8 部門別計算④（基礎問題演習）<br>9 部門別計算⑤（基礎問題演習）<br>10 部門別計算⑥（基礎問題演習）<br>11 個別原価計算①（基礎問題演習）<br>12 個別原価計算②（基礎問題演習）<br>13 個別原価計算③（基礎問題演習）<br>14 単純総合原価計算①（基礎問題演習）<br>15 単純総合原価計算②（基礎問題演習）<br>16 単純総合原価計算③（基礎問題演習）<br>17 工程別総合原価計算①（基礎問題演習）<br>18 工程別総合原価計算②（基礎問題演習）<br>19 工程別総合原価計算③（基礎問題演習）<br>20 工程別総合原価計算④（基礎問題演習）<br>21 工程別総合原価計算⑤（基礎問題演習）<br>22 工程別総合原価計算⑥（基礎問題演習）<br>23 工程別総合原価計算⑦（基礎問題演習）<br>24 組別総合原価計算①（基礎問題演習）<br>25 組別総合原価計算②（基礎問題演習）<br>26 等級別総合原価計算①（基礎問題演習）<br>27 等級別総合原価計算②（基礎問題演習）<br>28 連産品①（基礎問題演習）<br>29 連産品②（基礎問題演習）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　財務会計論VI |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 財務会計、概念フレームワーク及び資産評価の基礎概念を体系的に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る |
| 達成目標 | 会社法会計、金融商品取引法会計、概念フレームワーク、資産評価の基本的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 会計の意義（基礎編）<br>2 資本循環と財務諸表（基礎編）<br>3 財務会計と管理会計（基礎編）<br>4 会計責任説と利害調整機能（基礎編）<br>5 意思決定有用性説と情報提供機能（基礎編）<br>6 利益の性格と財務会計の機能（基礎編）<br>7 会社法会計（基礎編）<br>8 金融商品取引法会計（基礎編）<br>9 単体開示の簡素化（基礎編）<br>10 企業会計原則（基礎編）<br>11 企業会計基準（基礎編）<br>12 会計基準の国際的コンバージェンス（基礎編）<br>13 指定国際会計基準および修正国際基準の取扱い（基礎編）<br>14 米国基準の任意適用（基礎編）<br>15 原則主義と細則主義（基礎編）<br>16 会計基準を設定するアプローチ（基礎編）<br>17 概念フレームワークの公表（基礎編）<br>18 財務報告の目的（基礎編）<br>19 会計情報の質的特性（基礎編）<br>20 財務諸表の構成要素（基礎編）<br>21 財務諸表における認識を測定、実現主義（基礎編）<br>22 発生主義（基礎編）<br>23 費用収益対応の原則（基礎編）<br>24 収支額基準（基礎編）<br>25 実現可能性基準（基礎編）<br>26 原価主義（基礎編）<br>27 時価主義（基礎編）<br>28 割引原価主義（基礎編）<br>29 費用配分の原則（基礎編）<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　財務会計論Ⅶ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 講義 | |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） | |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 企業結合及び事業分離に関する基本的な会計処理を学ぶ | |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により、基礎の知識の定着を図る | |
| 達成目標 | 企業結合及び事業分離の基本的な知識の習得 | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 企業結合①（基礎編） |
| | 2 | 企業結合②（基礎編） |
| | 3 | 企業結合③（基礎編） |
| | 4 | 企業結合④（基礎編） |
| | 5 | 企業結合⑤（基礎編） |
| | 6 | 企業結合⑥（基礎編） |
| | 7 | 企業結合⑦（基礎編） |
| | 8 | 企業結合⑧（基礎編） |
| | 9 | 企業結合⑨（基礎編） |
| | 10 | 共通支配下の取引①（基礎編） |
| | 11 | 共通支配下の取引②（基礎編） |
| | 12 | 非支配株主との取引①（基礎編） |
| | 13 | 非支配株主との取引②（基礎編） |
| | 14 | 事業分離①（基礎編） |
| | 15 | 事業分離②（基礎編） |
| | 16 | 事業分離③（基礎編） |
| | 17 | 事業分離④（基礎編） |
| | 18 | 事業分離⑤（基礎編） |
| | 19 | 事業分離⑥（基礎編） |
| | 20 | 事業分離⑦（基礎編） |
| | 21 | 事業分離⑧（基礎編） |
| | 22 | 事業分離⑨（基礎編） |
| | 23 | 事業分離⑩（基礎編） |
| | 24 | 事業分離⑪（基礎編） |
| | 25 | 共同新設分割（基礎編） |
| | 26 | 結合当時企業の株主に係る会計処理①（基礎編） |
| | 27 | 結合当時企業の株主に係る会計処理②（基礎編） |
| | 28 | 共同支配企業の形成①（基礎編） |
| | 29 | 共同支配企業の形成②（基礎編） |
| | 30 | 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 公認会計士　財務会計論Ⅷ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 連結会計及びセグメント情報に関する基礎的な知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストを中心とした講義により概要を知る |
| 達成目標 | 連結会計及びセグメント情報に関する基礎的な知識の習得 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 連結会計①（基礎編）<br>2 連結会計②（基礎編）<br>3 連結会計③（基礎編）<br>4 連結会計④（基礎編）<br>5 連結会計⑤（基礎編）<br>6 連結会計⑥（基礎編）<br>7 連結会計⑦（基礎編）<br>8 連結会計⑧（基礎編）<br>9 連結会計⑨（基礎編）<br>10 連結会計⑩（基礎編）<br>11 連結会計⑪（基礎編）<br>12 連結会計⑫（基礎編）<br>13 セグメント情報①（基礎編）<br>14 セグメント情報②（基礎編）<br>15 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 総合演習 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習 |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 主要な時事の基本用語が理解でき、自ら時事に関する情報取集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる |
| 教科書 | オリジナルテキスト　詳細は開講時に説明します |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ガイダンス<br>2 個人研究①<br>3 レポート作成①<br>4 個人研究②<br>5 個人研究③<br>6 レポート作成②<br>7 個人研究④<br>8 個人研究⑤<br>9 レポート作成③<br>10 個人研究⑥<br>11 個人研究⑦<br>12 レポート作成④<br>13 個人研究⑧<br>14 個人研究⑨<br>15 レポート作成⑤ |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | ビジネスマナー |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | 企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 学校と職場の違い①<br>2 学校と職場の違い②<br>3 学校と職場の違い③<br>4 職場のマナー①<br>5 職場のマナー②<br>6 職場のマナー③<br>7 仕事の進め方①<br>8 仕事の進め方②<br>9 仕事の進め方③<br>10 報告、連絡、相談①<br>11 報告、連絡、相談②<br>12 報告、連絡、相談③<br>13 挨拶①<br>14 挨拶②<br>15 挨拶③<br>16 笑顔、お辞儀①<br>17 笑顔、お辞儀②<br>18 笑顔、お辞儀③<br>19 敬語①<br>20 敬語②<br>21 敬語③<br>22 応対の基本①<br>23 応対の基本②<br>24 応対の基本③<br>25 電話応対①<br>26 電話応対②<br>27 電話応対③<br>28 実技テスト①<br>29 実技テスト②<br>30 実技テスト③ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 実技テスト100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 接遇ビジネスマナー |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 接遇マナーとは<br>2 接遇の心構え<br>3 お茶の入れ方、出し方<br>4 お見送り<br>5 後片付け<br>6 接遇の流れ①<br>7 接遇の流れ②<br>8 演習①<br>9 演習②<br>10 演習③<br>11 演習④<br>12 演習⑤<br>13 演習⑥<br>14 実技テスト①<br>15 実技テスト② |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 実技テスト100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | パソコン実習Ⅰ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習 |
| 授業の進め方 | 反復練習により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | 基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 文書の作成と管理①<br>2 文書の作成と管理②<br>3 文書の作成と管理③<br>4 一般的なビジネス文書の作成①<br>5 一般的なビジネス文書の作成②<br>6 一般的なビジネス文書の作成③<br>7 シンプルなレポートや報告書の作成①<br>8 シンプルなレポートや報告書の作成②<br>9 シンプルなレポートや報告書の作成③<br>10 表、画像、図形を使った文書の作成（1）①<br>11 表、画像、図形を使った文書の作成（1）②<br>12 表、画像、図形を使った文書の作成（1）③<br>13 表、画像、図形を使った文書の作成（1）④<br>14 表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑤<br>15 表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑥ |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | パソコン実習Ⅱ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習 |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 文章の作成と管理①<br>2 文章の作成と管理②<br>3 文章の作成と管理③<br>4 表作成の基本操作①<br>5 表作成の基本操作②<br>6 表作成の基本操作③<br>7 表、画像、図形を使った文書の作成（2）①<br>8 表、画像、図形を使った文書の作成（2）②<br>9 表、画像、図形を使った文書の作成（2）③<br>10 見やすく使いやすい表にする編集操作①<br>11 見やすく使いやすい表にする編集操作②<br>12 見やすく使いやすい表にする編集操作③<br>13 見やすく使いやすい表にする編集操作④<br>14 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤<br>15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | パソコン実習Ⅲ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習<br>Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習 |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる<br>Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 文書の作成と管理①<br>2 文書の作成と管理②<br>3 文書の作成と管理③<br>4 数式・関数を活用した集計表の作成①<br>5 数式・関数を活用した集計表の作成②<br>6 数式・関数を活用した集計表の作成③<br>7 ワークシート間の集計①<br>8 ワークシート間の集計②<br>9 ワークシート間の集計③<br>10 グラフの基本①<br>11 グラフの基本②<br>12 グラフの基本③<br>13 目的に応じたグラフの作成と編集①<br>14 目的に応じたグラフの作成と編集②<br>15 目的に応じたグラフの作成と編集③ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | パソコン実習Ⅳ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習<br>Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習 |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる<br>Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 文書の作成と管理①<br>2 文書の作成と管理②<br>3 文書の作成と管理③<br>4 データベース機能の利用①<br>5 データベース機能の利用②<br>6 データベース機能の利用③<br>7 データの抽出①<br>8 データの抽出②<br>9 データの抽出③<br>10 ピボットテーブル①<br>11 ピボットテーブル②<br>12 ピボットテーブル③<br>13 マクロによる作業の自動化①<br>14 マクロによる作業の自動化②<br>15 マクロによる作業の自動化③ |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 経理実務 |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義（実務経験のある教員による授業科目です） |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義 |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができている |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 経理・総務の年間カリキュラム<br>2 小切手・手形の実務上のポイント ／ 入出金伝票と現金出納帳<br>3 当座預金出納帳と手形記入帳①<br>4 当座預金出納帳と手形記入帳②<br>5 問題演習①<br>6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①<br>7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②<br>8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③<br>9 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①<br>10 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②<br>11 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）<br>12 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）<br>13 個人住民税の徴収及び納付①<br>14 個人住民税の徴収及び納付② ／ 印紙税の基礎知識<br>15 問題演習②<br>16 受取利息の会計処理<br>17 消費税法の概要 ／ 消費税の会計処理<br>18 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①<br>19 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②<br>20 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）③<br>21 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）④<br>22 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）⑤<br>23 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）⑥<br>24 財務分析①<br>25 財務分析②<br>26 問題演習③<br>27 問題演習④<br>28 問題演習⑤<br>29 問題演習⑥<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 給与計算実務 |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義（実務経験のある教員による授業科目です） |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義 |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 所得税・住民税の納付税額を算定することができる<br>年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 所得税の基礎知識①<br>2 所得税の基礎知識②<br>3 所得税の基礎知識③<br>4 年末調整のしかた①<br>5 年末調整のしかた②<br>6 年末調整のしかた③<br>7 法定調書の流れ①<br>8 法定調書の流れ②<br>9 法定調書の流れ③<br>10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①<br>11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②<br>12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③<br>13 労働保険の概要及び会計処理①<br>14 労働保険の概要及び会計処理②<br>15 労働保険の概要及び会計処理③ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務会計 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義 |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 外貨建会計①<br>2 外貨建会計②<br>3 外貨建会計③<br>4 外貨建会計④<br>5 リース取引①<br>6 リース取引②<br>7 リース取引③<br>8 リース取引④<br>9 キャッシュ・フロー計算書①<br>10 キャッシュ・フロー計算書②<br>11 キャッシュ・フロー計算書③<br>12 キャッシュ・フロー計算書④<br>13 キャッシュ・フロー計算書⑤<br>14 キャッシュ・フロー計算書⑥<br>15 税効果会計①<br>16 税効果会計②<br>17 税効果会計③<br>18 税効果会計④<br>19 税効果会計⑤<br>20 税効果会計⑥<br>21 退職給付会計①<br>22 退職給付会計②<br>23 退職給付会計③<br>24 退職給付会計④<br>25 退職給付会計⑤<br>26 消費税法①<br>27 消費税法②<br>28 消費税法③<br>29 消費税法④<br>30 消費税法⑤<br>31 消費税法⑥<br>32 消費税法⑦<br>33 消費税法⑧<br>34 消費税法⑨<br>35 消費税法⑩<br>36 法人税法①<br>37 法人税法②<br>38 法人税法③<br>39 法人税法④<br>40 法人税法⑤<br>41 法人税法⑥<br>42 法人税法⑦<br>43 法人税法⑧<br>44 法人税法⑨<br>45 法人税法⑩ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 販売仕入管理 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義 |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 売上事務の流れ<br>2 納品書の作成と売上計上①<br>3 納品書の作成と売上計上②<br>4 請求書の作成と代金回収管理①<br>5 請求書の作成と代金回収管理②<br>6 請求書の作成と代金回収管理③<br>7 複数の得意先との取引①<br>8 複数の得意先との取引②<br>9 複数の得意先との取引③<br>10 仕入事務の流れ<br>11 仕入管理の記帳①<br>12 仕入管理の記帳②<br>13 仕入代金の支払いと買掛金管理①<br>14 仕入代金の支払いと買掛金管理②<br>15 仕入代金の支払いと買掛金管理③ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 事務職ビジネスマナー |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 電話応対、接遇に関する実践的な演習をし、習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 事務職の１日の流れ<br>2 電話応対応用①<br>3 電話応対応用②<br>4 電話応対応用③<br>5 接遇の流れ①<br>6 接遇の流れ②<br>7 接遇の流れ③<br>8 演習（ロールプレイング）①<br>9 演習（ロールプレイング）②<br>10 演習（ロールプレイング）③<br>11 演習（ロールプレイング）④<br>12 演習（ロールプレイング）⑤<br>13 演習（ロールプレイング）⑥<br>14 実技テスト①<br>15 実技テスト② |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 実技テスト100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 会計ソフト実習 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 会計ソフトを使って基礎的な入力処理を行い、試算表や決算書を作成するスキルを身につける実習 |
| 授業の進め方 | 反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る |
| 達成目標 | 会計ソフトを使って日常取引および決算手続きの入力操作を行い、決算書の作成ができる |
| 教科書 | 配布プリント・資料 |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 振替伝票の入力操作<br>2 入出金伝票の入力操作<br>3 仕訳帳の入力操作<br>4 売掛帳・買掛帳の入力操作<br>5 現金出納帳・預金出納帳の入力操作<br>6 勘定科目の追加登録<br>7 付箋機能<br>8 決算手続きの操作①<br>9 決算手続きの操作②<br>10 決算手続きの操作③<br>11 決算手続きの操作④<br>12 決算書の作成①<br>13 決算書の作成②<br>14 決算書の作成③<br>15 翌期繰越処理 |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 時事 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習 |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 主要な時事の基本用語が理解できている<br>自ら時事に関する情報取集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 用語知識①<br>2 用語知識②<br>3 用語知識③<br>4 用語知識④<br>6 考え方①<br>7 考え方②<br>8 考え方③<br>9 考え方④<br>10 発表①<br>11 発表②<br>12 発表③<br>13 個人研究①<br>14 個人研究②<br>15 個人研究③ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | マーケティング概要 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | マーケティングの必要性と目的を学習する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | マーケティングの知識を体系的に習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 顧客満足①<br>2 顧客満足②<br>3 マーケティングの必要性①<br>4 マーケティングの必要性②<br>5 情報収集と分析①<br>6 情報収集と分析②<br>7 流通チャネル①<br>8 流通チャネル②<br>9 プロモーション①<br>10 プロモーション②<br>11 財務知識①<br>12 財務知識②<br>13 事例研究①<br>14 事例研究②<br>15 事例研究③ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | マーケティング基礎 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 事例研究を通じてマーケティングを演習する |
| 授業の進め方 | 問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る |
| 達成目標 | マーケティングの具体的な手法を理解する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 店舗データの理解①<br>2 店舗データの理解②<br>3 マーケティングの流れ①<br>4 マーケティングの流れ②<br>5 売上構成分析①<br>6 売上構成分析②<br>7 来店客分析①<br>8 来店客分析②<br>9 商品分析①<br>10 商品分析②<br>11 費用分析①<br>12 費用分析②<br>13 課題抽出①<br>14 課題抽出②<br>15 アンケート調査分析①<br>16 アンケート調査分析②<br>17 企画作成①<br>18 企画作成②<br>19 企画作成③<br>20 企画作成④<br>21 様々なマーケティング①<br>22 様々なマーケティング②<br>23 プレ卒業研究①<br>24 プレ卒業研究②<br>25 プレ卒業研究③<br>26 プレ卒業研究④<br>27 プレ卒業研究⑤<br>28 プレ卒業研究⑥<br>29 プレ卒業研究⑦<br>30 プレ卒業研究⑧ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度 |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 販売職ビジネスマナー | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 実習 | |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） | |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 接客に関する実践的な学習をする | |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る | |
| 達成目標 | 接客に関する実践的な演習を通じて、習得する | |
| 教科書 | オリジナルテキスト | |
| 特記 | | |
| 授業計画 | 1 | 接客販売、営業マナーとは① |
| | 2 | 接客販売、営業マナーとは② |
| | 3 | 接客販売、営業マナーとは③ |
| | 4 | 接客販売の心得① |
| | 5 | 接客販売の心得② |
| | 6 | 接客販売の心得③ |
| | 7 | お客様の心理① |
| | 8 | お客様の心理② |
| | 9 | お客様の心理③ |
| | 10 | 店内接客の基本① |
| | 11 | 店内接客の基本② |
| | 12 | 店内接客の基本③ |
| | 13 | 演習① |
| | 14 | 演習② |
| | 15 | 演習③ |
| | 16 | 営業の心得① |
| | 17 | 営業の心得② |
| | 18 | 営業の心得③ |
| | 19 | 営業の心得④ |
| | 20 | 訪問の流れ① |
| | 21 | 訪問の流れ② |
| | 22 | 訪問の流れ③ |
| | 23 | 訪問の流れ④ |
| | 24 | 演習① |
| | 25 | 演習② |
| | 26 | 演習③ |
| | 27 | 商談の進め方① |
| | 28 | 商談の進め方② |
| | 29 | 商談の進め方③ |
| | 30 | 商談の進め方④ |
| | 31 | 商品説明① |
| | 32 | 商品説明② |
| | 33 | 商品説明③ |
| | 34 | 商品説明④ |
| | 35 | 商品説明⑤ |
| | 36 | 演習① |
| | 37 | 演習② |
| | 38 | 演習③ |
| | 39 | 演習④ |
| | 40 | 総合演習① |
| | 41 | 総合演習② |
| | 42 | 総合演習③ |
| | 43 | 実技テスト① |
| | 44 | 実技テスト② |
| | 45 | 実技テスト③ |
| 成績評価方法（試験実施方法） | 実技テスト100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | プレゼンテーション |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 企画から発表までの一連の流れ |
| 授業の進め方 | 各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る |
| 達成目標 | プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 プレゼンテーションとは何か<br>2 プレゼンテーションの種類<br>3 企画①<br>4 企画②<br>5 企画③<br>6 情報収集①<br>7 情報収集②<br>8 情報収集③<br>9 シナリオ作成①<br>10 シナリオ作成②<br>11 シナリオ作成③<br>12 コンテンツ作成①<br>13 コンテンツ作成②<br>14 話し方<br>15 発表 |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 卒業研究 |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | １８０時間（６単位） |
| 授業コマ数 | ９０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する |
| 授業の進め方 | 各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る |
| 達成目標 | マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 業界分析①<br>2 業界分析②<br>3 業界分析③<br>4 業界分析④<br>5 情報収集①<br>6 情報収集②<br>7 情報収集③<br>8 情報収集④<br>9 情報収集⑤<br>10 情報収集⑥<br>11 情報収集⑦<br>12 情報収集⑧<br>13 店舗分析①<br>14 店舗分析②<br>15 店舗分析③<br>16 店舗分析④<br>17 店舗分析⑤<br>18 店舗分析⑥<br>19 店舗分析⑦<br>20 店舗分析⑧<br>21 店舗見学①<br>22 店舗見学②<br>23 店舗見学③<br>24 店舗見学④<br>25 店舗見学⑤<br>26 店舗見学⑥<br>27 店舗見学⑦<br>28 店舗見学⑧<br>29 課題抽出①<br>30 課題抽出②<br>31 課題抽出③<br>32 課題抽出④<br>33 課題抽出⑤<br>34 課題抽出⑥<br>35 課題抽出⑦<br>36 課題抽出⑧<br>37 仮説①<br>38 仮説②<br>39 仮説③<br>40 仮説④<br>41 仮説⑤<br>42 仮説⑥<br>43 仮説⑦<br>44 仮説⑧<br>45 調査・検証①<br>46 調査・検証②<br>47 調査・検証③<br>48 調査・検証④<br>49 調査・検証⑤<br>50 調査・検証⑥<br>51 調査・検証⑦<br>52 調査・検証⑧<br>53 調査・検証⑨<br>54 調査・検証⑩<br>55 企画案作成①<br>56 企画案作成②<br>57 企画案作成③<br>58 企画案作成④<br>59 企画案作成⑤<br>60 企画案作成⑥<br>61 企画案作成⑦<br>62 企画案作成⑧<br>63 企画案作成⑨<br>64 企画案作成⑩<br>65 中間発表①<br>66 中間発表②<br>67 中間発表③<br>68 中間発表④<br>69 中間発表⑤<br>70 再検証①<br>71 再検証②<br>72 再検証③<br>73 再検証④<br>74 再検証⑤<br>75 再検証⑥<br>76 再検証⑦<br>77 再検証⑧<br>78 再検証⑨<br>79 再検証⑩<br>80 最終発表①<br>81 最終発表②<br>82 最終発表③<br>83 最終発表④<br>84 最終発表⑤<br>85 代表によるコンテストの実施①<br>86 代表によるコンテストの実施②<br>87 代表によるコンテストの実施③<br>88 代表によるコンテストの実施④<br>89 代表によるコンテストの実施⑤<br>90 代表によるコンテストの実施⑥ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 実務演習Ⅱ |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習（実務経験のある教員による授業科目です） |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 実務で必要となる消費税法を体系的に学び、税務署への書類作成などの税務処理ができる知識、実務での応用的税務処理を習得するための講義 |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 会計時の消費税の取扱い、税務署への書類作成などの税務処理ができる知識、実務での応用的税務処理など実務に必要な基本的知識を習得する |
| 教科書 | オリジナル教材 |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 消費税の概要<br>2 納税義務者①<br>3 納税義務者②<br>4 課税の対象①<br>5 課税の対象②<br>6 課税の対象③<br>7 非課税①<br>8 非課税②<br>9 非課税③<br>10 免除①<br>11 免除②<br>12 資産の譲渡等の時期<br>13 課税標準と税率<br>14 軽減税率<br>15 課税標準額に対する消費税額の調整<br>16 仕入れに係る消費税額の控除①<br>17 仕入れに係る消費税額の控除②<br>18 仕入れに係る消費税額の控除③<br>19 仕入れに係る消費税額の控除④<br>20 仕入れに係る消費税額の調整<br>21 簡易課税制度（中小事業者の仕入れに係る消費税額の控除の特例）<br>22 課税期間<br>23 申告と納付①<br>24 申告と納付②<br>25 申告と納付③<br>26 国境を越えた役務の提供に対する課税の特例<br>27 国、地方公共団体等の特例<br>28 事業の継承①<br>29 事業の継承②<br>30 信託<br>31 総額表示の義務<br>32 経理処理<br>33 地方消費税<br>34 消費税法改正論点の整理<br>35 総合演習①<br>36 総合演習②<br>37 総合演習③<br>38 総合演習④<br>39 総合演習⑤<br>40 総合演習⑥<br>41 総合演習⑦<br>42 総合演習⑧<br>43 総合演習⑨<br>44 総合演習⑩<br>45 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 企業実習・就職研修 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 実習 |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 正社員になるために内定先で必要な知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | 有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ |
| 達成目標 | 本入社までにスムーズに働けるようになること |
| 教科書 | |
| 特記 | 就職先の社員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ |
| 授業計画 | 1 企業実習・就職研修1<br>2 企業実習・就職研修2<br>3 企業実習・就職研修3<br>4 企業実習・就職研修4<br>5 企業実習・就職研修5<br>6 企業実習・就職研修6<br>7 企業実習・就職研修7<br>8 企業実習・就職研修8<br>9 企業実習・就職研修9<br>10 企業実習・就職研修10<br>11 企業実習・就職研修11<br>12 企業実習・就職研修12<br>13 企業実習・就職研修13<br>14 企業実習・就職研修14<br>15 企業実習・就職研修15<br>16 企業実習・就職研修16<br>17 企業実習・就職研修17<br>18 企業実習・就職研修18<br>19 企業実習・就職研修19<br>20 企業実習・就職研修20<br>21 企業実習・就職研修21<br>22 企業実習・就職研修22<br>23 企業実習・就職研修23<br>24 企業実習・就職研修24<br>25 企業実習・就職研修25<br>26 企業実習・就職研修26<br>27 企業実習・就職研修27<br>28 企業実習・就職研修28<br>29 企業実習・就職研修29<br>30 企業実習・就職研修30<br>31 企業実習・就職研修31<br>32 企業実習・就職研修32<br>33 企業実習・就職研修33<br>34 企業実習・就職研修34<br>35 企業実習・就職研修35<br>36 企業実習・就職研修36<br>37 企業実習・就職研修37<br>38 企業実習・就職研修38<br>39 企業実習・就職研修39<br>40 企業実習・就職研修40<br>41 企業実習・就職研修41<br>42 企業実習・就職研修42<br>43 企業実習・就職研修43<br>44 企業実習・就職研修44<br>45 企業実習・就職研修45<br>46 企業実習・就職研修46<br>47 企業実習・就職研修47<br>48 企業実習・就職研修48<br>49 企業実習・就職研修49<br>50 企業実習・就職研修50<br>51 企業実習・就職研修51<br>52 企業実習・就職研修52<br>53 企業実習・就職研修53<br>54 企業実習・就職研修54<br>55 企業実習・就職研修55<br>56 企業実習・就職研修56<br>57 企業実習・就職研修57<br>58 企業実習・就職研修58<br>59 企業実習・就職研修59<br>60 企業実習・就職研修60 |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 企業評価と日誌、取り組む姿勢により評価する。 |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 企業実習・就職研修Ⅱ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 実習 | |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） | |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 正社員になるために内定先で必要な知識を学ぶ | |
| 授業の進め方 | 有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ | |
| 達成目標 | 本入社までにスムーズに働けるようになること | |
| 教科書 | | |
| 特記 | 就職先の社員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ | |
| 授業計画 | 1 | 企業実習・就職研修1 |
| | 2 | 企業実習・就職研修2 |
| | 3 | 企業実習・就職研修3 |
| | 4 | 企業実習・就職研修4 |
| | 5 | 企業実習・就職研修5 |
| | 6 | 企業実習・就職研修6 |
| | 7 | 企業実習・就職研修7 |
| | 8 | 企業実習・就職研修8 |
| | 9 | 企業実習・就職研修9 |
| | 10 | 企業実習・就職研修10 |
| | 11 | 企業実習・就職研修11 |
| | 12 | 企業実習・就職研修12 |
| | 13 | 企業実習・就職研修13 |
| | 14 | 企業実習・就職研修14 |
| | 15 | 企業実習・就職研修15 |
| | 16 | 企業実習・就職研修16 |
| | 17 | 企業実習・就職研修17 |
| | 18 | 企業実習・就職研修18 |
| | 19 | 企業実習・就職研修19 |
| | 20 | 企業実習・就職研修20 |
| | 21 | 企業実習・就職研修21 |
| | 22 | 企業実習・就職研修22 |
| | 23 | 企業実習・就職研修23 |
| | 24 | 企業実習・就職研修24 |
| | 25 | 企業実習・就職研修25 |
| | 26 | 企業実習・就職研修26 |
| | 27 | 企業実習・就職研修27 |
| | 28 | 企業実習・就職研修28 |
| | 29 | 企業実習・就職研修29 |
| | 30 | 企業実習・就職研修30 |
| | 31 | 企業実習・就職研修31 |
| | 32 | 企業実習・就職研修32 |
| | 33 | 企業実習・就職研修33 |
| | 34 | 企業実習・就職研修34 |
| | 35 | 企業実習・就職研修35 |
| | 36 | 企業実習・就職研修36 |
| | 37 | 企業実習・就職研修37 |
| | 38 | 企業実習・就職研修38 |
| | 39 | 企業実習・就職研修39 |
| | 40 | 企業実習・就職研修40 |
| | 41 | 企業実習・就職研修41 |
| | 42 | 企業実習・就職研修42 |
| | 43 | 企業実習・就職研修43 |
| | 44 | 企業実習・就職研修44 |
| | 45 | 企業実習・就職研修45 |
| | 46 | 企業実習・就職研修46 |
| | 47 | 企業実習・就職研修47 |
| | 48 | 企業実習・就職研修48 |
| | 49 | 企業実習・就職研修49 |
| | 50 | 企業実習・就職研修50 |
| | 51 | 企業実習・就職研修51 |
| | 52 | 企業実習・就職研修52 |
| | 53 | 企業実習・就職研修53 |
| | 54 | 企業実習・就職研修54 |
| | 55 | 企業実習・就職研修55 |
| | 56 | 企業実習・就職研修56 |
| | 57 | 企業実習・就職研修57 |
| | 58 | 企業実習・就職研修58 |
| | 59 | 企業実習・就職研修59 |
| | 60 | 企業実習・就職研修60 |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 企業評価と日誌、取り組む姿勢により評価する。 | |
| 備考 | | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 企業実習・就職研修Ⅲ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 実習 | |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） | |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 正社員になるために内定先で必要な知識を学ぶ | |
| 授業の進め方 | 有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ | |
| 達成目標 | 本入社までにスムーズに働けるようになること | |
| 教科書 | | |
| 特記 | 就職先の社員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ | |
| 授業計画 | 1 | 企業実習･就職研修1 |
| | 2 | 企業実習･就職研修2 |
| | 3 | 企業実習･就職研修3 |
| | 4 | 企業実習･就職研修4 |
| | 5 | 企業実習･就職研修5 |
| | 6 | 企業実習･就職研修6 |
| | 7 | 企業実習･就職研修7 |
| | 8 | 企業実習･就職研修8 |
| | 9 | 企業実習･就職研修9 |
| | 10 | 企業実習･就職研修10 |
| | 11 | 企業実習･就職研修11 |
| | 12 | 企業実習･就職研修12 |
| | 13 | 企業実習･就職研修13 |
| | 14 | 企業実習･就職研修14 |
| | 15 | 企業実習･就職研修15 |
| | 16 | 企業実習･就職研修16 |
| | 17 | 企業実習･就職研修17 |
| | 18 | 企業実習･就職研修18 |
| | 19 | 企業実習･就職研修19 |
| | 20 | 企業実習･就職研修20 |
| | 21 | 企業実習･就職研修21 |
| | 22 | 企業実習･就職研修22 |
| | 23 | 企業実習･就職研修23 |
| | 24 | 企業実習･就職研修24 |
| | 25 | 企業実習･就職研修25 |
| | 26 | 企業実習･就職研修26 |
| | 27 | 企業実習･就職研修27 |
| | 28 | 企業実習･就職研修28 |
| | 29 | 企業実習･就職研修29 |
| | 30 | 企業実習･就職研修30 |
| | 31 | 企業実習･就職研修31 |
| | 32 | 企業実習･就職研修32 |
| | 33 | 企業実習･就職研修33 |
| | 34 | 企業実習･就職研修34 |
| | 35 | 企業実習･就職研修35 |
| | 36 | 企業実習･就職研修36 |
| | 37 | 企業実習･就職研修37 |
| | 38 | 企業実習･就職研修38 |
| | 39 | 企業実習･就職研修39 |
| | 40 | 企業実習･就職研修40 |
| | 41 | 企業実習･就職研修41 |
| | 42 | 企業実習･就職研修42 |
| | 43 | 企業実習･就職研修43 |
| | 44 | 企業実習･就職研修44 |
| | 45 | 企業実習･就職研修45 |
| | 46 | 企業実習･就職研修46 |
| | 47 | 企業実習･就職研修47 |
| | 48 | 企業実習･就職研修48 |
| | 49 | 企業実習･就職研修49 |
| | 50 | 企業実習･就職研修50 |
| | 51 | 企業実習･就職研修51 |
| | 52 | 企業実習･就職研修52 |
| | 53 | 企業実習･就職研修53 |
| | 54 | 企業実習･就職研修54 |
| | 55 | 企業実習･就職研修55 |
| | 56 | 企業実習･就職研修56 |
| | 57 | 企業実習･就職研修57 |
| | 58 | 企業実習･就職研修58 |
| | 59 | 企業実習･就職研修59 |
| | 60 | 企業実習･就職研修60 |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 企業評価と日誌、取り組む姿勢により評価する。 | |
| 備考 | | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 | |
|---|---|---|
| 授業科目 | 企業実習・就職研修Ⅳ | |
| 実務家教員 | | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 | |
| 履修年次 | ２年次 | |
| 開講学期 | 後期 | |
| 科目区分 | 選択必修 | |
| 授業方法 | 実習 | |
| 授業時間 | １２０時間（４単位） | |
| 授業コマ数 | ６０コマ（１コマ９０分） | |
| 授業概要 | 正社員になるために内定先で必要な知識を学ぶ | |
| 授業の進め方 | 有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ | |
| 達成目標 | 本入社までにスムーズに働けるようになること | |
| 教科書 | | |
| 特記 | 就職先の社員から入社後に必要な知識、技能を学ぶ | |
| 授業計画 | 1 | 企業実習・就職研修1 |
| | 2 | 企業実習・就職研修2 |
| | 3 | 企業実習・就職研修3 |
| | 4 | 企業実習・就職研修4 |
| | 5 | 企業実習・就職研修5 |
| | 6 | 企業実習・就職研修6 |
| | 7 | 企業実習・就職研修7 |
| | 8 | 企業実習・就職研修8 |
| | 9 | 企業実習・就職研修9 |
| | 10 | 企業実習・就職研修10 |
| | 11 | 企業実習・就職研修11 |
| | 12 | 企業実習・就職研修12 |
| | 13 | 企業実習・就職研修13 |
| | 14 | 企業実習・就職研修14 |
| | 15 | 企業実習・就職研修15 |
| | 16 | 企業実習・就職研修16 |
| | 17 | 企業実習・就職研修17 |
| | 18 | 企業実習・就職研修18 |
| | 19 | 企業実習・就職研修19 |
| | 20 | 企業実習・就職研修20 |
| | 21 | 企業実習・就職研修21 |
| | 22 | 企業実習・就職研修22 |
| | 23 | 企業実習・就職研修23 |
| | 24 | 企業実習・就職研修24 |
| | 25 | 企業実習・就職研修25 |
| | 26 | 企業実習・就職研修26 |
| | 27 | 企業実習・就職研修27 |
| | 28 | 企業実習・就職研修28 |
| | 29 | 企業実習・就職研修29 |
| | 30 | 企業実習・就職研修30 |
| | 31 | 企業実習・就職研修31 |
| | 32 | 企業実習・就職研修32 |
| | 33 | 企業実習・就職研修33 |
| | 34 | 企業実習・就職研修34 |
| | 35 | 企業実習・就職研修35 |
| | 36 | 企業実習・就職研修36 |
| | 37 | 企業実習・就職研修37 |
| | 38 | 企業実習・就職研修38 |
| | 39 | 企業実習・就職研修39 |
| | 40 | 企業実習・就職研修40 |
| | 41 | 企業実習・就職研修41 |
| | 42 | 企業実習・就職研修42 |
| | 43 | 企業実習・就職研修43 |
| | 44 | 企業実習・就職研修44 |
| | 45 | 企業実習・就職研修45 |
| | 46 | 企業実習・就職研修46 |
| | 47 | 企業実習・就職研修47 |
| | 48 | 企業実習・就職研修48 |
| | 49 | 企業実習・就職研修49 |
| | 50 | 企業実習・就職研修50 |
| | 51 | 企業実習・就職研修51 |
| | 52 | 企業実習・就職研修52 |
| | 53 | 企業実習・就職研修53 |
| | 54 | 企業実習・就職研修54 |
| | 55 | 企業実習・就職研修55 |
| | 56 | 企業実習・就職研修56 |
| | 57 | 企業実習・就職研修57 |
| | 58 | 企業実習・就職研修58 |
| | 59 | 企業実習・就職研修59 |
| | 60 | 企業実習・就職研修60 |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 企業評価と日誌、取り組む姿勢により評価する。 | |
| 備考 | | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 給与計算演習 |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義（実務経験のある教員による授業科目です） |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義 |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 所得税・住民税の納付税額を算定することができる<br>年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 所得税の基礎知識①<br>2 所得税の基礎知識②<br>3 所得税の基礎知識③<br>4 所得税の基礎知識④<br>5 所得税の基礎知識⑤<br>6 問題演習①<br>7 問題演習②<br>8 年末調整のしかた①<br>9 年末調整のしかた②<br>10 年末調整のしかた③<br>11 年末調整のしかた④<br>12 年末調整のしかた⑤<br>13 年末調整のしかた⑥<br>14 問題演習③<br>15 問題演習④<br>16 問題演習⑤<br>17 法定調書の流れ①<br>18 法定調書の流れ②<br>19 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出<br>20 問題演習⑥<br>21 問題演習⑦<br>22 労働保険の概要及び会計処理①<br>23 労働保険の概要及び会計処理②<br>24 労働保険の概要及び会計処理③<br>25 問題演習⑧<br>26 問題演習⑨<br>27 問題演習⑩<br>28 問題演習⑪<br>29 問題演習⑫<br>30 確認テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100％　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 事務職ビジネスマナー基礎 |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 事務職に特化したビジネス電話応対に関する実践的な学習をする |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 電話応対に関する実践的な演習をし習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 電話応対応用①（伝言①）<br>2 電話応対応用②（道案内）<br>3 電話応対応用③（伝言②）<br>4 電話応対応用④（問い合わせ）<br>5 電話応対応用⑤（伝言③）<br>6 電話応対応用⑥（内線電話）<br>7 電話応対応用⑦（伝言④）<br>8 電話応対応用⑧（クレーム対応）<br>9 演習（ロールプレイング）①<br>10 演習（ロールプレイング）②<br>11 演習（ロールプレイング）③<br>12 演習（ロールプレイング）④<br>13 演習（ロールプレイング）⑤<br>14 実技テスト①<br>15 実技テスト② |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 実技テスト100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 事務職ビジネスマナー応用 |
| 実務家教員 | ○ |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 電話対応、接遇に関する実践的な学習をする |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 電話応対、接遇に関する総合的な演習により完成度を高める |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 接遇応用の流れ<br>2 接遇応用（お茶の入れ方）①<br>3 接遇応用（お茶の入れ方）②<br>4 接遇応用演習（ロールプレイング）①<br>5 接遇応用演習（ロールプレイング）②<br>6 接遇応用演習（ロールプレイング）③<br>7 接遇応用演習（ロールプレイング）④<br>8 接遇応用演習（ロールプレイング）⑤<br>9 接遇応用演習（ロールプレイング）⑥<br>10 接遇応用演習（ロールプレイング）⑦<br>11 接遇応用演習（ロールプレイング）⑧<br>12 オフィスワーク演習①<br>13 オフィスワーク演習②<br>14 実技テスト①<br>15 実技テスト② |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 実技テスト100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 財務会計演習 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ９０時間（３単位） |
| 授業コマ数 | ４５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度の理解を深めるためとともに税務の知識を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 財務会計及び税務処理の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 消費税法①<br>2 消費税法②<br>3 消費税法③<br>4 消費税法④<br>5 消費税法⑤<br>6 消費税法⑥<br>7 消費税法⑦<br>8 消費税法⑧<br>9 法人税法①<br>10 法人税法②<br>11 法人税法③<br>12 法人税法④<br>13 法人税法⑤<br>14 法人税法⑥<br>15 法人税法⑦<br>16 法人税法⑧<br>17 問題演習①<br>18 問題演習②<br>19 問題演習③<br>20 確認テストⅠ<br>21 外貨建会計①<br>22 外貨建会計②<br>23 外貨建会計③<br>24 リース取引①<br>25 リース取引②<br>26 リース取引③<br>27 税効果会計①<br>28 税効果会計②<br>29 税効果会計③<br>30 退職給付会計①<br>31 退職給付会計②<br>32 退職給付会計③<br>33 キャッシュ・フロー計算書①<br>34 キャッシュ・フロー計算書②<br>35 キャッシュ・フロー計算書③<br>36 問題演習④<br>37 問題演習⑤<br>38 問題演習⑥<br>39 確認テストⅡ<br>40 会計ソフト演習①（伝票及び帳簿入力操作）<br>41 会計ソフト演習②（勘定科目の追加登録・付箋機能）<br>42 会計ソフト演習③（決算手続き操作）<br>43 会計ソフト演習④（決算書の作成①）<br>44 会計ソフト演習⑤（決算書の作成②）<br>45 確認テストⅢ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 確認テスト100%　科目習熟度を測定するテスト |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 職種別時事 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 現代社会における主要な時事についての基本理解と、時事に対する自分の考えや意見を持ち、他者との共有を学ぶ |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」「身に付く」「伝える」へとステップアップを図る |
| 達成目標 | 主要な時事の内容が理解できている<br>自ら時事に関する情報取集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 時事研究の目的<br>2 個人研究<br>3 グループ研究①<br>4 グループ研究②<br>6 グループ研究③<br>7 グループ研究④<br>8 グループ研究⑤<br>9 グループ研究⑥<br>10 グループ発表・討論①<br>11 グループ発表・討論②<br>12 グループ発表・討論③<br>13 グループ発表・討論④<br>14 グループ発表・討論⑤<br>15 振り返り |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | プレゼンテーション基礎 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 企画から発表までの一連の流れ |
| 授業の進め方 | 各種資料による講義とプレゼンテーションの実践を通じ、専門的な知識と思考の定着を図る |
| 達成目標 | プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習 |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 プレゼンテーションとは何か①<br>2 企画①（個別指導）<br>3 企画②（個別指導）<br>4 企画②（個別指導）<br>5 プレゼンテーションとは何か②<br>6 シナリオ作成①（個別指導）<br>7 シナリオ作成②（個別指導）<br>8 シナリオ作成③（個別指導）<br>9 コンテンツ作成①（個別指導）<br>10 コンテンツ作成②（個別指導）<br>11 コンテンツ作成③（個別指導）<br>12 発表①<br>13 発表②<br>14 発表③<br>15 発表④ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | ビジネス教養Ｖ |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 美しく正しい字を筆ペンを用いた演習を通じて学び実践する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | 様々なビジネスシーンで美しく正しい字を書けるようにする |
| 教科書 | テキスト及び参考書　詳細は開講時に説明します |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ひらがな.･カタカナの練習<br>2 漢字の基本<br>3 語句練習①<br>4 語句練習②（苗字･名前）<br>5 語句練習③（地名･住所）<br>6 日常の実例（封筒･宛名書き）練習<br>7 日常の実例（年賀状･寒中見舞いの書き方）練習<br>8 日常の実例（結婚式の招待状の書き方）練習<br>9 日常の実例（熨斗袋の書き方）練習<br>10 ビジネスシーンに合わせた素材の選び方<br>11 手紙の基本形式①（便箋）<br>12 手紙の基本形式②（一筆箋）<br>13 手紙の基本形式③（メッセージカード）<br>14 演習課題<br>15 演習課題 |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | ネットビジネス総合 |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | ネットショップ事務の共通知識、制作・運用に必要な知識を理解する |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | eコマース業界における全体像の基本的な知識を身に付ける |
| 教科書 | 改訂版ネットショップ検定公式テキスト<br>ネットショップ実務士レベル1対応<br>出版社：日本能率協会マネジメントセンター |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 ネットショップのビジネス環境<br>2 小売業の分類と特徴<br>3 ネットショップの位置づけ<br>4 ネットショップの動向<br>5 ネットショップの出店形態と特徴<br>6 ネットショップ実務の共通知識<br>7 ネットショップ事業の準備<br>8 ネットショップの制作①<br>9 ネットショップの制作②<br>10 ネットショップの制作③<br>11 ネットショップのプロモーション<br>12 ネットショップの運用①<br>13 ネットショップの運用②<br>14 社会人としての基礎知識①<br>15 社会人としての基礎知識② |
| 成績評価方法<br>(試験実施方法) | 平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | プレゼンテーション実践 |
| 会計システム | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | ネットビジネスの知識を活用したプレゼンテーション資料の作成・発表 |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る |
| 達成目標 | プレゼンテーションの準備、資料作成、発表ができることを目標とする |
| 教科書 | PowerPoint2016　クイックマスター<br>出版社：株式会社ウィネット |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 PowerPointの基本操作①<br>2 PowerPointの基本操作②<br>3 プレゼンテーションの作成①<br>4 プレゼンテーションの作成②<br>5 文字やスライドの編集①<br>6 文字やスライドの編集②<br>7 オブジェクトの作成①<br>8 オブジェクトの作成②<br>9 表やグラフの作成①<br>10 表やグラフの作成②<br>11 表示効果とハイパーリンク①<br>12 表示効果とハイパーリンク②<br>13 スライドショーの実行①<br>14 スライドショーの実行②<br>15 プレゼンテーションのカスタマイズ①<br>16 プレゼンテーションのカスタマイズ②<br>17 SmartArtの活用<br>18 オブジェクトや表、グラフの活用①<br>19 オブジェクトや表、グラフの活用②<br>20 プレゼンテーションの動作の設定①<br>21 プレゼンテーションの動作の設定②<br>22 総合学習①<br>23 総合学習②<br>24 総合学習③<br>25 総合学習④<br>26 総合学習⑤<br>27 プレゼンテーションの実践①<br>28 プレゼンテーションの実践②<br>29 プレゼンテーションの実践③<br>30 プレゼンテーションの実践④ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 平常点100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 営業職ビジネスマナー |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 営業職に関する実践的な学習をする |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 営業職に関する実践的な演習を通じて習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 営業職のマナーとは①<br>2 営業職のマナーとは②<br>3 訪問のマナー①<br>4 演習①<br>5 訪問のマナー②<br>6 訪問のマナー③<br>7 演習②<br>8 名刺交換<br>9 演習③<br>10 商談の進め方<br>11 総合実技演習①<br>12 総合実技演習②<br>13 総合実技演習③<br>14 総合実技演習④<br>15 実技テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 実技テスト100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 販売･接客職ビジネスマナー |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ３０時間（１単位） |
| 授業コマ数 | １５コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 販売･接客に関する実践的な学習をする |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 販売･接客に関する実践的な演習を通じて習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 接客販売のプロとして①<br>2 接客販売のプロとして②<br>3 演習①<br>4 店内接客の基本①<br>5 店内接客の基本②<br>6 演習②<br>7 電話での問い合わせ①<br>8 電話での問い合わせ②<br>9 演習③<br>10 演習④<br>11 総合実技演習①<br>12 総合実技演習②<br>13 総合実技演習③<br>14 総合実技演習④<br>15 実技テスト |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 実技テスト100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

# 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 営業･販売職共通ビジネスマナー |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 後期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 演習 |
| 授業時間 | ６０時間（２単位） |
| 授業コマ数 | ３０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 営業･販売･接客に関する実践的な学習をする |
| 授業の進め方 | テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る |
| 達成目標 | 営業･販売･接客に関する実践的な演習を通じて習得する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 説明内容に関する知識①<br>2 説明内容に関する知識②<br>3 商品説明の準備①<br>4 商品説明の準備②<br>5 商品説明の準備③<br>6 商品説明の準備④<br>7 商品説明の準備⑤<br>8 商品説明の準備⑥<br>9 演習①<br>10 名刺交換①<br>11 名刺交換②<br>12 演習②<br>13 好感を持たれる商品説明<br>14 演習③<br>15 演習④<br>16 総合実技演習①<br>17 総合実技演習②<br>18 総合実技演習③<br>19 総合実技演習④<br>20 総合実技演習⑤<br>21 総合実技演習⑥<br>22 実技テスト①<br>23 実技テスト②<br>24 実技テスト③<br>25 クレーム対応①<br>26 クレーム対応②<br>27 社会人マナー①<br>28 社会人マナー②<br>29 社会人マナー③<br>30 社会人マナー④ |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 実技テスト100％　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |

## 授業概要（シラバス）

| タイトル | 内容 |
|---|---|
| 授業科目 | 総合演習（就職対策） |
| 実務家教員 | |
| 学部・学科 | 会計システム２年制学科 |
| 履修年次 | ２年次 |
| 開講学期 | 前期 |
| 科目区分 | 選択必修 |
| 授業方法 | 講義及び演習 |
| 授業時間 | １８０時間（６単位） |
| 授業コマ数 | ９０コマ（１コマ９０分） |
| 授業概要 | 就職試験において求められる対策を総合的に学ぶ |
| 授業の進め方 | テキストによる講義と実践により面接力などを向上させる |
| 達成目標 | 就職対策を総合的に演習し、面接力などが向上する |
| 教科書 | オリジナルテキスト |
| 特記 | |
| 授業計画 | 1 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）1<br>2 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）2<br>3 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）3<br>4 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）4<br>5 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）5<br>6 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）6<br>7 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）7<br>8 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）8<br>9 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）9<br>10 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）10<br>11 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）11<br>12 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）12<br>13 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）13<br>14 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）14<br>15 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）15<br>16 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）16<br>17 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）17<br>18 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）18<br>19 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）19<br>20 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）20<br>21 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）21<br>22 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）22<br>23 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）23<br>24 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）24<br>25 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）25<br>26 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）26<br>27 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）27<br>28 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）28<br>29 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）29<br>30 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）30<br>31 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）31<br>32 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）32<br>33 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）33<br>34 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）34<br>35 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）35<br>36 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）36<br>37 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）37<br>38 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）38<br>39 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）39<br>40 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）40<br>41 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）41<br>42 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）42<br>43 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）43<br>44 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）44<br>45 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）45<br>46 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）46<br>47 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）47<br>48 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）48<br>49 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）49<br>50 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）50<br>51 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）51<br>52 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）52<br>53 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）53<br>54 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）54<br>55 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）55<br>56 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）56<br>57 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）57<br>58 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）58<br>59 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）59<br>60 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）60<br>61 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）61<br>62 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）62<br>63 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）63<br>64 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）64<br>65 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）65<br>66 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）66<br>67 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）67<br>68 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）68<br>69 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）69<br>70 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）70<br>71 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）71<br>72 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）72<br>73 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）73<br>74 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）74<br>75 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）75<br>76 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）76<br>77 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）77<br>78 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）78<br>79 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）79<br>80 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）80<br>81 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）81<br>82 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）82<br>83 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）83<br>84 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）84<br>85 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）85<br>86 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）86<br>87 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）87<br>88 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）88<br>89 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）89<br>90 就職対策（筆記試験、提出書類、グループワーク、面接対策）90 |
| 成績評価方法<br>（試験実施方法） | 平常点100%　授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況 |
| 備考 | |